

岩手医科大学 健康管理センター一年報

～平成 29・30 年度～





はじめに

岩手医科大学
健康管理センター長

石垣 泰

関係の皆様におかれましては、平素より健康管理センターの業務にご理解とご支援をいただきありがとうございますとございます。

岩手医科大学は昨年9月に病院移転を完遂し、これまで2か所で行っていた健康管理センターの業務もほぼ矢巾1か所に集約されることとなりました。両地区にマンパワーを分散する必要が減り、業務が効率的になった一方で、体制変更にとまなう新しい問題も生じています。例えば内丸にいる職員や学生の健康サポートの問題です。検診日時の設定が少なくなるとともに、未受診の方への対応が難しくなっています。内丸で実習している学生にとっては、健康面・心理面の相談を決断するハードルが高くなったかもしれません。また針刺し事故などが生じた際の対応も移転前と大幅に変更されています。一方で、矢巾地区では検診会場がまだ決まっていません。建物内での検査・診察と検診車での検査を、多数の職員が混乱なく短時間で受けられるようセンター員一同で知恵をしぼっていかねばなりません。

わが国をあげて受動喫煙の予防が徹底されつつあり、健康増進法の改正によって大学や病院は原則的に禁煙になっています。岩手医科大学では敷地内に喫煙場所を設置していませんので、2020年4月からはキャンパス・病院敷地内での喫煙行為はマナー違反から、法的にルール違反となります。2005年頃だったと記憶していますが、当時所属していた大学で、ある日灰皿が一斉に撤去され敷地内禁煙のお触れが出されました。その後、予想した通り、空き缶を灰皿にして建物裏での喫煙が横行しました。すると驚いたことに、大学側は産業医を先頭に敷地内を巡回し、喫煙現場をカメラに収め、証拠写真を所属長に提出するという対抗措置をとったのです。この苛烈な取り締まりの結果、敷地内での喫煙は一切見かけなくなりました。こうした強制的な取り締まりの効果は絶大なものと思います。しかしながら、重要なことは喫煙の及ぼす自身と周囲への害悪を理解し、行動してもらうことです。健康管理センターでも1年以上前から、キャンパス敷地の禁煙パトロールを実施していますが、吸い殻拾いの美化運動の域を出ていない現状です。私たちはこれまで以上に禁煙教育や啓発に力を入れていかねばなりませんし、敷地内喫煙という違反行為に対しては然るべき部署が厳しく対処していくシステムが必要と考えます。県庁などでも敷地内禁煙が浸透せず苦勞していると聞きます。医療人であり大学人である私たちは、岩手県内の他組織の模範となるべく、紫煙のない岩手医科大学を維持していく責務があるのではないのでしょうか。

目次

序文

はじめに：健康管理センター長 石垣 泰	1
---------------------	---

【平成 29 年度】

I 平成 29 年度健康管理センター管理体制

1. 沿革	5
2. 組織図	6
3. 規程	7
4. 健康管理センタースタッフ、運営委員会委員	9
5. 健康管理センター体制	10
6. 各種委員会・会議開催状況	11
7. 健康管理センター各室	12

II 平成 29 年度事業報告

1. スケジュール（健康診断等及びワクチン接種日程）	15
2. 学生健康管理実施状況	
1) 学生健康診断	16
2) 各種ワクチン接種	25
3) 心理検査	27
3. 職員健康管理実施状況	
1) 職員健康診断	
(1) 一般健康診断	29
(2) 特殊健康診断	33
(3) その他	35
2) 各種ワクチン接種	37
3) 長時間労働者への産業医による面接指導	41
4) 職場巡視	42
5) 針刺し粘膜曝露事故対応	43

III 平成 29 年度健康管理センター利用状況

1. 健康相談	45
2. 健康相談利用状況の比較	46
3. 心理相談（健康管理センター相談室）	47
4. 心理相談利用状況の比較	48
5. 職場復帰支援	48

IV 平成 29 年度メンタルヘルス支援

1. セミナー	49
2. メンタルヘルス講義	50
3. 教職員のための学生相談ハンドブック	50
4. ラインケア研修	50
5. 研究	51
6. 震災支援	51

V 平成 29 年度健康教育・啓発活動

1. 健康教育	53
2. 啓発活動	55

VI 平成 29 年度学会・研修会

1. 学会・研修会等参加状況	65
----------------	----

【平成 30 年度】

I	平成 30 年度健康管理センター管理体制	
1.	沿革	67
2.	組織図	68
3.	規程	69
4.	健康管理センタースタッフ、運営委員会委員	71
5.	健康管理センター体制	73
6.	各種委員会・会議開催状況	73
7.	健康管理センター各室	74
II	平成 30 年度事業報告	
1.	スケジュール（健康診断等及びワクチン接種日程）	77
2.	学生健康管理実施状況	
1)	学生健康診断	78
2)	各種ワクチン接種	87
3)	心理検査	89
3.	職員健康管理実施状況	
1)	職員健康診断	
(1)	一般健康診断	91
(2)	特殊健康診断	95
(3)	その他	97
2)	各種ワクチン接種	99
3)	長時間労働者への産業医による面接指導	103
4)	ストレスチェック	103
5)	職場巡視	104
6)	針刺し粘膜曝露事故対応	105
7)	定期健康診断後の健康相談	106
8)	禁煙支援	106
9)	職員喫煙アンケート	108
III	平成 30 年度健康管理センター利用状況	
1.	健康相談	121
2.	健康相談利用状況の比較	122
3.	心理相談	123
4.	心理相談利用状況の比較	124
5.	職場復帰支援	124
IV	平成 30 年度メンタルヘルス支援	
1.	セミナー	125
2.	メンタルヘルス講義	126
3.	教職員のための学生相談ハンドブック	126
4.	ラインケア研修	126
5.	研究	127
6.	震災支援	127
V	平成 30 年度健康教育・啓発活動	
1.	健康教育	129
2.	啓発活動	132
VI	平成 30 年度学会・研修会	
1.	学会・研修会等参加状況	143

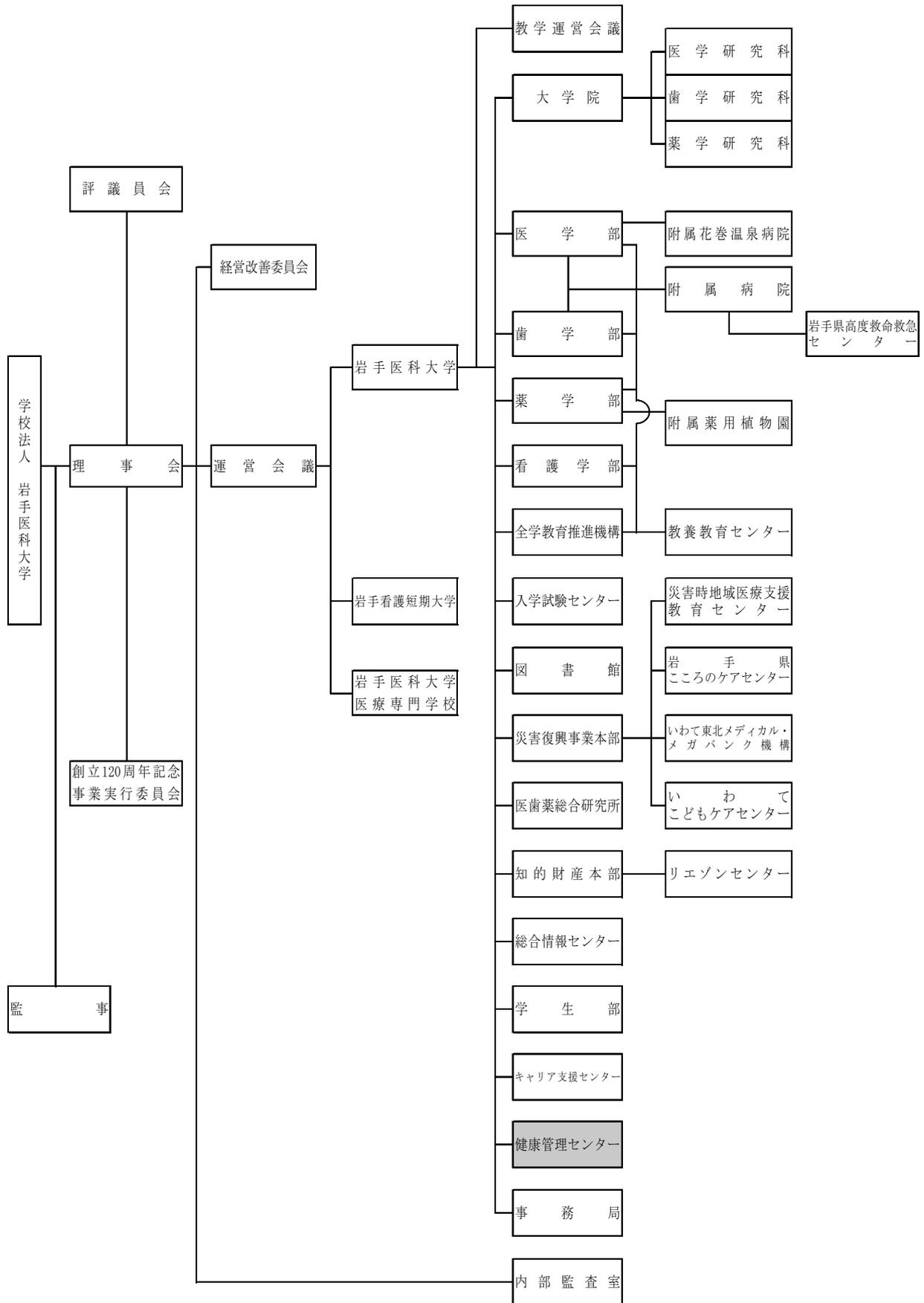
I 平成 29 年度健康管理センター 管理体制

I 平成 29 年度健康管理センター管理体制

1. 沿革

- 平成 17 年 4 月 1 日 健康管理センター設置
健康管理センター規程制定
鈴木一幸附属病院副院長が健康管理センター長兼務
健康管理センターが 8 号館 1 階に新設
- 平成 18 年 6 月 1 日 神経精神科学講座酒井明夫教授がセンター長就任
- 平成 18 年 7 月 25 日 健康管理センターだより創刊号発行
- 平成 19 年 4 月 1 日 矢巾キャンパス竣工 薬学部・共通教育センター開設に伴い、矢巾キャンパスに健康管理センター設置
産業医規程、学校医規程、学生健康診断規程制定
- 平成 19 年 10 月 29 日 健康管理センターが現場所 2 号館 2 階に移転
- 平成 20 年 6 月 1 日 整形外科講座嶋村正教授がセンター長就任
- 平成 22 年 4 月 1 日 健康管理センター事務室設置
- 平成 23 年 12 月 19 日 外来診療棟 3 階に健康管理室（休養室）新設
- 平成 24 年 4 月 1 日 事務局組織機構図の一部改正に伴い、総務部健康管理センター事務室に
- 平成 25 年 4 月 1 日 改正
- 平成 26 年 7 月 22 日 眼科学講座黒坂大次郎教授がセンター長就任
- 平成 28 年 4 月 1 日 休養室が東病棟 1 階に移転
内科学講座糖尿病・代謝内科分野石垣泰教授がセンター長就任

2. 組織図



3. 規程

1) 岩手医科大学組織規程（抜粋）

第8章健康管理センター

（健康管理センター）

第39条 本学に健康管理センターを置く。

- 2 健康管理センターにセンター長を置く。センター長は医学部臨床系教授の兼務とする。
- 3 必要により健康管理センターに副センター長を置くことができる。副センター長は医師の兼務とする。
- 4 センター長、副センター長は、学長が人事委員会に諮って選考し、理事会の議を経て理事長が任命する。その任期は3年とし再任を妨げない。
- 5 センター長は所属する職員を指導監督し、健康管理センターの管理運営にあたる。
- 6 副センター長はセンター長を補佐し、センター長に事故あるときはその職務を代理する。
- 7 健康管理センターに師長を置くことができる。
- 8 師長はセンター長、副センター長の指揮の下に所属職員を指導監督し、センターの円滑な管理運営にあたる。
- 9 必要により主任を置くことができる。
- 10 主任はセンター長、副センター長又は師長の命を受け、部下の職員の指導監督にあたる。
- 11 師長及び主任は、看護師、保健師又は臨床心理士の中から学長が人事委員会の意見を聞いて任命する。
- 12 健康管理センターの管理運営については、別に定める。

（センターの事務）

第39条の2 健康管理センターに健康管理センター事務室を設け、事務員をおくことができる。

- 2 健康管理センター事務室の事務分掌及び業務の処理については別に定める。

2) 岩手医科大学健康管理センター規程

第1条 この規程は岩手医科大学組織規程第39条第12項に基づき、健康管理センターの管理運営について定める。

第2条 岩手医科大学等の学生、職員等の健康管理を一元的に行うため、健康管理センター（以下「センター」という。）を置く。

第3条 センターは、次の各号に掲げる業務を行う。

- (1) 定期・臨時の健康診断に関すること。
- (2) 健康診断後の必要な指導に関すること。
- (3) 健康相談に関すること。
- (4) 精神衛生に関すること。
- (5) 環境衛生及び感染症の予防に関すること。
- (6) 学内保健計画の立案に関すること。
- (7) 急患に関する応急処置に関すること。
- (8) その他健康管理に関すること。

第4条 センターにセンター長（副センター長又は師長を置く場合には、それらを含む）の他に次の各号に掲げる職員を置く。ただし、兼務によることを妨げない。

- (1) 医師
- (2) 看護師
- (3) 保健師
- (4) 臨床心理士

第4条 センターの業務を円滑に実施するため、関連部署との連携に留意するものとし、特に感染症予防については感染症対策室と密接に連携を図るものとする。

第5条 センターに健康管理センター運営委員会（以下「委員会」という。）を置く。

第6条 委員会は、センター長を委員長とし、次の各号に掲げる者をもって構成する。

- (1) 学生部長
- (2) 学生副部長
- (3) 病院長
- (4) 産業医
- (5) 学校医
- (6) 事務局長
- (7) 学務部長
- (8) 病院事務部長
- (9) 看護部長
- (10) 総務部長
- (11) 人事職員課長
- (12) 学事総務課長
- (13) 副センター長（但し、副センター長を置く場合に限る）
- (14) 健康管理センター師長（但し、師長を置く場合に限る）
- (15) その他委員会が必要と認める者

第7条 委員会は、次の事項を審議する。

- (1) 学内保健計画に関する事項
- (2) 健康管理の維持改善に関する事項
- (3) その他センター長が必要と認めた事項

2 委員会は、必要ある場合センター長が招集しその議長となる。

第8条 委員会の事務は健康管理センターが行う。

第9条 この規程の改廃は、健康管理センター運営委員会の審議を経て健康管理センター長が行う。

附 則

この規程は、平成17年4月1日から施行する。

この規程は、平成18年2月10日から施行する。

この規程は、平成21年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成25年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成29年4月1日から施行する。

4. 健康管理センタースタッフ・運営委員会委員

センター長（兼務）

	氏名	所属・職名	期間
初代	鈴木 一幸	内科学講座消化器・肝臓内科分野・教授（副院長）	平 17. 4. 1～平 18. 5. 31
二代	酒井 明夫	神経精神科学講座・教授	平 18. 6. 1～平 21. 5. 31
三代	嶋村 正	整形外科科学講座・教授	平 21. 6. 1～平 25. 3. 31
四代	黒坂大次郎	眼科学講座・教授	平 25. 4. 1～平 28. 3. 31
五代	石垣 泰	内科学講座糖尿病・代謝内科分野・教授	平 28. 4. 1～

副センター長

	氏名	所属・職名	期間
	西村 尚子	健康管理センター副センター長	平 17. 4. 1～平 21. 3. 31

産業医（兼務）

	氏名	所属・職名	期間
	小野田 敏行	衛生学公衆衛生学講座・准教授	平 13. 9. 1～平 26. 12. 31
	大間々 真一	救急・災害・総合医学講座救急医学分野・特任講師	平 23. 4. 1～
	近藤 ゆき子	薬理学講座情報伝達医学分野・講師	平 27. 1. 1～
	弘瀬 雅教	分子細胞薬理学講座・教授	平 27. 4. 1～

学校医（兼務）

	氏名	所属・職名	期間
	米澤 久司	内科学講座神経内科・老年科分野・講師	平 17. 4. 1～平 19. 3. 31
	石橋 靖宏	”	
	遠藤 昌樹	内科学講座消化器・肝臓内科分野・講師	平 19. 4. 1～平 21. 3. 31
	遠藤 龍人	”	
	蒔田 真司	内科学講座循環器・腎・内分泌内科分野・准教授	平 21. 4. 1～平 23. 3. 31
	田代 敦	”	
	小林 仁	内科学講座呼吸器・アレルギー・膠原病内科分野・准教授	平 23. 4. 1～平 25. 3. 31
	鈴木 順	”	
	大塚 耕太郎	神経精神科学講座・講師	平 23. 4. 1～平 24. 3. 31
	山家 健仁	神経精神科学講座・助教	平 24. 4. 1～平 27. 3. 31
	工藤 雅子	内科学講座神経内科・老年科分野・講師	平 25. 4. 1～平 27. 3. 31
	金 正門	”	平 25. 4. 1～平 27. 3. 31
	中村 昌太郎	内科学講座消化器内科消化管分野・准教授	平 27. 4. 1～平 29. 3. 31
	宮坂 昭生	内科学講座消化器内科肝臓分野・講師	平 27. 4. 1～平 29. 3. 31
	星 克仁	神経精神科学講座・講師	平 27. 4. 1～平 29. 3. 31
	菅原 正磨	内科学講座心血管・腎・内分泌内科分野・助教	平 29. 4. 1～平 29. 9. 30
	渡邊 收司	”	平 29. 10. 1～
	房崎 哲也	内科学講座循環器内科分野・特任准教授	平 29. 4. 1～

健康管理センター運営委員会（平成 29 年 4 月 1 日現在）

区分	氏名	所属・職名
委員長	石垣 泰	健康管理センター長（内科学講座糖尿病・代謝内科分野・教授）
委員	増田 友之	学生部長（病理学講座機能病態学分野・教授）
”	小原 航	学生副部長（泌尿器科学講座・教授）
”	小豆嶋 正典	学生副部長（口腔顎顔面再建学講座歯科放射線学分野・教授）

〃	佐塚 泰之	学生副部長（創剤学講座・教授）
〃	末安 民生	学生副部長（地域包括ケア講座・教授）
〃	中島 理	学生副部長（教養教育センター化学科・教授）
〃	杉山 徹	病院長（産婦人科学講座・教授）
〃	近藤 ゆき子	産業医（薬理学講座情報伝達医学分野・講師）
〃	大間々 真一	産業医（救急・災害・総合医学講座救急分野・特任講師）
〃	弘瀬 雅教	産業医（分子細胞薬理学講座・教授）
〃	菅原 正磨	産業医（内科学講座心血管・腎・内分泌内科分野・助教）
〃	房崎 哲也	学校医（内科学講座循環器内科分野・特任准教授）
〃	星 克仁	学校医（神経精神科学講座・講師）
〃	吉田 達朗	事務局長
〃	横澤 正浩	学務部長
〃	齊藤 俊哉	病院事務部長
〃	吉田 秀樹	総務部長
〃	三浦 幸枝	看護部長
〃	長岡 慶介	人事職員課長
〃	伊藤 努	学事総務課長

健康管理センタースタッフ（平成29年4月1日現在）

<内丸キャンパス>

職名	氏名	備考
センター長（兼）	石垣 泰	内科学講座糖尿病・代謝内科分野・教授 平 28. 4. 1～
保健師	名郷根 郁子	平 22. 3. 30～
〃	赤井 純子	平 27. 4. 1～
主任臨床心理士	畠山 秀樹	平 18. 4. 1～

<矢巾キャンパス>

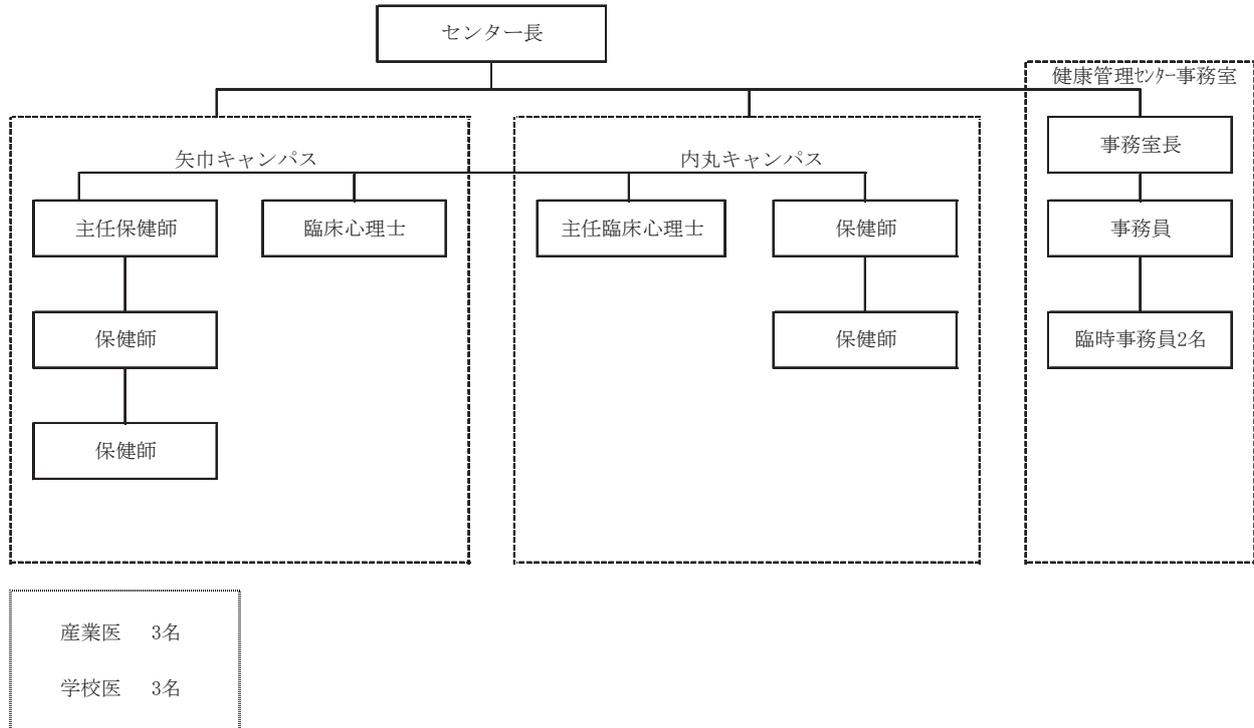
職名	氏名	備考
主任保健師	村山 美保	平 21. 11. 1～
保健師	藤井 ヌイ子	平 18. 4. 1～
〃	小原 真綾	平 29. 4. 1～
臨床心理士	氏家 真梨子	平 26. 4. 1～

<健康管理センター事務室>

職名	氏名	備考
室長	澤田 幸司	平 28. 10. 1～
事務員	渡辺 尚子	平 28. 1. 1～
臨時事務員	及川 晴恵	平 23. 11. 1～平 29. 6. 15
臨時事務員	川畑 史江	平 28. 4. 1～

5. 健康管理センター体制

<平成 29 年度>



6. 各種委員会・会議開催状況

1) 健康管理センター運営委員会

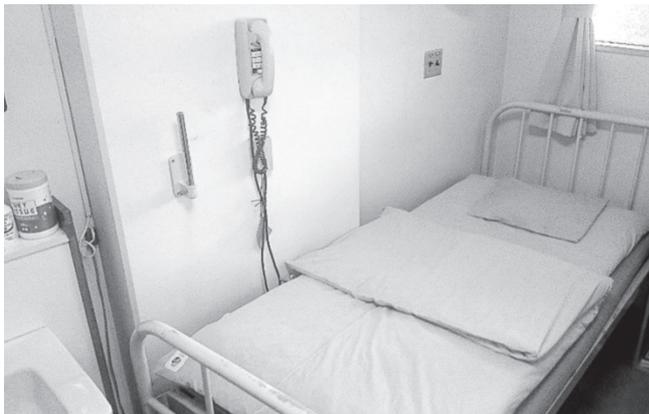
第1回健康管理センター運営委員会
 日時：平成 29 年 7 月 20 日（木）16：30～
 場所：歯学部 4 階会議室（内丸）
 本部棟 4 階小会議室（矢巾）
 ※TV会議

第2回健康管理センター運営委員会
 日時：平成 29 年 12 月 4 日（月）15：00～
 場所：記念館 10 階同窓会室（内丸）
 本部棟 4 階役員会議室（矢巾）
 ※TV会議

2) 健康管理センターミーティング

日時：毎月第二水曜日 11：10～
 場所：内丸キャンパス健康管理センター

7. 健康管理センター各室
【内丸キャンパス】



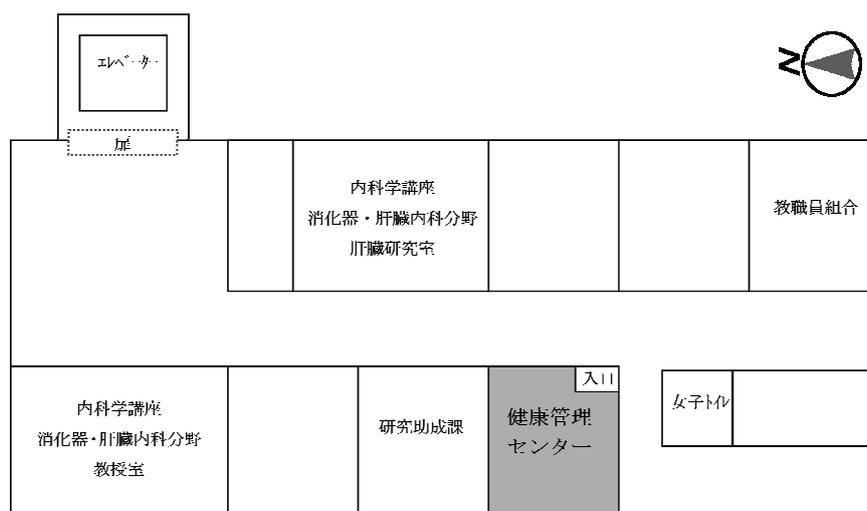
休 養 室



相 談 室



健康管理センター



医学部2号館・2階・214室

※休養室と相談室は別の場所にあります。
※休養室：東病棟1階 相談室：記念館8階

【矢巾キャンパス】



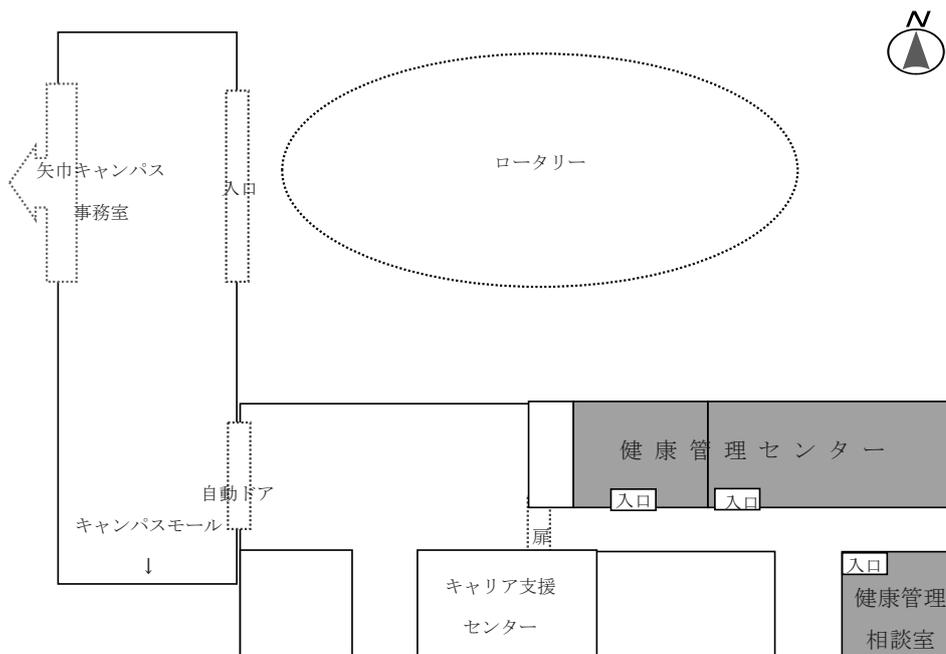
休 養 室



相 談 室



健康管理センター



東研究棟 1階 104・105・106

Ⅱ 平成 29 年度事業報告

Ⅱ 平成 29 年度事業報告

1. スケジュール（健康診断等及びワクチン接種日程）

	職 員	学 生
4月	22日(土)～5月1日(月) 有機溶剤・特定化学物質調査及び問診票(対象者)	25日(火)、28日(金) 健康診断 B型肝炎ワクチン接種前検査 (医3年、歯・薬4年、専攻科、歯衛生・歯技工1年)
5月	16日(火)～6月2日(金) 電離放射線業務従事者問診票(対象者) 25日(木)・26日(金)花巻温泉病院 22日(月)～24日(水)、29(月)・30(火)内丸キャンパス 定期健康診断 有機溶剤・特定化学物質取扱者健康診断(要検査者) 電離放射線業務従事者健康診断(要検査者) B型肝炎ワクチン接種前検査(希望者) C型肝炎抗体検査(希望者) 水痘・風疹・流行性耳下腺炎ワクチン接種前検査	1日(月)、2日(火)矢巾キャンパス 健康診断 B型肝炎ワクチン接種前検査(看1年) 25日(木)、26日(金)内丸キャンパス B型肝炎ワクチン1回目接種 (医3年、歯・薬4年、看1年、専攻科、歯衛生1年、歯技工1年)
6月	1日(木)・2日(金)矢巾キャンパス 定期健康診断 有機溶剤・特定化学物質取扱者健康診断(要検査者) 電離放射線業務従事者健康診断(要検査者) B型肝炎ワクチン接種前検査(希望者) C型肝炎抗体検査(希望者) 15日(木) 石綿健康診断(対象者)	22日(木)、23日(金) B型肝炎ワクチン2回目接種 (医3年、歯・薬4年、看1年、専攻科、歯衛生1年、歯技工1年)
7月	25日(火)・26日(水) B型肝炎ワクチン1回目接種(対象者) 24日(月)～7月31日(月) VDT健診	
8月	1日(火)～18日(金) ストレスチェック 22日(火)・23日(水) B型肝炎ワクチン2回目接種(対象者)	
9月	8/31日(木)・9/1日(金) VDT健診(要検査者) 4日(月)～22日(金)内丸キャンパス 25日(月)花巻温泉病院 胃検診(40歳以上の希望者) 12日(火) 水痘・風疹・流行性耳下腺炎ワクチン接種(対象者)	
10月	4日(月)～11日(水) 有機溶剤・特定化学物質調査及び問診票(対象者) 30日(月)～11月17日(金) 電離放射線業務従事者問診票(対象者)	
	23日(月)～28日(土)内丸キャンパス・花巻温泉病院・インフルエンザワクチン接種(希望者) 19日(木)・20日(金)矢巾キャンパス・インフルエンザワクチン接種(希望者)	
11月	14日(火)～17日(金) 特定業務従事者健康診断(対象者) 有機溶剤・特定化学物質取扱者健康診断(要検査者) 電離放射線業務従事者健康診断(要検査者) 21日(火) 水痘・風疹・流行性耳下腺炎ワクチン接種(対象者)	9日(木)、10日(金) B型肝炎ワクチン3回目接種 (医3年、歯・薬4年、看1年、専攻科、歯衛生1年、歯技工1年)
12月	4日(月)～11日(月) 大腸がん検診(40歳以上の希望者) 14日(木) 石綿健康診断(対象者) 19日(火) 水痘・風疹・流行性耳下腺炎ワクチン接種後採血(対象者)	7日(木)・8日(金) B型肝炎ワクチン接種後採血 (医3年、歯・薬4年、看1年、専攻科、歯衛生1年、歯技工1年)
1月	9日(火)・10日(水) B型肝炎ワクチン3回目接種(対象者)	11日(木) B型肝炎ワクチン追加接種 (医3年、歯・薬4年、看1年、専攻科、歯衛生1年、歯技工1年)
2月	6日(火)・7日(水) B型肝炎ワクチン接種後採血(対象者) 27日(火) B型肝炎ワクチン追加接種(対象者)	8日(木) B型肝炎ワクチン追加接種後採血 (医3年、歯・薬4年、看1年、専攻科、歯衛生1年、歯技工1年)
3月	24日(土) 雇入時健康診断 27日(火)・28日(水) B型肝炎ワクチン追加接種後採血(対象者)	

2. 学生健康管理実施状況

1) 学生健康診断

(1) 学部

<健診項目>

全学共通：身長・体重・血圧測定、内科診察、視力検査、眼科診察、耳鼻科診察

1年生：全学共通＋胸部X線、尿検査、血液検査、歯科健診

4年生：全学共通＋胸部X線、尿検査、血液検査

※健診対象外は、休学・退学者

<実施日>

内丸キャンパス：平成29年4月25日(火)

矢巾キャンパス：平成29年4月28日(金)、5月1日(月)、5月2日(火)

<結果集計>

	在籍者		対象外	対象者	受診者	受診率	総合判定の内訳						医療機関 受診者					
	男	女					計	A 特記事項なし	B-1 要経過観察	B-2 要指導	C-1 要治療継続	C-2 要受診						
医学部	1年	89	43	132	2	130	100.0%	9	45	34.6%	7	5.4%	3	2.3%	66	50.8%	16	24.2%
	2年	95	34	129	2	127	98.4%	74	4	3.2%	10	8.0%	13	10.4%	24	19.2%	3	12.5%
	3年	94	42	136	0	136	100.0%	73	8	5.9%	18	13.2%	12	8.8%	25	18.4%	4	16.0%
	4年	70	47	117	0	117	100.0%	15	47	40.2%	9	7.7%	7	6.0%	39	33.3%	6	15.4%
	5年	98	39	137	0	137	97.8%	61	24	17.9%	16	11.9%	7	5.2%	26	19.4%	10	38.5%
	6年	117	47	164	0	164	97.6%	56	25	15.6%	22	13.8%	12	7.5%	45	28.1%	6	13.3%
歯学部	1年	36	18	54	1	53	98.1%	4	19	36.5%	3	5.8%	2	3.8%	24	46.2%	8	33.3%
	2年	44	17	61	0	61	95.1%	23	6	10.3%	3	5.2%	4	6.9%	22	37.9%	3	13.6%
	3年	35	32	67	0	67	100.0%	41	3	4.5%	8	11.9%	1	1.5%	14	20.9%	2	14.3%
	4年	34	19	53	0	53	100.0%	4	16	30.2%	5	9.4%	1	1.9%	27	51.0%	1	3.7%
	5年	31	25	56	0	56	98.2%	14	9	16.4%	7	12.7%	2	3.6%	23	41.8%	0	0.0%
	6年	38	22	60	1	59	98.3%	20	9	15.5%	9	15.5%	4	6.9%	16	27.6%	1	6.3%
薬学部	1年	49	66	115	2	113	100.0%	9	24	21.2%	7	6.2%	3	2.7%	70	61.9%	29	41.4%
	2年	62	88	150	0	150	99.3%	67	10	6.7%	19	12.8%	13	8.7%	40	26.8%	10	25.0%
	3年	65	83	148	0	148	99.3%	80	8	5.4%	21	14.3%	1	0.7%	37	25.2%	1	2.7%
	4年	75	87	162	0	162	100.0%	17	42	25.9%	10	6.2%	23	14.2%	70	43.2%	17	24.3%
	5年	44	80	124	0	124	100.0%	51	13	10.5%	13	10.5%	5	4.0%	42	33.9%	6	14.3%
	6年	78	97	175	1	174	100.0%	83	4	2.3%	13	7.5%	7	4.0%	67	38.5%	14	20.9%
看護学部	1年	8	87	95	0	95	100.0%	7	34	35.8%	3	3.2%	3	3.2%	48	50.5%	25	52.1%
合計	1162	973	2135	9	2126	2109	99.2%	708	33.6%	16.6%	203	9.6%	123	5.8%	725	34.4%	162	22.3%

<結果>

対象：全学年

要受診判定項目の内訳

		対象者	受診者	内科	高血圧	眼科	耳鼻科
医学部	1年	130	130	1	2	45	0
	2年	127	125	2	2	22	0
	3年	136	136	2	12	13	0
	4年	117	117	3	3	14	0
	5年	137	134	0	2	23	2
	6年	164	160	1	15	31	0
歯学部	1年	53	52	2	3	12	0
	2年	61	58	0	6	17	0
	3年	67	67	0	2	13	0
	4年	53	53	0	5	13	0
	5年	56	55	0	2	20	1
	6年	59	58	1	4	14	0
薬学部	1年	113	113	1	2	55	0
	2年	150	149	4	4	32	0
	3年	148	147	1	9	32	0
	4年	162	162	5	12	28	0
	5年	124	124	2	11	32	0
	6年	174	174	1	18	53	0
看護学部	1年	95	95	3	0	34	0
合計		2126	2109	29	114	503	3

対象：1・4年

血液検査：要受診項目

		対象者	受診者	WBC	RBC	Hb	Ht	PLT	クレアチニン	UA	AST	ALT	γ-GTP	HD L-C	LD L-C	TG	血糖	HbA1c
医学部	1年	130	130	1	0	2	0	0	0	2	8	9	2	0	2	3	1	1
	4年	117	117	2	0	0	0	0	0	1	3	9	2	0	9	0	0	1
歯学部	1年	53	52	2	0	0	0	0	0	2	4	5	3	0	2	4	0	0
	4年	53	53	0	0	0	0	0	0	3	4	8	4	0	2	0	1	1
薬学部	1年	113	113	3	0	0	0	0	0	1	3	4	1	0	1	0	1	0
	4年	162	162	3	2	3	1	0	0	7	3	12	6	1	6	4	0	0
看護学部	1年	95	95	5	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
合計		723	722	16	2	6	2	0	0	16	25	47	18	1	22	12	3	3

対象：1・4年

尿検査：要受診項目

		対象者	受診者	尿糖	尿蛋白
医学部	1年	130	130	0	6
	4年	117	117	0	7
歯学部	1年	53	52	0	2
	4年	53	53	1	1
薬学部	1年	113	113	3	14
	4年	162	162	1	12
看護学部	1年	95	95	0	12
合計		723	722	5	54

対象：1・4年
胸部 X 線撮影

		対象者	受診者	判定内容		
				異常なし	要経過観察	要精密検査
医学部	1年	130	130	129	1	0
	4年	117	117	116	1	0
歯学部	1年	53	52	51	1	0
	4年	53	53	53	0	0
薬学部	1年	113	113	113	0	0
	4年	162	162	160	1	1
看護学部	1年	95	95	95	0	0
合計		723	722	717	4	1

対象：1年
歯科検診

	在籍者			対象外 健診	対象者	受診者	受診率	総合判定の内訳								医療機関 受診者	
	男	女	計					A 良好		B 要指導		C1 要精密検査		C2 要治療			
医学部	89	43	132	2	130	129	99.2%	68	52.7%	12	9.3%	20	15.5%	29	22.5%	4	8.2%
歯学部	36	18	54	1	53	51	96.2%	35	68.6%	3	5.9%	5	9.8%	8	15.7%	2	15.4%
薬学部	49	66	115	2	113	113	100.0%	75	66.4%	14	12.4%	12	10.6%	12	10.6%	5	20.8%
看護学部	8	87	95	0	95	95	100.0%	66	69.5%	5	5.3%	14	14.7%	10	10.5%	8	33.3%
合計	182	214	396	5	391	388	99.2%	244	62.9%	34	8.8%	51	13.1%	59	15.2%	19	17.3%

(2) 大学院生

<健診項目>

職員定期健康診断に準ずる

<実施日>

内丸キャンパス 平成 29 年 5 月 22 日 (月) ~ 24 日 (水)・29 日 (月)・30 日 (火)

矢巾キャンパス 平成 29 年 6 月 1 日 (木)・2 日 (金)

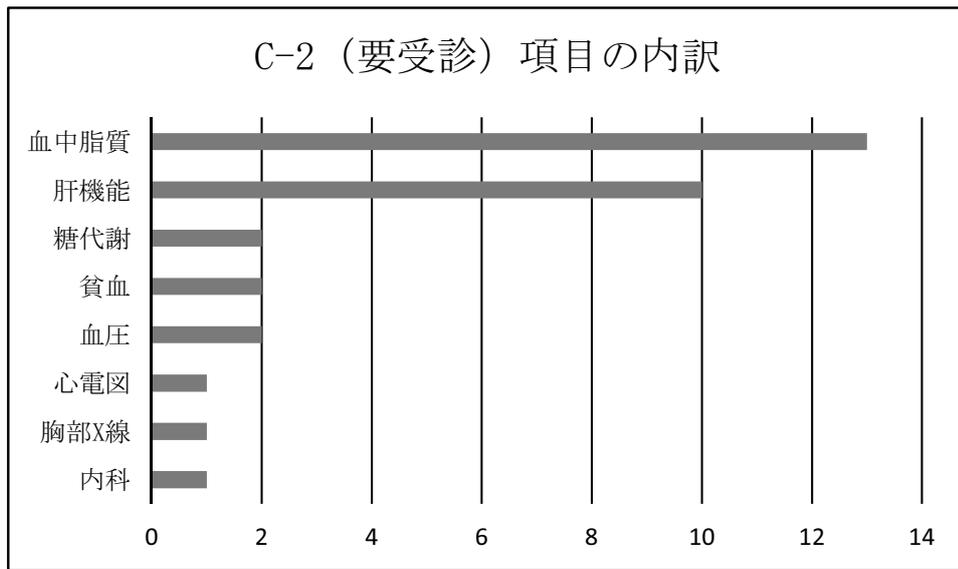
<結果集計>

	在籍者	健診 対象外	対象者	受診者	受診率	総合判定の内訳				C-2報告書提出
						A 特記事項なし	B 要経過観察	C-1 要治療継続	C-2 要受診	
医学部 修士	1年	7	1	6	100.0%	0 (0.0%)	5 (83.3%)	0 (0.0%)	1 (16.7%)	1 (100.0%)
	2年	4	0	4	100.0%	1 (25.0%)	1 (25.0%)	1 (25.0%)	1 (25.0%)	0 (0.0%)
医学部 博士	1年	36	21	15	100.0%	2 (13.3%)	8 (53.3%)	0 (0.0%)	5 (33.3%)	3 (60.0%)
	2年	32	23	9	100.0%	1 (11.1%)	6 (66.7%)	1 (11.1%)	1 (11.1%)	1 (100.0%)
	3年	40	8	32	100.0%	9 (28.1%)	16 (50.0%)	2 (6.3%)	5 (15.6%)	2 (40.0%)
	4年	37	8	29	100.0%	7 (24.1%)	18 (62.1%)	2 (6.9%)	2 (6.9%)	0 (0.0%)
歯学部 博士	1年	4	0	4	100.0%	0 (0.0%)	3 (75.0%)	0 (0.0%)	1 (25.0%)	0 (0.0%)
	2年	5	1	4	100.0%	1 (25.0%)	1 (25.0%)	0 (0.0%)	2 (50.0%)	2 (100.0%)
	3年	2	0	2	100.0%	1 (50.0%)	1 (50.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	
	4年	9	0	9	100.0%	2 (22.2%)	4 (44.4%)	0 (0.0%)	3 (33.3%)	1 (33.3%)
薬学部 博士	1年	2	0	2	100.0%	0 (0.0%)	2 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	
	2年	2	0	2	100.0%	1 (50.0%)	1 (50.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	
	3年	4	1	3	100.0%	0 (0.0%)	3 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	
	4年	5	1	4	100.0%	2 (50.0%)	2 (50.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	
合計	189	64	125	125	100.0%	27 (21.6%)	71 (56.8%)	6 (4.8%)	21 (16.8%)	10 (47.6%)

※健診対象外：休学者、本学以外での研修者・勤務者等

※本学以外での研修者・勤務者等の健診結果58名中44名提出 (提出率：75.9%)

<結果>



n = 21 (複数該当あり)

(3) 岩手看護短期大学

<健診項目>

全学共通：身長・体重・体圧測定、内科診察、視力検査、眼科診察、耳鼻科診察
 専攻科：全学共通＋胸部X線、尿検査、血液検査
 ※健診対象外は、休学・退学者

<実施日>

矢巾キャンパス：平成29年4月28日（金）

<結果集計>

	在籍者		対象者外	対象者	受診者	受診率	総合判定の内訳						医療機関受診者						
	男	女					計	A 特記事項なし	B-1 要経過観察	B-2 要指導	C-1 要治療継続	C-2 要受診	要受診	割合					
看護学科	2年	6	58	64	1	63	100.0%	32	50.8%	3	4.8%	9	14.3%	5	7.9%	14	22.2%	12	85.7%
	3年	4	67	71	0	71	100.0%	35	49.3%	3	4.2%	7	9.8%	8	11.3%	18	25.4%	18	100.0%
地域看護学専攻		2	22	24	0	24	100.0%	1	4.2%	12	50.0%	2	8.3%	1	4.2%	8	33.3%	8	100.0%
助産学専攻		0	15	15	0	15	100.0%	1	6.7%	7	46.6%	1	6.7%	1	6.7%	5	33.3%	0	0.0%
合計		12	162	174	1	173	100.0%	69	39.9%	25	14.4%	19	11.0%	15	8.7%	45	26.0%	38	84.4%

<結果>

対象：全学年

要受診判定項目の内訳

		対象者	受診者	内科	高血圧	眼科	耳鼻科
看護学科	2年	63	63	2	1	11	0
	3年	71	71	0	1	17	0
地域看護学専攻		24	24	1	0	3	0
助産学専攻		15	15	0	0	3	0
合計		173	173	3	2	34	0

対象：専攻科

血液検査：要受診項目

	対象者	受診者	WBC	RBC	Hb	Ht	PLT	クレアチン	UA	AST	ALT	γ-GTP	HD L-C	LD L-C	TG	血糖	HbA1c
地域看護学専攻	24	24	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
助産学専攻	15	15	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	39	39	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0

対象：専攻科

尿検査：要受診項目

	対象者	受診者	尿糖	尿蛋白
地域看護学専攻	24	24	0	3
助産学専攻	15	15	0	2
合計	39	39	0	5

対象：専攻科

胸部X線撮影

	対象者	受診者	判定内容		
			異常なし	要経過観察	要精密検査
地域看護学専攻	24	24	24	0	0
助産学専攻	15	15	15	0	0
合計	39	39	39	0	0

(4) 医療専門学校

<健診項目>

全学共通：身長・体重・体圧測定、内科診察、視力検査、眼科診察、耳鼻科診察
 1年生：全学共通＋胸部X線撮影、尿検査、血液検査、歯科健診
 ※健診対象外は、休学・退学者

<実施日>

内丸キャンパス：平成29年4月25日（火）

<結果集計>

	在籍者		対象外	対象者	受診者	受診率	総合判定の内訳						医療機関 受診者					
	男	女					計	A 特記事項なし	B-1 要経過観察	B-2 要指導	C-1 要治療継続	C-2 要受診						
歯科技工 学科	1年	3	5	8	8	100.0%	0	0.0%	2	25.0%	0	0.0%	1	12.5%	5	62.5%	4	80.0%
	2年	6	7	13	13	100.0%	4	30.8%	4	30.8%	1	7.6%	0	0.0%	4	30.8%	3	75.0%
歯科衛生 学科	1年	0	39	39	39	100.0%	4	10.3%	13	33.3%	3	7.7%	3	7.7%	16	41.0%	10	62.5%
	2年	1	32	33	31	100.0%	6	19.4%	4	12.9%	5	16.1%	5	16.1%	11	35.5%	0	0.0%
	3年	0	28	28	28	100.0%	16	57.1%	3	10.7%	1	3.6%	0	0.0%	8	28.6%	7	87.5%
合計	10	111	121	119	119	100.0%	30	25.2%	26	21.8%	10	8.4%	9	7.6%	44	37.0%	24	54.5%

<結果>

対象：全学年

要受診項目の内訳

		対象者	受診者	内科	高血圧	眼科	耳鼻科
技工学科	1年	8	8	1	0	5	0
	2年	13	13	0	0	4	0
衛生学科	1年	39	39	1	0	12	0
	2年	31	31	1	0	11	0
	3年	28	28	1	0	7	0
合計		119	119	4	0	39	0

対象：1年

血液検査：要受診項目

		対象者	受診者	WBC	RBC	Hb	Ht	PLT	クレアチニン	UA	AST	ALT	γ-GTP	HD L-C	LD L-C	TG	血糖	HbA1c
技工学科	1年	8	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
衛生学科	1年	39	39	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
合計		47	47	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0

対象：1年

尿検査：要受診項目

		対象者	受診者	尿糖	尿蛋白
技工学科	1年	8	8	0	1
衛生学科	1年	39	39	0	3
合計		47	47	0	4

対象：1年

胸部X線撮影

		対象者	受診者	判定内容		
				異常なし	要経過観察	要精密検査
技工学科	1年	8	8	8	0	0
衛生学科	1年	39	39	39	0	0
合計		47	47	47	0	0

対象：1年

歯科検診

	在籍者			対象者 健診 対象外	対象者	受診者	受診率	総合判定の内訳								医療機関 受診者	
	男	女	計					A 良好	B 要指導	C1 要精密検査		C2 要治療					
技工学科	3	5	8	0	8	8	100.0%	6	75.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	25.0%	1	50.0%
衛生学科	0	39	39	0	39	39	100.0%	26	66.7%	0	0.0%	4	10.2%	9	23.1%	7	53.8%
合計	3	44	47	0	47	47	100.0%	32	68.1%	0	0.0%	4	8.5%	11	23.4%	8	53.3%

2) 各種ワクチン接種

(1) B型肝炎ワクチン接種

<対象者>

医学部3年、歯学部4年、薬学部4年、看護学部1年
 医療専門学校 歯科技工学科1年、歯科衛生学科1年
 岩手看護短期大学 地域看護学専攻、助産学専攻
 ※本学において、過去に接種済みの学生は対象から除く

<ワクチン接種前抗体価検査結果> 実施日：平成29年4月25日、28日、5月2日

対象者	ワクチン接種前抗体価検査結果		
	陽性	不十分	陰性
516	18	13	485

<ワクチン接種対象者>

498名：抗体価不十分・陰性と判定された学生

<日程>

ワクチン接種1回目	5月25日、26日
ワクチン接種2回目	6月22日、23日
ワクチン接種3回目	11月9日、10日
ワクチン3回接種後抗体価検査	12月7日、8日
ワクチン追加接種	1月11日
ワクチン追加接種後抗体価検査	2月8日

<ワクチン接種後抗体価検査結果>

ワクチン接種対象者		接種者	採血者	ワクチン接種後抗体価検査結果		
				陽性	不十分	陰性
1回接種	13	13	13	10	3	0
3回接種	485	479	478	339	99	40
3回接種後追加接種	139	138	136	101	23	12

※追加接種の対象者は、ワクチン3回接種後の抗体価検査で不十分・陰性と判定された学生

(2) インフルエンザワクチン接種

<接種日>

内丸キャンパス：平成29年10月23日(月)～28日(土)、11月2日(木)

矢巾キャンパス：平成29年10月19日(木)、20日(金)

学部	学年	対象者数 (人)	接種者数 (人)	本学での接種率 (%)	
				学部・学年	学部
医学部	1年生	129	106	82.2%	85.9%
	2年生	127	112	88.2%	
	3年生	136	124	91.2%	
	4年生	117	97	82.9%	
	5年生	137	115	83.9%	
	6年生	164	142	86.6%	
歯学部	1年生	52	35	67.3%	82.7%
	2年生	61	45	73.8%	
	3年生	67	60	89.6%	
	4年生	53	43	81.1%	
	5年生	56	50	89.3%	
	6年生	58	54	93.1%	
薬学部	1年生	111	94	84.7%	82.3%
	2年生	150	123	82.0%	
	3年生	148	131	88.5%	
	4年生	162	151	93.2%	
	5年生	124	67	54.0%	
	6年生	143	124	86.7%	
看護学部	1年生	95	90	94.7%	94.7%
歯科衛生学科	1年生	38	38	100.0%	100.0%
	2年生	31	31	100.0%	
	3年生	28	28	100.0%	
歯科技工学科	1年生	8	5	62.5%	81.0%
	2年生	13	12	92.3%	
岩手看護短期大学	2年生	62	62	100.0%	100.0%
	3年生	71	71	100.0%	
	専攻科(地域)	24	24	100.0%	
	専攻科(助産)	15	15	100.0%	
合計		2,380	2,049	86.1%	

※網掛けは矢巾キャンパス

※長期欠席・休学・退学(予定含み)は対象から除いた

3) 心理検査

<実施検査>

UPI (学生精神的健康調査) : 全学部 1~3 年生、薬学部 4~6 年生

<実施日等>

医学部		1 年	2 年	3 年
	在籍学生数	132	129	136
	実施者数	121	123	136
	実施日	H29年5月19日	H29年4月28日, 5月1, 2日	

歯学部		1 年	2 年	3 年
	在籍学生数	54	61	67
	実施者数	46	55	67
	実施日	H29年5月19日	H29年4月28日, 5月1, 2日	

薬学部		1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年
	在籍学生数	115	150	148	162	124	175
	実施者数	109	148	147	160	122	163
	実施日	H29年5月19日	H29年4月28日, 5月1, 2日				

看護学部		1 年
	在籍学生数	95
	実施者数	95
	実施日	H29年5月19日

<結果>

	実施者数	平均値	ハイスコア者数	割合
医 1	121	14.1	8	6.6%
医 2	123	7.7	3	2.4%
医 3	136	5.4	2	1.5%
歯 1	46	16.8	5	10.9%
歯 2	55	12.0	6	10.9%
歯 3	67	9.6	4	6.0%
薬 1	109	15.3	7	6.4%
薬 2	148	10.3	6	4.1%
薬 3	147	10.0	2	1.4%
薬 4	160	9.3	6	3.8%
薬 5	122	10.1	4	3.3%
薬 6	163	8.7	5	3.1%
看 1	95	17.1	7	7.4%
全体	1492	10.7	65	4.4%

<UPI 学生精神的健康調査> 回答数が多かった上位3項目について

医学部

	1年	2年	3年
1位	気疲れがする	気疲れがする	首すじや肩がこる
2位	なんとなく不安である	首すじや肩がこる	気疲れがする
3位	気分が波がありすぎる	やる気が出てこない	記憶力が低下している

歯学部

	1年	2年	3年
1位	気疲れがする	気疲れがする	気疲れがする
2位	やる気が出てこない	記憶力が低下している	首すじや肩がこる
3位	悲観的になる なんとなく不安である ものごとに自信がもてない	やる気が出てこない 決断力がない	なんとなく不安である

薬学部

	1年	2年	3年
1位	気分が波がありすぎる	首すじや肩がこる	やる気が出てこない
2位	なんとなく不安である	やる気が出てこない	首すじや肩がこる
3位	やる気が出てこない 気疲れがする 決断力がない ものごとに自信がもてない	気疲れがする 他人の視線が気になる	気分が波がありすぎる

	4年	5年	6年
1位	やる気が出てこない	首すじや肩がこる	首すじや肩がこる
2位	首すじや肩がこる	気疲れがする	やる気が出てこない
3位	決断力がない	記憶力が低下している 決断力がない	気疲れがする

看護学部

	1年
1位	気疲れがする
2位	なんとなく不安である
3位	他人の視線が気になる

3. 職員健康管理実施状況

1) 職員健康診断

(1) 一般健康診断

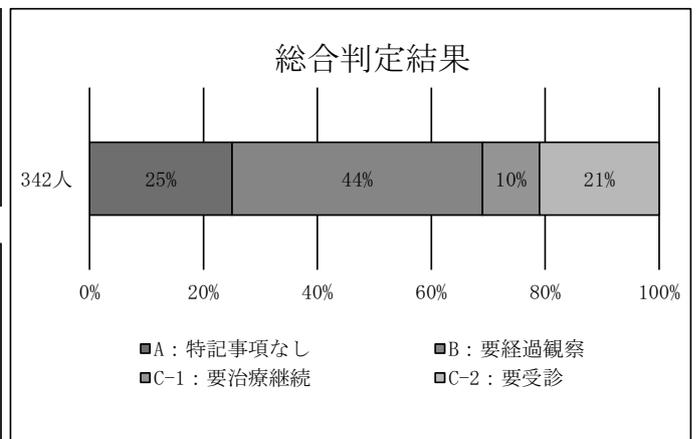
① 雇入時健康診断

< 健診項目 >

既往歴および業務歴の調査、自覚症状および他覚症状の有無、身長、体重、BMI、腹囲、視力、聴力、胸部X線撮影、血圧、尿検査、血液検査（貧血、肝機能、血中脂質、糖代謝）、心電図検査、内科診察、Tスポット検査

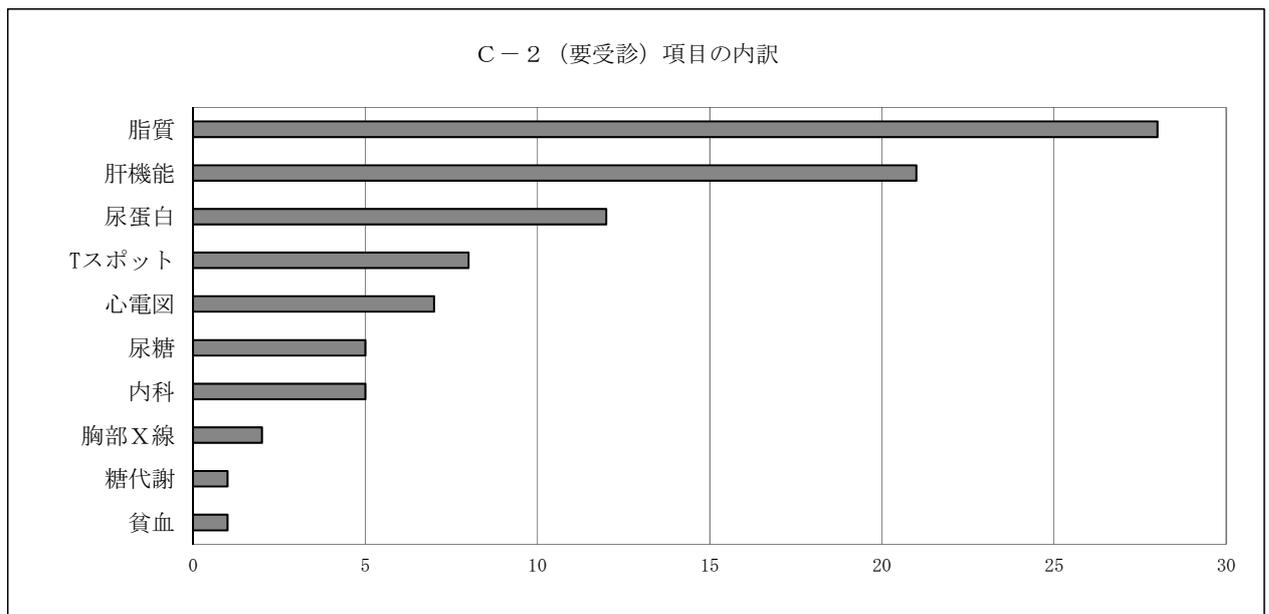
	正規職員	臨時職員	合計
対象者	266	76	342
受診者	266	76	342
未受診者	0	0	0
受診率	100.0%	100.0%	100.0%

	正規職員	臨時職員	合計
A：特記事項なし	69	15	84
B：要経過観察	122	30	152
C-1：要治療継続	19	15	34
C-2：要受診	56	16	72



C-2（要受診）報告書提出状況

	正規職員	臨時職員	合計
提出者	34	11	45
提出率	60.7%	68.8%	62.5%



② 定期健康診断

<健診項目>

既往歴の調査、自覚症状および他覚症状の有無、身長、体重、BMI、腹囲（35歳・40歳以上）、視力、聴力、胸部X線撮影、血圧、血液検査（貧血、肝機能、血中脂質、糖代謝）、尿検査、心電図検査（35歳・40歳以上）、内科診察、眼底検査（前年度の健診結果、血糖・脂質・血圧・BMIの4項目有所見者）

<実施日>

内丸キャンパス：平成29年5月22日（月）～5月24日（水）、29日（月）、30日（火）

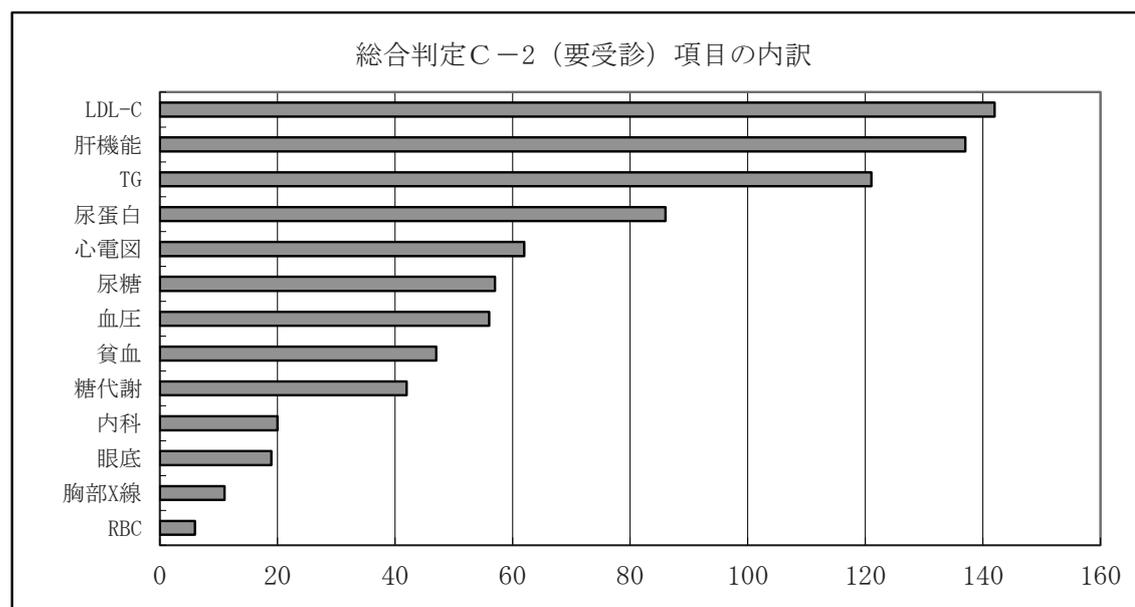
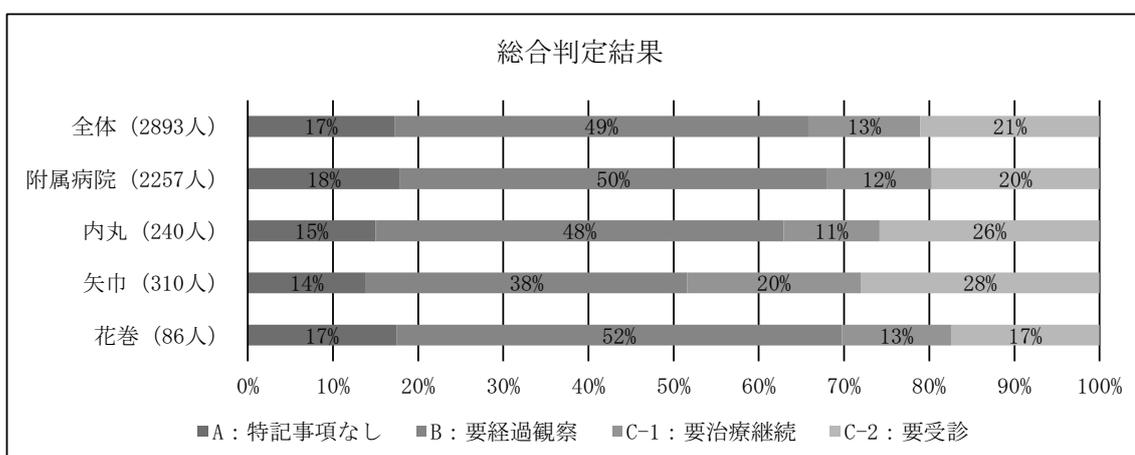
花巻温泉病院：平成29年5月25日（木）、26日（金）

矢巾キャンパス：平成29年6月1日（木）、2日（金）

	附属病院	内丸	矢巾	花巻	全体
対象者	2257	240	310	86	2893
受診者	2257	240	310	86	2893
未受診者	0	0	0	0	0
受診率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

C-2（要受診）報告書
提出状況

C-2	609
提出者	275
提出率	45.2%



n = 609（複数該当あり）

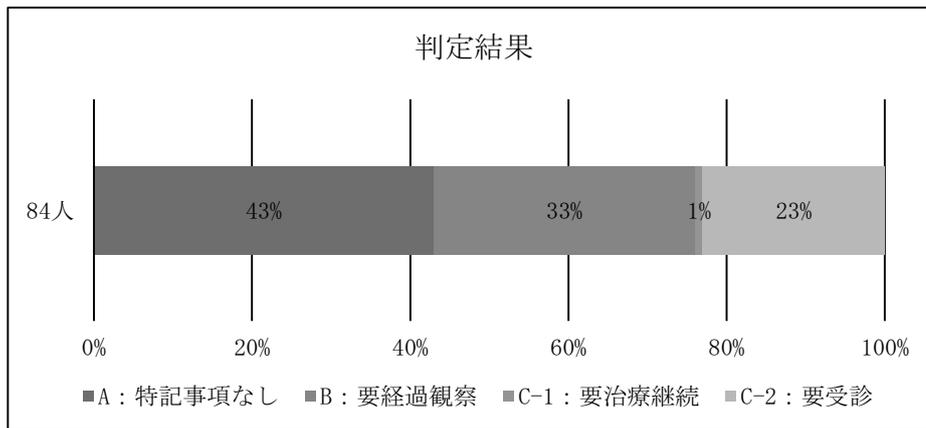
各項目別判定結果

<眼底検査> 前年度の健診結果、血糖・脂質・血圧・BMI の4項目有所見者

対象者	88
受診者	84
未受診者	4
受診率	95.5%



A：特記事項なし	36
B：要経過観察	28
C-1：要治療継続	1
C-2：要受診	19

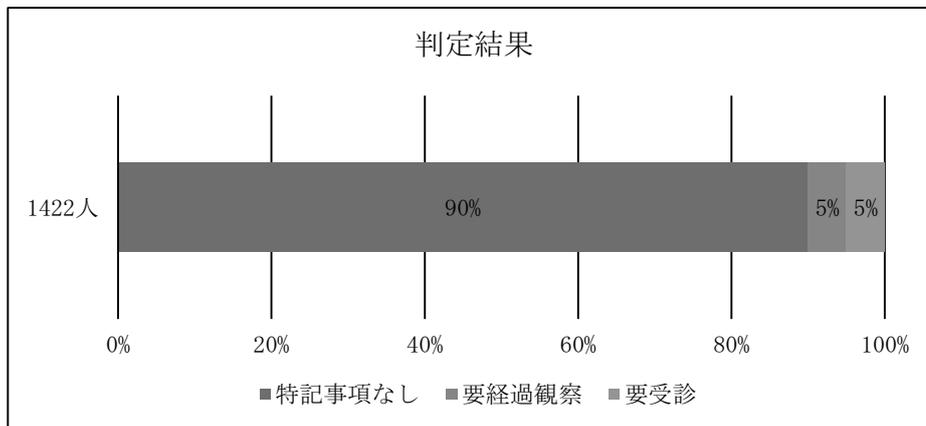


<心電図検査> 35歳・40歳以上

対象者	1422
受診者	1422
未受診者	0
受診率	100.0%



特記事項なし	1283
要経過観察	75
要受診	64



③ 特定業務従事者健康診断（特殊健康診断等）

<健診項目>

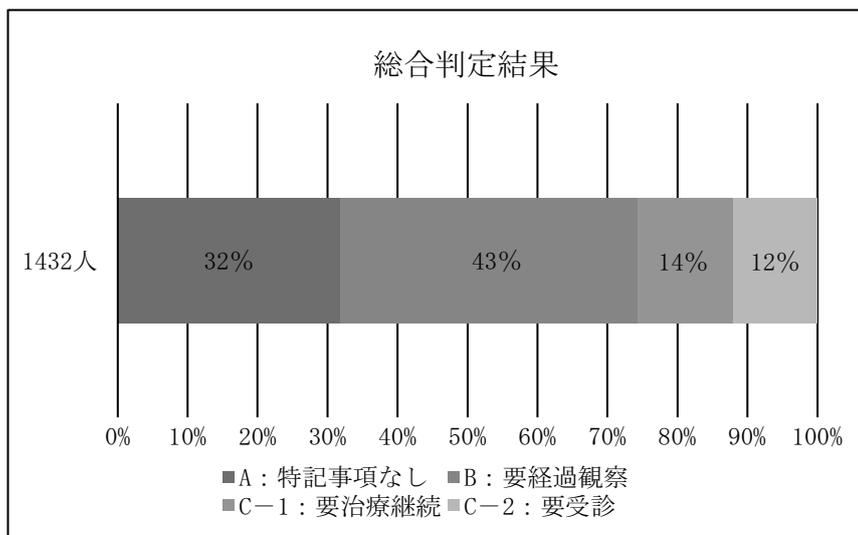
既往歴の調査、自覚症状および他覚症状の有無、身長、体重、BMI、視力、聴力、血圧、尿検査、内科診察
 ※血液検査（貧血、肝機能、血中脂質、糖代謝）、※心電図検査（35歳・40歳以上）
 ※は、産業医の判断で省略できる

<実施日>

内丸キャンパス：平成29年11月14日（火）～17日（金）

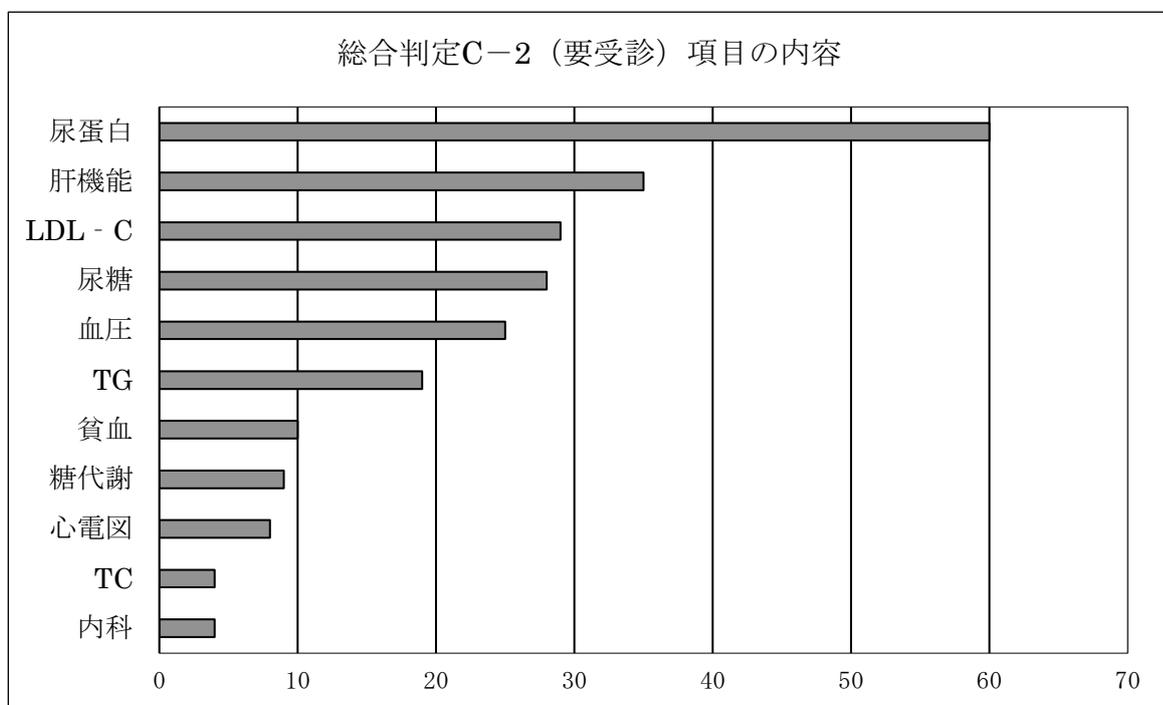
花巻温泉病院：平成29年11月14日（火）～17日（金）

対象者	1,432
受診者	1,432
未受診者	0
受診率	100.0%



C-2（要受診）報告書提出状況

C-2	172
提出者	32
提出率	18.6%



n = 172（複数該当あり）

(2) 特殊健康診断

① 有機溶剤・特定化学物質等健康診断

<実施日 (上期) >

平成 29 年 5 月 22 日 (月) ~24 日 (水)、29 日 (月)・30 日 (火)・6 月 1 日 (木)・2 日 (金)

対象者	203
受診者	203
受診率	100.0%



管理A	187
管理B	16
管理C	0
管理R	0
管理T	0

<実施日 (下期) >

平成 29 年 11 月 14 日 (火) ~17 日 (金)

対象者	207
受診者	207
受診率	100.0%



管理A	179
管理B	28
管理C	0
管理R	0
管理T	0

管理A	特殊健康診断のすべての検査項目に異常が認められない者
管理B	検査項目に異常を認めるが、産業医が精査を必要としないと判断した者 (管理Cには該当しないが、当該因子による疑いのある異常が認められる者)
管理C	当該因子による疾患に罹患している者
管理R	当該因子によらないが、曝露により増悪するおそれがある疾病・異常を認める場合
管理T	当該因子によらない疾病・異常を認める場合 (当該疾病に対する療養その他の処置を必要とする)

② 電離放射線健康診断

<実施日 (上期) >

平成 29 年 5 月 22 日 (月) ~6 月 2 日 (金)

<判定結果>

対象者	524
受診者	524
受診率	100%



A: 特記事項なし	522
B: 要経過観察	2
C: 要治療・要精密検査	0
D: 要措置 (業務配慮・業務配置転換等)	0

<実施日 (下期) >

平成 29 年 11 月 14 日 (火) ~17 日 (金)

<判定結果>

対象者	515
受診者	515
受診率	100%



A: 特記事項なし	515
B: 要経過観察	0
C: 要治療・要精密検査	0
D: 要措置 (業務配慮・業務配置転換等)	0

③ 石綿健康診断

<実施日（上期）>

平成 29 年 5 月 22 日（月）～26 日（金）

対象者	28
受診者	28
受診率	100.0%



管理 A	28
管理 B-1	0
管理 B-2	0
管理 C	0
管理 R	0
管理 T	0

<実施日（下期）>

平成 29 年 12 月 6 日（水）～8 日（金）

対象者	28
受診者	28
受診率	100.0%



管理 A	28
管理 B-1	0
管理 B-2	0
管理 C	0
管理 R	0
管理 T	0

管理 A	第一次健康診断のすべての検査項目に異常が認められない者
管理 B-1	第一次健康診断のある検査項目に異常を認めるが、医師が第二次健康診断を必要としないと判断した者
管理 B-2	健康診断の結果、管理 C には該当しないが、当該因子によるかまたは当該因子による疑いのある異常が認められる者
管理 C	第二次健康診断の結果、当該因子による疾患に罹患している者
管理 R	健康診断の結果、当該因子による疾病または異常を認めないが、当該業務に就業することにより増悪するおそれのある疾病にかかっている場合または異常が認められる者
管理 T	健康診断の結果、当該因子以外の原因による疾病にかかっている場合または異常が認められる者（管理 R に属するものを除く）

(3) その他

① VDT 作業員健康診断

<実施日> 平成 29 年 7 月 25 日 (火) ~8 月 4 日 (金)

VDT 作業員	3,390 名
二次検診対象者 (面接希望者)	1 名
二次検診実施者	0 名

② 胃がん検診 (40 歳以上の希望者)

<実施日> 内丸キャンパス : 平成 29 年 9 月 4 日 (月) ~22 日 (金)
花巻温泉病院 : 平成 29 年 9 月 25 日 (月)

<内丸・矢巾>

対象者	1319
受診者	397
受診率	30.1%



異常なし	275
要経過観察	100
要精密検査	22

<花巻温泉病院>

対象者	38
受診者	6
受診率	15.8%



異常なし	3
要経過観察	2
要精密検査	1

③ 大腸がん検診 (40 歳以上の希望者)

<実施日> 平成 29 年 12 月 4 日 (月) ~13 日 (水)

<内丸・矢巾>

対象者	1329
受診者	445
受診率	33.5%



異常なし	416
要精密検査	29

<花巻温泉病院>

対象者	38
受診者	8
受診率	21.1%



異常なし	8
要精密検査	0

④ 結核接触者健診

ケース	健診実施時期		対象者	健診内容等
【TB170412】 H29. 4. 12 発生	直後	H29. 6. 2	1 名	T-スポット検査・診察（問診票） 陰性
	2 ヶ月後	H29. 6. 27	1 名	T-スポット検査・診察（問診票） 陰性 終了
【TB1701002】 H29. 10. 2 発生	直後	H29. 10. 12	3 名	T-スポット検査・診察（問診票） 陰性：3 名
	2 ヶ月後	H29. 12. 12	3 名	T-スポット検査・診察（問診票） 陰性：3 名 終了
【TB171221】 H29. 12. 21 発生	直後	H30. 1. 15～1. 17	2 名	T-スポット検査・診察（問診票） 陰性：2 名
	2 か月後	H30. 3. 7	1 名	T-スポット検査・診察（問診票） 陰性：1 名 終了

T-スポット検査結果の事後対応

陰性	2 年間は定期健康診断で必ず胸部 X 線撮影を実施する
陽性	潜在性肺結核として予防内服を推奨し、医療機関につなげる
判定保留	検査日から 4 週間後に再度 QFT または T-スポット検査を実施する 潜在性肺結核として予防内服を選択するかどうかは、本人の意思に基づき決定する 内服しない場合は、6 ヶ月毎に 2 年間の健診（胸部 X 線撮影と問診票）を実施する

2) 各種ワクチン接種

(1) B型肝炎ワクチン接種

<ワクチン接種前抗体価検査結果> 実施日：平成29年5月22日～6月2日

対象者 (希望者)	検査実施者	ワクチン接種前抗体価検査結果		
		陽性	不十分	陰性
1,212	1,183	694	257	232

<ワクチン接種対象者>

453名：抗体価不十分・陰性と判定された職員（事務職等36名を除く）

<日程>

ワクチン接種1回目	7月25日、26日
ワクチン1回接種後抗体価検査・ワクチン接種2回目	8月22日、23日
ワクチン接種3回目	1月9日、10日
ワクチン3回接種後抗体価検査	2月6日、7日
ワクチン追加接種	2月27日
ワクチン追加接種後抗体価検査	3月27日、28日

<ワクチン接種後抗体価検査結果>

ワクチン接種対象者		接種者	採血者	ワクチン接種後抗体価検査結果		
				陽性	不十分	陰性
1回接種	181	152	126	120	6	0
1回倍量接種	72	58	48	46	2	0
3回接種	200	82	75	58	13	4
3回接種後追加接種	17	14	10	5	5	0

※追加接種の対象者は、ワクチン3回接種後の抗体価検査で不十分・陰性と判定された職員

(2) C型肝炎抗体検査

<実施日> 平成29年5月22日（月）～6月2日（金）

<判定結果>

対象者(希望者)	1240	➡	陰性	1196
検査実施者	1198		疑陽性（要受診）	2

(3) 水痘・風疹・流行性耳下腺炎抗体価検査およびワクチン接種

<対象者>

小児病棟新規配属職員

<受診者>

9名

<ワクチン接種前抗体価検査結果> 実施日：平成29年5月22日～6月2日

検査項目 (検査法：I g G - E I A法)	(-) 2.0未満	(±) 2.0～3.9	(+) 4.0以上
水痘	0	0	9
風疹	0	0	9
流行性耳下腺炎	0	1	8

<ワクチン接種対象者>

1名：(-)、(±)と判定された職員

<日程>

ワクチン接種	9月12日
ワクチン接種後抗体価検査	12月19日

<ワクチン接種後抗体価検査結果>

ワクチン接種対象者		接種者	(-) 2.0未満	(±) 2.0～3.9	(+) 4.0以上
水痘	0	0	0	0	0
風疹	0	0	0	0	0
流行性耳下腺炎	1	1	0	1	0

(4) インフルエンザワクチン接種（職員・大学院生）

<接種日>内丸キャンパス：平成29年10月23日（月）～28日（土）、11月2日（木）

矢巾キャンパス：平成29年10月19日（木）、20日（金）

花巻温泉病院：平成29年10月16日（月）～11月2日（木）

	対象者数	希望者数	申込率	接種者数	希望者の接種率	対象者の接種率
附属病院	医師	480	87.3%	419	356	85.0%
	歯科医師	123	82.9%	102	86	84.3%
	看護職	1242	96.9%	1204	1168	97.0%
	コメデイカル	410	93.9%	385	372	96.6%
	事務・その他	139	90.6%	126	124	98.4%
計	2394	2236	93.4%	2106	94.2%	88.0%
内丸キャンパス	246	222	90.2%	218	218	98.2%
矢巾キャンパス	348	292	83.9%	279	279	95.5%
花巻温泉病院	医師	7	85.7%	6	6	100.0%
	看護職	57	98.2%	56	55	98.2%
	コメデイカル	18	94.4%	17	17	100.0%
	事務	6	83.3%	5	5	100.0%
	計	88	84	95.5%	83	83
合計	3076	2834	92.1%	2686	2686	94.8%

※その他：ポイラー技士、自動車運転転手、技術員等

＜インフルエンザ発生状況＞

所 属	対象者数	ワクチン 接種者数	ワクチン 未接種者数	接種率	インフルエンザA型+B型+インフルエンザ様症状		
					発症者数	発症率	
					ワクチン接種者数	ワクチン接種者数	
職員・大学院生	2,640	2,324	316	88.0%	195	169	7.4%
医学部	301	257	44	85.4%	1	1	0.3%
歯学部	114	104	10	91.2%	2	2	1.8%
医療専門学校	118	114	4	96.6%	6	6	5.1%
岩手看護短期大学	172	172	0	100.0%	7	7	4.1%
その他(希望者)	424	401	23	94.6%	27	23	6.4%
内 丸 合 計	3,769	3,372	397	89.5%	238	208	6.3%
職員・大学院生	348	279	69	80.2%	7	6	2.0%
医学部	509	439	70	86.2%	4	3	0.8%
歯学部	233	183	50	78.5%	5	5	2.1%
薬学部	838	690	148	82.3%	9	7	1.1%
看護学部	95	90	5	94.7%	1	1	1.1%
その他(希望者)	26	26	0	100.0%			
矢 巾 合 計	2,049	1,707	342	83.3%	26	22	1.3%
職員・大学院生	88	83	5	94.3%	11	11	12.5%
その他(希望者)	12	12	0	100.0%			
花 巻 合 計	100	95	5	95.0%	11	11	11.0%
合 計	5,918	5,174	744	87.4%	275	241	4.6%

＜内訳＞

インフルエンザA型	発症者数	インフルエンザB型		インフルエンザ様症状
		発症者数	ワクチン接種者数	
ワクチン接種者数	ワクチン接種者数	ワクチン接種者数	ワクチン接種者数	ワクチン接種者数
111	95	57	49	27
0	0	0	0	1
0	0	1	1	1
3	3	3	3	0
2	2	5	5	0
11	7	14	14	2
127	107	80	72	31
2	2	2	1	3
2	2	1	0	1
4	4	0	0	1
7	5	1	1	1
0	0	0	0	1
15	13	4	2	7
7	7	3	3	1
7	7	3	3	1
149	127	87	77	39

3) 長時間労働者への産業医による面接指導

(単位：件)

対象月	対象者				面接申出書 チェックリスト 提出者	面接 希望者	産業医 面接者
	6ヶ月平均で 45時間以上	2ヶ月平均で 80時間以上	1ヶ月平均で 100時間以上	計			
4月	20	8	2	30	30	0	0
5月	27	0	2	29	29	1	0
6月	24	0	0	24	24	0	1
7月	24	0	0	24	24	0	0
8月	25	0	0	25	25	0	0
9月	22	0	0	22	21	0	1
10月	21	0	0	21	21	0	2
11月	16	2	0	18	17	0	0
12月	18	2	1	21	20	1	0
1月	22	1	0	23	22	0	0
2月	18	0	0	18	18	0	2
3月	25	1	1	27	27	0	0
計	262	14	6	282	278	2	6

※産業医面接は、本人希望と産業医の判断で必要と認めた者

4) ストレスチェック

<実施期間>

平成29年8月1日(火)～8月16日(水)

<実施状況>

対象者	2911
受検者	1969
受検率	67.6%

<面接指導期間>

平成29年9月5日(火)、9月12日(火)

5) 職場巡視

<実施日>

平成 29 年 12 月 15 日 (金)

<巡視内容>

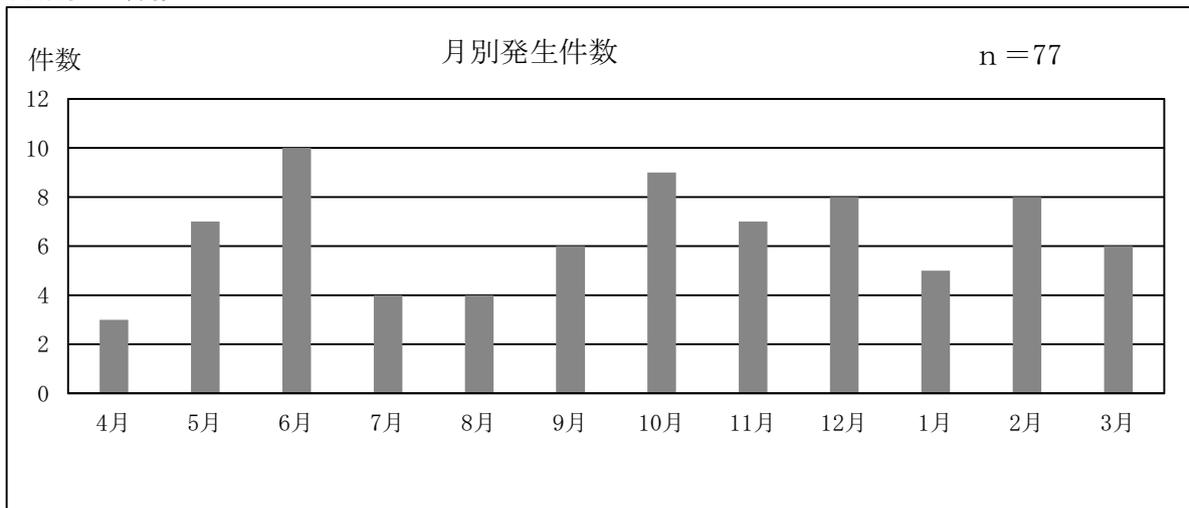
- ・温度、湿度、照度、騒音、整理整頓等について
- ・VDT作業環境について
- ・有機溶剤・特定化学物質使用の有無及び作業状況について

<巡視場所>

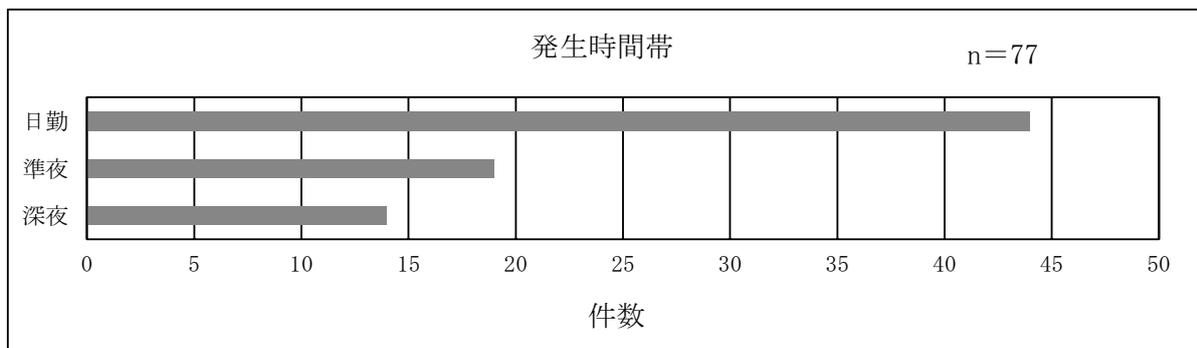
- ・附属病院 (本院) : CEセンター・CE機器管理室 (東3階)
- ・循環器医療センター : 心カテ室・技士コーナー (循1階)、ME室 (循5階)

6) 針刺し粘膜暴露事故対応

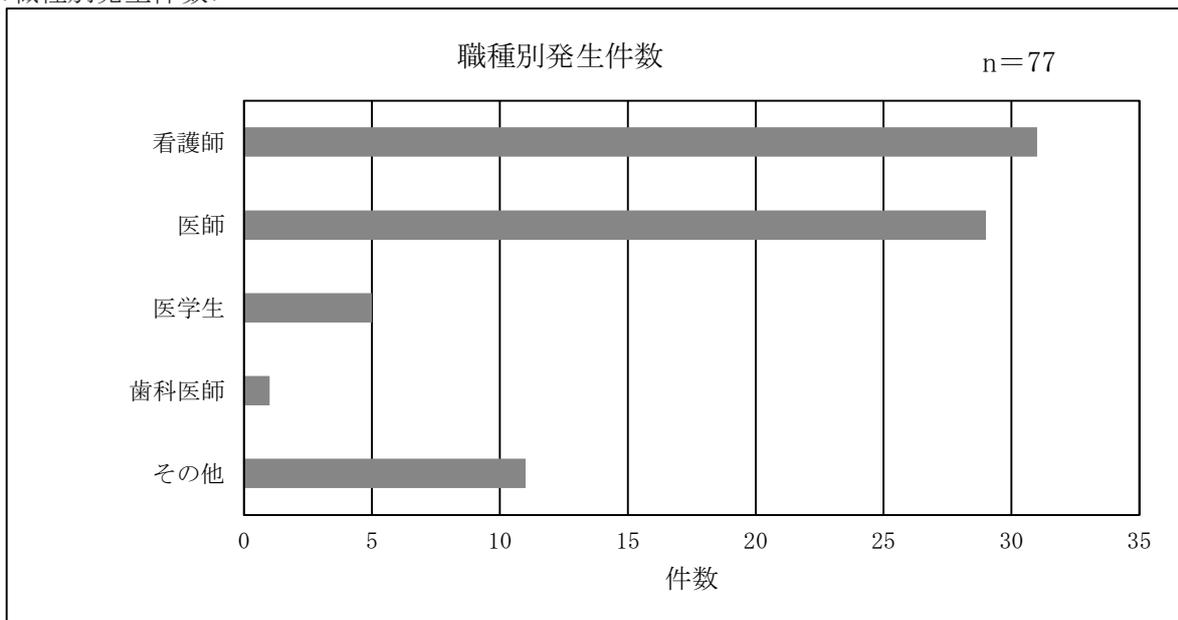
<月別発生件数>



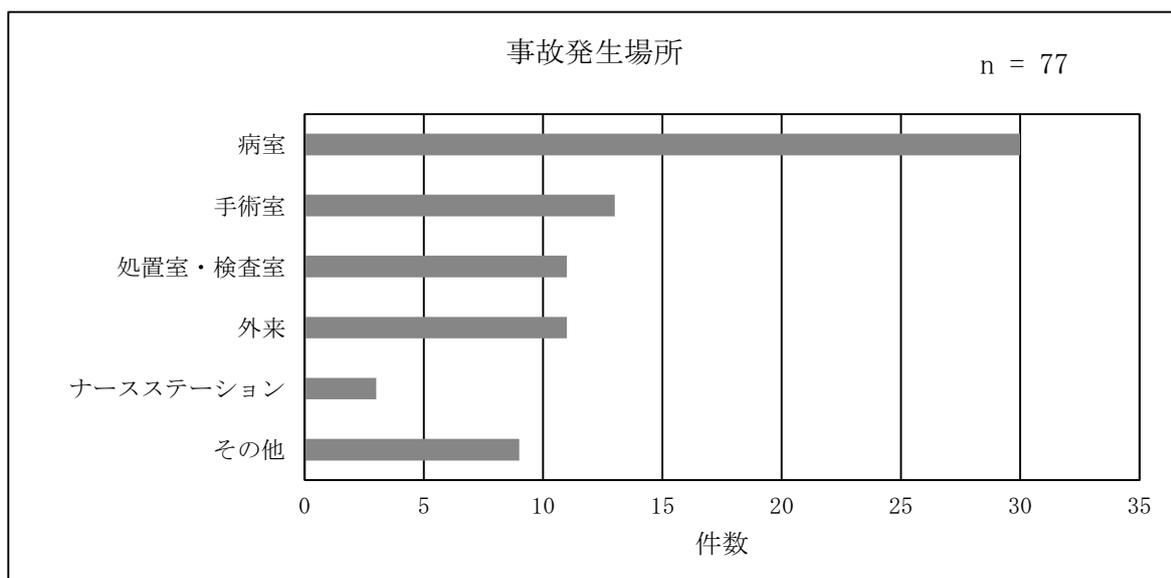
<発生時間帯>



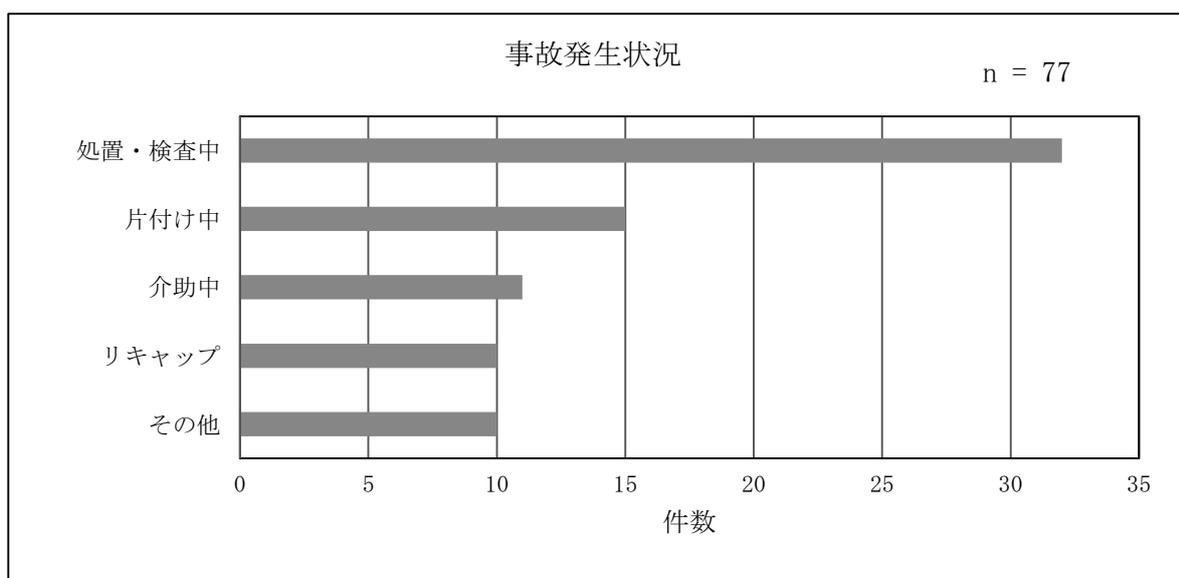
<職種別発生件数>



<事故発生場所>



<事故の発生状況>



Ⅲ 平成 29 年度健康管理センター 利用状況

Ⅲ 健康管理センター利用状況

1. 健康相談

1) 学生

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	
健康相談	内科	医学部	11	5	9	2	0	3	3	7	6	4	3	3	56
		歯学部	3	7	2	2	0	5	3	2	6	2	0	0	32
		薬学部	16	21	11	11	3	8	11	14	3	6	1	1	106
		看護学部	3	3	1	0	0	1	0	5	1	0	0	0	14
		専門学校・看護短大等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	外科	医学部	7	7	5	3	2	1	4	4	2	0	1	0	36
		歯学部	0	3	2	5	0	0	1	5	3	0	0	0	19
		薬学部	6	2	3	3	0	4	3	5	3	1	1	0	31
		看護学部	0	0	1	5	0	2	0	0	0	1	0	0	9
		専門学校・看護短大等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
耳鼻科	医学部	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2	
	歯学部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	薬学部	0	2	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	3	
	看護学部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	専門学校・看護短大等	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
皮膚科	医学部	1	2	1	1	0	1	1	0	0	0	0	0	7	
	歯学部	1	0	0	0	0	4	0	2	0	1	0	0	8	
	薬学部	1	6	3	0	0	0	2	2	0	0	0	0	14	
	看護学部	1	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	3	
	専門学校・看護短大等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
眼科	医学部	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	
	歯学部	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
	薬学部	0	0	0	0	1	1	0	0	2	0	1	0	5	
	看護学部	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	
	専門学校・看護短大等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
産婦人科	医学部	2	2	3	0	1	0	0	0	0	0	0	0	8	
	歯学部	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	
	薬学部	0	1	0	2	1	1	1	0	1	1	0	0	8	
	看護学部	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	2	
	専門学校・看護短大等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
歯科	医学部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	歯学部	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
	薬学部	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	2	
	看護学部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	専門学校・看護短大等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
泌尿器科	医学部	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	
	歯学部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	薬学部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	看護学部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	専門学校・看護短大等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
精神科	医学部	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
	歯学部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	薬学部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	看護学部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	専門学校・看護短大等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
相談的内容	医学部	0	1	2	1	0	3	0	0	0	1	1	1	10	
	歯学部	0	1	1	1	0	0	2	1	1	0	0	0	7	
	薬学部	3	2	5	6	2	4	7	3	2	1	1	3	39	
	看護学部	0	1	0	0	0	0	0	2	0	2	0	0	5	
	専門学校・看護短大等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
健康診断 ワクチン接種 関連相談	医学部	5	4	1	0	1	2	2	2	1	0	2	0	20	
	歯学部	0	2	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	3	
	薬学部	0	5	1	0	0	0	4	3	2	1	1	0	17	
	看護学部	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	2	
	専門学校・看護短大等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	0	3	
健康診断 事後指導	医学部	0	0	9	2	1	0	0	0	0	0	0	0	12	
	歯学部	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
	薬学部	0	1	6	6	0	1	0	0	0	0	0	0	14	
	看護学部	0	0	2	0	0	1	0	0	0	0	0	0	3	
	専門学校・看護短大等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
学校医相談	医学部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	歯学部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	薬学部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	看護学部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	専門学校・看護短大等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
健康測定 (身長・体重・血圧・視力等)	医学部	0	27	15	7	0	0	0	0	0	0	0	0	49	
	歯学部	0	11	5	1	0	0	0	0	0	0	0	0	17	
	薬学部	0	85	36	23	1	1	0	0	1	0	0	1	148	
	看護学部	0	10	8	2	0	0	0	0	0	0	0	0	20	
	専門学校・看護短大等	0	0	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10	
計		63	214	145	85	14	44	47	60	36	23	14	9	754	

※件数は延件数

	学生
健康診断個人票発行	378

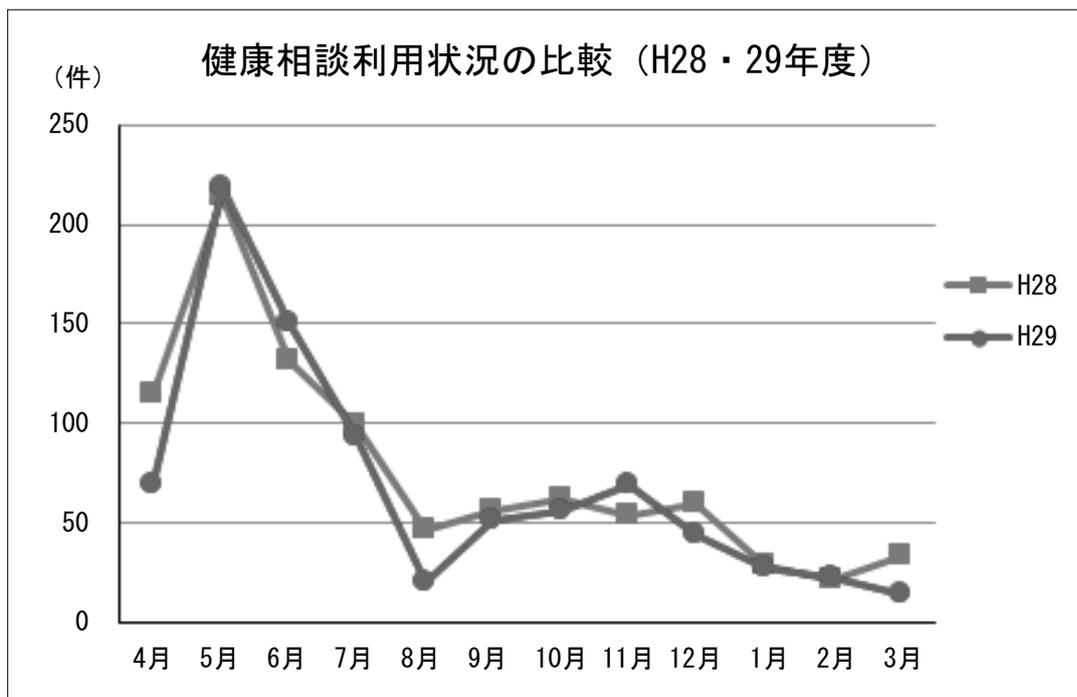
2) 職員

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	
相談項目	健康相談	内科	3	4	3	2	3	3	5	4	2	2	5	1	37
	外科	3	1	2	1	2	1	1	1	1	0	1	2	1	16
	耳鼻科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	皮膚科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	眼科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	産婦人科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
	歯科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	泌尿器科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	精神科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	相談の内容	相談の内容	0	0	0	2	0	0	0	1	1	0	1	1	6
	健康診断ワクチン接種関連相談	健康診断ワクチン接種関連相談	0	0	0	0	0	2	1	0	2	1	0	1	7
	健康診断事後指導	健康診断事後指導	0	0	0	3	1	0	2	0	1	0	0	0	7
	産業医相談	産業医相談	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	健康測定(身長・体重・血圧・視力等)	健康測定(身長・体重・血圧・視力等)	0	0	0	0	0	1	0	3	1	0	0	1	6
計	計	6	5	5	8	6	7	9	9	8	4	8	5	80	

※件数は延件数

	職員
健康診断個人票発行	165

2. 健康相談利用状況の比較



3. 心理相談（健康管理センター相談室）

1) 学生

平成 29 年度相談室利用状況

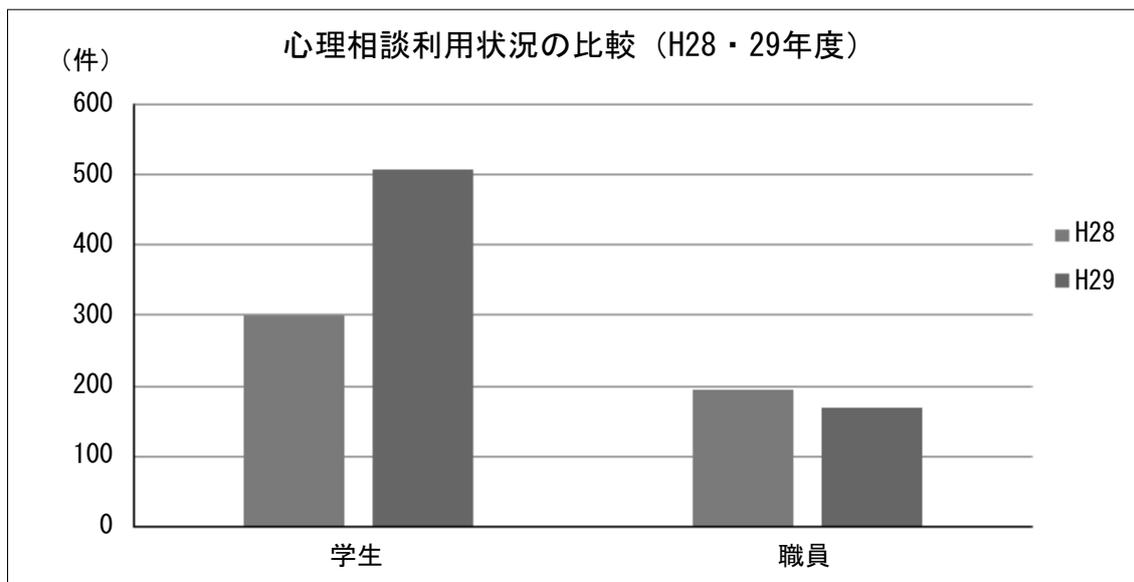
		医学部	歯学部	薬学部	看護学部	看護短大 専門学校等	計
精神保健	延相談件数	13	4	17	1	2	37
	利用者数	3	3	8	1	2	17
パーソナリティ	延相談件数	6	7	19	5	11	48
	利用者数	3	2	7	2	3	17
適応	延相談件数	11	7	22	7	4	51
	利用者数	5	5	8	2	3	23
修学	延相談件数	13	3	63	8	4	91
	利用者数	5	3	21	1	1	31
進路	延相談件数	2	3	17	0	9	31
	利用者数	1	1	5	0	2	9
学生生活	延相談件数	0	1	6	0	0	7
	利用者数	0	1	1	0	0	2
ハラスメント	延相談件数	0	4	0	0	0	4
	利用者数	0	2	0	0	0	2
学校医相談	延相談件数	0	0	2	0	0	2
	利用者数	0	0	2	0	0	2
その他	延相談件数	44	84	91	3	15	237
	利用者数	16	16	23	3	2	60
計	延相談件数	89	113	237	24	45	508
	利用者数	33	33	75	9	13	163

2) 職員

平成 29 年度相談室利用状況

精神保健	延相談件数	44
	利用者数	16
パーソナリティ	延相談件数	41
	利用者数	4
職場不適応	延相談件数	29
	利用者数	15
家庭問題	延相談件数	7
	利用者数	3
生活相談	延相談件数	1
	利用者数	1
ハラスメント	延相談件数	1
	利用者数	1
コンサルテーション	延相談件数	15
	利用者数	13
産業医相談	延相談件数	0
	利用者数	0
その他	延相談件数	31
	利用者数	13
計	延相談件数	169
	利用者数	66

4. 心理相談利用状況の比較



5. 心の健康問題により休業した職員の職場復帰支援

本学の職員で心の健康問題を理由に病気休暇が1ヵ月を超える者を対象に、円滑に職場復帰し、業務が継続できるよう支援を実施。

対応件数 (平成29年4月～平成30年3月)

対象者	月別対応件数内訳 (延件数)												計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
25名	59	58	31	31	39	47	41	40	35	20	22	17	440

対象者の支援経過 (平成29年3月31日現在)

復帰 (支援終了)	復帰 (支援継続)	退職	病休中
5	5	9	6

IV 平成 29 年度メンタルヘルス支援

IV 平成 29 年度メンタルヘルス支援

1. セミナー

(平成 29 年度 対象：学生)

開催日	内 容	場 所	参加人数
9 月 20 日	自分自身を大切にするととは？ －自分らしく生活するために－① ストレスと上手に付き合う方法を学ぼう	矢巾キャンパス 東研究棟 1 階 SGL35・36・37 室	0 名
9 月 27 日	自分自身を大切にするととは？ －自分らしく生活するために－② 自尊心を守る、自分を大事にするとは？	矢巾キャンパス 東研究棟 1 階 SGL35・36・37 室	2 名
10 月 25 日	コミュニケーションスキルアップ －人間関係の上手な付き合い方のコツ－① 上手な話の聴き方と伝え方を学ぼう	矢巾キャンパス 東研究棟 1 階 SGL35・36・37 室	2 名
11 月 1 日	コミュニケーションスキルアップ －人間関係の上手な付き合い方のコツ－② 自分も相手も心地よい気遣いを学ぼう	矢巾キャンパス 東研究棟 1 階 SGL35・36・37 室	2 名

(平成 29 年度 対象：職員)

開催日	内 容	場 所	参加人数
9 月 21 日	ストレスチェックフォローアップセミナー① ストレスチェック徹底解説 - 自分の結果を詳しく知ろう -	内丸キャンパス 木の花会館 3 階会議室	0 名
10 月 4 日	ストレスチェックフォローアップセミナー② ストレスマネジメント講座 - ストレスとの付き合い方を学ぼう -	内丸キャンパス 木の花会館 3 階会議室	2 名
10 月 13 日	ストレスチェックフォローアップセミナー③ セルフケア講座 - 自分をケアするスキルを向上させよう -	内丸キャンパス 木の花会館 3 階会議室	1 名
2 月 7 日	「困った」感情や人間関係に振り回されないために① 感情のコントロールの仕方を学ぼう	矢巾キャンパス 東研究棟 1 階 SGL40・41・42 室	7 名
2 月 19 日	「困った」感情や人間関係に振り回されないために② 苦手な人との付き合い方を考えよう	矢巾キャンパス 東研究棟 1 階 SGL40・41・42 室	6 名
2 月 27 日	コミュニケーションスキルアップセミナー① 相手が話したくなる聞き方を学ぼう	内丸キャンパス 木の花会館 3 階会議室	8 名
3 月 7 日	コミュニケーションスキルアップセミナー② 自分の気持ちをきちんと「伝える」ために	内丸キャンパス 木の花会館 3 階会議室	2 名

2. メンタルヘルス講義（対象：全学部1年生）

開催日	テーマ	講師	参加人数
6月19日	学生生活とメンタルヘルス	精神科学校医 星克仁	303名
	大学生活を通して自分を見つめること - 自己探索のススメ -	主任臨床心理士 畠山秀樹	
	自分と他者を大切にすること - エゴグラムの結果を通して -	臨床心理士 氏家真梨子	

3. 「教職員のための学生相談ハンドブック」改訂のためのアンケートの実施

平成28年3月に発刊した「教職員のための学生相談ハンドブック」に関して、平成28年度に実施したアンケートの回収率が低かったため、新設された看護学部を含めた多くの教職員から意見を聴取し、改訂に反映させるべく、2回目のアンケートを平成30年2月に実施した。

対象者は645名で、151名（23.4%）から回答が得られ、前回の回収率（21.7%）を少し上回った。ハンドブックの評価では、「大変役立った」、「役に立った」が37%、「あまり役に立っていない」、「役に立たない」が11%、「読んでいない」が30%、「ハンドブックの存在を知らない」が21%という結果で、半数の51%がハンドブックを読んでいない、存在を知らないという結果であった。

今回のアンケート結果からも改めてハンドブックの周知や活用についての課題が浮き彫りとなった。寄せられた意見・要望は、平成31年度のハンドブック改訂に向けての検討事項として協議していきたいと考えている。

4. ラインケア研修

本学の管理職者を対象に、管理職の位置づけ・役割を理解するとともに、ラインケアに必要な知識・スキルを習得し、大学組織としての共通理解を図ることを目的に以下の内容で研修を企画・実施した。開催にあたって人事職員課と協議し、共催の形式で実施した。

開催日	テーマ	講師	参加人数
7月31日	職場のメンタルヘルス対策 ラインケアの基礎知識	岩手産業保健総合支援センター 産業保健相談員 藤井由里	20名
9月28日	職場のメンタルヘルス対策 ラインケア こんなときどうする？ ～事例を通して対応のしかたを考える～		46名
10月31日			58名

5. 研究

学生の臨床実習にかかるストレスとサポートに関して、以下の研究に携わった。なお、論文は岩手医科大学教養教育研究年報（2017-12 発行. 52 号. pp55-62）に掲載されており、岩手医科大学リポジトリから閲覧可能である。

タイトル：医療系大学の臨床実習における学生のストレス

藤澤美穂、畠山秀樹、氏家真梨子、高橋智幸、松浦誠

岩手医科大学リポジトリ（URL）

https://iwatemed.repo.nii.ac.jp/?action=pages_view_main&active_action=repository_view_main_item_detail&item_id=8996&item_no=1&page_id=119&block_id=139

6. 震災支援

東日本大震災に伴う対応

当センター臨床心理士が所属する岩手県臨床心理士会の震災支援活動への関与について、昨年度同様に大学からの出張として認められ、参加した。以下に参加した支援活動を示す。

表 平成 29 年度における岩手県臨床心理士会支援活動への関与（出張分）

支援活動名	担当者	活動のべ日数
釜石市支援活動	畠山	4 日
宮古市支援活動	氏家	6 日

V 平成 29 年度健康教育・啓発活動

V 健康教育・啓発活動

1. 健康教育

1) 学生の健康管理について

平成 29 年 4 月 6 日（木） 対象者：医療専門学校新入生

担当：主任保健師 村山 美保

主任臨床心理士 畠山 秀樹

内容：寮での共同生活、バランスのとれた食事、体調不良時の受診方法等

平成 29 年 4 月 7 日（金） 対象者：新入生（医・歯・薬・看）

担当：主任保健師 村山 美保

臨床心理士 氏家 真梨子

内容：健康管理センター利用案内、体調不良時の受診方法、相談室の利用案内

平成 29 年 4 月 11 日（火） 対象者：岩手看護短期大学学生

担当：主任臨床心理士 畠山 秀樹

内容：相談室の紹介

平成 29 年 4 月 26 日（水） 対象者：入寮生（医・歯・薬・看）※ユニットリーダー・希望者

担当：保健師 藤井 ヌイ子

テーマ：体調不良時の医療機関受診時の注意事項および夜間の受診方法等

平成 29 年 6 月 30 日（金） 教養教育センターとの情報交換会

参加者：教養教育センター教員 11 名、教務課事務スタッフ 2 名、

健康管理センタースタッフ 6 名

内容：1 年生に関する情報交換

平成 29 年 9 月 6 日（水） 対象者：新入生（医・歯・薬・看）

講師：衛生学公衆衛生学講座 坂田 清美 教授

担当：保健師 藤井 ヌイ子

テーマ：医療関係者は何故、禁煙しなければならないのか？

平成 29 年 12 月 8 日（金） 対象者：退寮生（医・歯・薬・看）※ユニットリーダー・希望者

担当：主任保健師 村山 美保

テーマ：基本的な食生活の留意点

平成 30 年 1 月 23 日（火）～月 1 回で開催 矢巾キャンパス教務課・学事総務課との情報交換会
参加者：各課課長、健康管理センタースタッフ 3 名
テーマ：学生に関する情報交換

2) 職員の健康管理について

平成 29 年 4 月 3 日（月） 対象者：看護学部教員
研修担当：主任保健師 村山 美保
主任臨床心理士 畠山 秀樹

平成 29 年 4 月 5 日（水） 対象者：新入職員
研修担当：主任保健師 村山 美保

平成 29 年 10 月 4 日（水） 対象者：中途採用職員
研修担当：主任保健師 村山 美保

3) メンタルヘルス関連研修

平成 29 年 4 月 5 日（水） 対象者：新人看護師・歯科衛生士
研修担当：主任臨床心理士 畠山 秀樹
テーマ：新人看護師のメンタルヘルスケア

平成 29 年 6 月 19 日（月） 対象者：新人看護師・歯科衛生士
研修担当：主任臨床心理士 畠山 秀樹
テーマ：新人看護師のメンタルヘルスケア

平成 29 年 6 月 30 日（金） 対象者：学生支援に携わる教職員
研修担当：臨床心理士 氏家 真梨子
テーマ：1 年次の相談と対応の実際

平成 29 年 7 月 18 日（火） 対象者：看護部・教育担当者
研修担当：主任臨床心理士 畠山 秀樹
テーマ：教育担当者としてのストレスマネジメント - ストレスへの気づきと対処行動の実践 -

2. 啓発活動

1) 健康管理センターだより



健康管理センターの利用について

健康管理センターでは、学生の皆さんが安心して学生生活を送れるよう、学校医、臨床心理士、保健師等が連携し心身の健康面でサポートをしています。

どんな些細なことでも構いません、どうぞ気軽にご利用ください。

<利用にあたって> たとえば こんなとき…

●具合が悪い

症状を確認のうえ、ベッド休養、常備薬（市販薬）の利用、受診コーディネート、医療機関情報提供などの対応をしています。



●怪我をした

怪我等の状況を確認のうえ、応急処置、受診コーディネート、医療機関情報提供などの利用や必要に応じて松葉杖、車椅子の利用ができます。



●自分の病気について

「自分の病気の事で悩んでいる」「就学上のサポートが必要」などの相談ができます。学校医や担当教員、学生部スタッフと連携しサポートしています。



●健康診断結果の相談&事後指導

「C-2（要受診）の用紙が来たがどうしたらいいか？」など健康診断結果の相談ができます。また、C-2（要受診）項目（血圧、視力、尿検査）の再測定や高血圧、肥満の生活支援も行っています。



●各種ワクチン接種について

インフルエンザ（毎年）やB型肝炎（実習前学年）のワクチン接種などで聞きたいことや心配なことがあればご相談ください。



●証明書の発行

健康診断やワクチン接種の結果について証明書を発行しています。就職活動やマッチング、保険加入、実習などで必要な際にご利用ください。発行には時間を要する場合がありますので、余裕を持って申請してください。



●心理相談

学生生活での困りごと

- ・メンタルヘルス不調
- ・対人関係
- ・自分の性格
- ・学業
- ・進路
- ・ハラスメント

などの相談には臨床心理士が対応しています。



相談室利用の詳細は裏面へ

困ったときには健康管理センター相談室へ

新しい1年が始まり、生活や環境面で様々な変化が生じる時期です。変化に慣れる（適応する）までには、うまくいかなくて困ったり、悩んだりすることがあると思います。

健康管理センター相談室では、学生の皆さんが悩んだり、困ったりしたときのサポートとして、専門のカウンセラー（臨床心理士）が様々な相談に対応しています。相談室は矢巾・内丸の各キャンパスで開設しており、岩手医科大学の学生であればどなたでも、無料で利用できます。

また、相談内容は秘密を厳守しますので、安心してご利用ください。



相談の予約方法は？

以下の3つの方法を使って申し込みをしてください。
対応中のときもありますので、事前予約をおすすめします。

電話	大学代表電話 019-651-5111 【矢巾キャンパス】内線 5022/5023 【内丸キャンパス】内線 3816/3818
メール	shinrisoudan@j.iwate-med.ac.jp メールに「学科、学年、名前、相談希望日時」をお知らせください。 QRコードからアクセスし、メールフォーマットを活用して予約することも可能です。 ※上記メールはカウンセラーしか閲覧できないものですので、ご安心ください。
直接来室	開室時間に相談室にお越しください。

《携帯用 QR コード》



開室日時と相談室の場所は？

原則としては、**8:30~17:00**

○の曜日 10:30~19:00

●の曜日 8:30~12:30

(第1,4土曜日のみ)

※時間外予約は応相談

	月	火	水	木	金	土
矢巾	氏家	氏家 ○	氏家	畠山	氏家	氏家 ●
内丸	畠山	畠山	畠山 ○	氏家	畠山	畠山 ●

<担当カウンセラー（臨床心理士）>

氏家真梨子（主に矢巾担当）

畠山秀樹（主に内丸担当）

<矢巾キャンパス相談室>

東研究棟1階 104・105・106室
※キャリア支援センターの奥に進んで右側

<内丸キャンパス相談室>

創立60周年記念館（循環器センター8階）
※エレベーターを降りて正面に案内図がありますのでご参照ください

TEL: 019-651-5111 (代表)

【矢巾キャンパス】内線 5022・5019

【内丸キャンパス】内線 3816・3818

E-mail: kenkou@j.iwate-med.ac.jp

ホームページ: <http://w3j.iwate-med.ac.jp/kenkou/index.html>

場所・スタッフはホームページ参照

発行 岩手医科大学 健康管理センター

《ホームページ QR コード》





健康管理センターだより



24号 2017年4月1日発行

健康管理センターの利用について

健康管理センターでは、職員の皆さんが安心して業務に従事できるよう、産業医、臨床心理士、保健師等が必要な機関と連携をとりながら、心身の健康面でサポートをしています。困った時には気軽にご利用ください。

<利用にあたって> たとえば こんなとき…

●体調不良・怪我

症状・怪我の具合を確認のうえ応急処置、常備薬(市販薬)の利用、ベッド休養受診コーディネート、医療機関情報提供などの対応をしています。必要に応じて松葉杖、車椅子の利用ができます。



【針刺し及び粘膜曝露事故の対応】

事故当事者(受傷者)は、ただちに健康管理センターに連絡ください。休日、夜間は当直師長が対応の窓口になります。(本学の「針刺し及び粘膜曝露事故対応規程」に基づき)

●健康相談

「自分の病気の事で悩んでいる」「就業上の配慮が必要」などの相談ができます。必要に応じて産業医や所属長、人事職員課と連携しサポートしています。



●各種健康診断・検診結果の相談&事後指導

健康診断や検診結果の相談ができます。また、血圧、視力、聴力の測定や高血圧、肥満等の改善のための支援も行っています。

●各種ワクチン接種について

本学実施の各種ワクチン接種(インフルエンザ・B型肝炎など)について聞きたいことや心配なことがあればご相談ください。



●証明書の発行

健康診断やワクチン接種の結果について証明書を発行しています。出張先への提出や保険加入などで必要な際にご利用ください。発行には時間を要する場合がありますので、余裕を持って申請してください。



●長時間労働者への産業医による面接指導

長時間労働による健康被害を防ぐため、産業医面接により支援を行っています。



●心の健康問題により休業した職員への職場復帰支援

心の健康問題により病気休暇を取得し1ヵ月を超える場合、職場復帰を円滑にできるよう支援しています。

相談室利用の詳細は裏面へ

●心理相談

メンタルヘルス不調、業務上トラブル、人間関係、家族・家庭での問題、DV、自分の性格、ハラスメントなどの相談に臨床心理士が対応しています。



セルフケアにご活用ください（健康管理センター相談室）

新しい1年が始まり、生活や環境面で様々な変化が生じる時期です。変化に慣れる（適応する）までには、何かとストレスを抱えることがあり、日々のセルフケアが重要です!!

健康管理センター相談室では、職員の皆さんのセルフケアのサポートとして、専門のカウンセラー（臨床心理士）が様々な相談に対応しています。相談室は内丸・矢巾の各キャンパスで開設しており、岩手医科大学の職員であればどなたでも、無料で利用できます。また、相談内容は秘密を厳守しますので、安心してご利用ください。



相談の予約方法は？

以下の3つの方法を使ってお申し込みください。
対応中のときもありますので、事前予約をおすすめします。

電話	大学代表電話 019-651-5111 【内丸キャンパス】内線 3816 / 3818 【矢巾キャンパス】内線 5022 / 5023
メール	shinrisoudan@j.iwate-med.ac.jp メールに「所属、職名、名前、相談希望日時」をお知らせください。 QRコードからアクセスし、メールフォーマットを活用して予約することも可能です。 ※上記メールはカウンセラーしか閲覧できないものですので、ご安心ください。
直接来室	開室時間に相談室にお越しください。

《携帯用 QR コード》



開室日時と相談室の場所は？

原則としては、8:30~17:00

○の曜日 10:30~19:00

●の曜日 8:30~12:30

(第1,4土曜日のみ)

※時間外予約は応相談

	月	火	水	木	金	土
内丸	畠山	畠山	畠山 ○	氏家	畠山	畠山 ●
矢巾	氏家	氏家 ○	氏家	畠山	氏家	氏家 ●

<担当カウンセラー（臨床心理士）>

畠山秀樹（主に内丸担当）

氏家真梨子（主に矢巾担当）

<内丸キャンパス相談室>

創立60周年記念館（循環器センター8階）
※エレベーターを降りて正面に案内図がありますのでご参照ください

<矢巾キャンパス相談室>

東研究棟1階 104・105・106室
※キャリア支援センターの奥に進んで右側

TEL : 019-651-5111（代表）

【内丸キャンパス】内線 3816・3818

【矢巾キャンパス】内線 5022・5019

E-mail : kenkou@j.iwate-med.ac.jp

ホームページ : <http://w3j.iwate-med.ac.jp/kenkou/index.html>

場所・スタッフはホームページ参照

発行 岩手医科大学 健康管理センター

《ホームページ QR コード》



— お互いが被害者・加害者にならないために —

以下のように、デートDVは意外と身近におきている現状があり、アルコールハラスメントも部活・サークル、研究室での飲み会などでトラブルになることがあります。ともに、被害・加害がないように十分に気をつけてほしいと思います。



交際相手からの暴力(デートDV)を女性は5人に1人、男性は10人に1人受けています

(2016年内閣府調査)

あなたが「経験した」「身近で見聞きした」行為はありますか？

- | | |
|---|---|
| <input type="checkbox"/> 服や髪型など自分の好みを押し付ける | <input type="checkbox"/> 学歴や職歴をバカにする |
| <input type="checkbox"/> 人前で見下すような態度や大声で怒鳴る | <input type="checkbox"/> 友人(特に異性)と話す、会うことを嫌がる |
| <input type="checkbox"/> 行先や服装、行動を一方向的に決めて指示・命令する | <input type="checkbox"/> 携帯の中身を許可なく見る |
| <input type="checkbox"/> どこで何をしているか、行動を逐一報告させる | <input type="checkbox"/> メールや電話にすぐに返信しないと怒る |
| <input type="checkbox"/> 自分の思い通りにならないと不機嫌になる | <input type="checkbox"/> 別れ話をすると死ぬと脅す |
| <input type="checkbox"/> 「ブサイク」「デブ」などと外見をバカにする | <input type="checkbox"/> 殴る、蹴るなど暴力をふるう |
| <input type="checkbox"/> 無理やりキスや性的関係を求める | <input type="checkbox"/> お金を貸しても返さない |



これらはすべてデートDVであり、徐々にエスカレートしていきます



アルコールハラスメント(アルハラ)は、命に関わる人権侵害となります

アルハラの定義 (イッキ飲み防止連絡協議会より)

1. 飲酒の強要

→ 上下関係、部の伝統、罰ゲームなどで飲まざるをえない状況に追い込む 未成年への飲酒強要

2. イッキ飲ませ

3. 意図的な酔いつぶし

4. 飲めない人への配慮を欠くこと

→ 酒類以外の飲み物を用意しない

5. 酔った上での迷惑行為

→ 暴言、暴力、セクハラなど

アルハラすると

刑事・民事責任を追及される場合がある

* 「飲めない」「飲みたくない」と断っているのに強引に飲ませた

⇒ 強要罪(3年以下の懲役)

* イッキ飲ませて急性アルコール中毒で病院搬送された

⇒ 傷害罪(15年以下の懲役または50万円以下の罰金もしくは科料)

* 上記で死亡してしまったら ⇒ 傷害致死罪(3年以上の懲役)

* 主導していなくても一緒に立ち立ったりした

⇒ 傷害現場助勢罪(1年以下の懲役又は10万円以下の罰金もしくは科料)

* 酔いつぶれた人を保護せず放置した

⇒ 保護責任者遺棄罪(3か月以上5年以下の懲役)

もしあなたがデートDV被害やアルハラにあっていたら・・・

あなたは何も悪くありません。一人で悩まずに支援を求めて下さい

- 岩手医科大学 健康管理センター相談室 ☎ 019-651-5110(内線 3816/5022) ✉ shinrisoudan@j.iwate-med.ac.jp
- もりおか女性センター ☎ 019-604-3304 (月・火・金 10:00-17:00/水・木 10:00-20:00、女性のみ)
- 岩手県男女共同参画センター ☎ 019-606-1762 (月・水・木・土・日 9:00~16:00/火・金 9:00~20:00)
- よりそいホットライン ☎ 0120-279-338 ☎ 0120-279-226 (24時間対応)
- 岩手県警察ストーカー・DV相談窓口 ☎ 019-653-0110 (24時間対応)

<アルコールハラスメント>

- セクシャル・ハラスメント等相談窓口(学内) 岩手医科大学ホームページ ⇒ 「通報・相談窓口等」からアクセス

— 相談機関に抵抗があれば、まず自分が信頼している友達や家族、先生に相談してみましょう —



インフルエンザの予防策

これからインフルエンザが流行する時期になります。インフルエンザに感染した事が分かった場合、学校保健安全法により、出席停止期間が定められています。発症した後5日を経過し、かつ解熱したあと2日を経過するまでは登校ができません。予防策を実施し、インフルエンザの発症を予防しましょう。

1) 流行前のインフルエンザワクチンの接種

ワクチン接種により、感染後の発症する可能性を低減させる効果と、発症した場合の重症化防止に有効と報告されています。

2) 咳エチケット

- ①咳やくしゃみを他の人に向けて発しない
- ②咳やくしゃみが出る時はマスクをする。
- ③鼻汁・痰などを含んだティッシュはすぐにごみ箱に捨て、手のひらで咳やくしゃみを受け止めた時はすぐに手を洗う。



3) 外出後の手洗い等

手洗いの他に、アルコール製剤による消毒も効果があります。

4) 適度な湿度の保持

5) 十分な休養とバランスの取れた栄養摂取

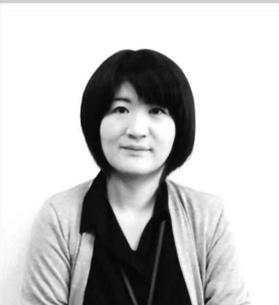
6) 人混みや繁華街への外出を控える

平成 29 年度 学生健康診断 受診状況

	対象者	受診者	未受診者
医学部	811	800	11
歯学部	349	343	6
薬学部	871	869	2
看護学部	95	95	0
医療専門学校	119	119	0
岩手看護短大	173	173	0
合計	2418	2399	19

学生健康診断の未受診者は 19 名でした。学生健康診断は、学校保健安全法、本学の規程により受診が義務付けられています。疾病の早期発見と予防のために、また、集団生活を送るうえでも大切なことです。本学職員の健康診断受診率は 100% でした。忙しい業務の中、時間を作り受診しています。来年は全員が受診し、職員のように 100% にしましょう。健康管理センターでも、未受診者への働きかけを強化していきます。

健康管理センター新スタッフ紹介



4 月より保健師として配属になりました、小原真綾と申します。

以前は循環器医療センターで看護師として勤務しておりました。新しい環境の中、戸惑うことばかりですが、学校・産業保健の分野に関われることをとても嬉しく思っております。まだまだ不慣れで力不足な私ですが、学生・職員のみなさんが、心と体の健康を保持・増進できるよう、お手伝いしていければと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。



TEL : 019-651-5111 (代表) 内線 5022/5023 (矢巾) 3816/3818 (内丸) <ホームページ QR コード>

E-mail : kenkou@i.wate-med.ac.jp

ホームページ : <http://w3i.wate-med.ac.jp/kenkou/index.html>

場所・スタッフはホームページ参照

発行 岩手医科大学 健康管理センター



最近、話題となっている「過重労働」について、本学での対応をお知らせします。本学では「長時間労働」として対応を行っています。

労働安全衛生法の改正により平成 18 年 4 月 1 日（労働者 50 人未満の事業所は平成 20 年 4 月 1 日）から、「長時間労働者」に対して、労働者の健康の保持を考慮して医師による面接指導（問診その他の方法により心身の状況を把握し、これに応じて面接により必要な指導を行う）を行わなければならないとされ、本学では平成 19 年度から実施してきました。

長時間労働とは？

法定労働時間は 1 日 8 時間、1 週間に 40 時間を超えて労働させてはいけなくなっています。1 週間に 40 時間を超えて労働した時間は、「時間外・休日労働時間」となり、長時間労働の対象となります。



長時間労働のリスク

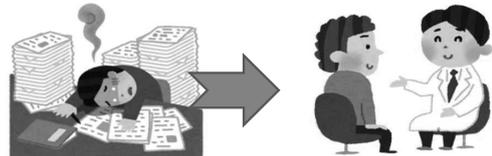
勤務時間を超過して業務することにより、食事時間、家族や友人と過ごす時間、睡眠時間、趣味の時間などが十分に持たなくなります。その結果、心身のバランスを崩しさまざまな不調が生じてきます。長時間労働による疲労の蓄積は、血管病変等を著しく増悪させ、脳・心臓疾患を発症させることが明らかになっています。また、うつ病などのメンタルヘルス不調を招くことも明らかになっています。

長時間労働による健康障害を防ぐためには

- ①労働時間の確認、業務の内容、人員の適正化に努め、時間外・休日労働時間を減らしましょう。
- ②年次有給休暇を取得しやすい職場環境づくりに努めましょう。
- ③健康診断は必ず受診し、異常所見があった場合は、早めに受診しましょう。
- ④ある一定以上の基準を超える長時間労働者は産業医の面接指導を受けましょう。

本学では、以下の基準に該当すると産業医面接の対象となる場合があります

- | | | |
|--|---|-------|
| <ol style="list-style-type: none"> ① 1 カ月で 100 時間 ② 2 カ月平均で 80 時間 ③ 6 カ月平均で 45 時間 | } | 超えた場合 |
|--|---|-------|



「面接希望有無の申請書」と「健康状態チェックリスト」を記入し健康管理センターに提出

- ◆産業医による「面接希望者」との面接を実施します。
- ◆産業医が「チェックリスト」を確認し、面接希望しない場合でも、産業医が面接を必要と判断した場合は安全配慮義務の観点から面接を実施します。

必要に応じ事後措置を講じます。
 （労働時間の短縮、場所変更、作業転換、深夜業の軽減、日勤帯への転換、医療機関への受診配慮など）

こころがけることは？

- ◆自分の健康を守るためにも、時間外勤務はきちんと申請しましょう。
- ◆労使共に協力精神で臨み創意工夫し時間外労働削減に努めましょう。

ストレスチェックを実施しました

今年の8月1日～8月16日にかけて、本学では2回目となるストレスチェックを実施しました。今年度の回答率は67.6%でした。ストレスチェックの目的は、メンタルヘルス不調の未然防止です。年に一度、自己チェックをして自分のストレス状態を知り、セルフケアのきっかけにいただければ幸いです。

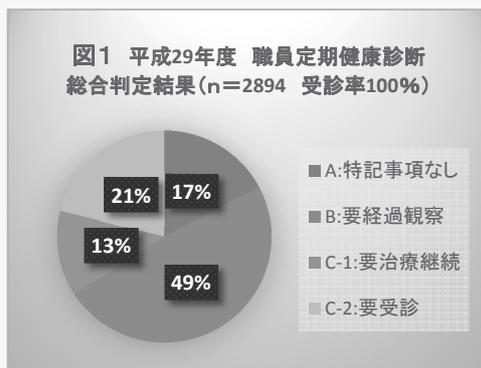
ストレスと上手に付き合っていく上で、ソーシャルサポート（周囲の人からの援助）が重要とされ、ストレス耐性の向上につながります。個人の方で状況を改善することも大事ですが、一方でソーシャルサポートを活用して改善する力も同じくらい大事です。「サポートを受けることが恥ずかしい、周囲にどう思われるか」を気にして問題を一人で抱え込んでしまい、状況や状態が深刻化することがありますが、そんな時にはソーシャルサポートの活用を積極的に考えてみましょう。また、自分に余裕のある時は周囲の人にサポートを提供することでお互いに支え合う関係ができ、サポートの好循環が生まれるため、ストレス耐性向上の輪を広げていきましょう。

また、今回受検にあたり、ログインできないといった問い合わせを多くいただきました。職員の皆様が負担を感じることなくスムーズに実施できるよう、次回の実施に向けて検討・改善していきたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。



職員定期健康診断の結果

図1 平成29年度 職員定期健康診断
総合判定結果 (n=2894 受診率100%)



今年度の本学職員の受診者は2894名で受診率は100%となりました。図1は総合判定の結果です。何らかの所見のある職員が8割を超えています。あなたの結果はいかがでしたか？ C-2（要受診）と判定された方は必ず受診し、再検査や精密検査を受けましょう。「特に症状がないから…」と放置しては、病気の早期発見や重症化の予防に繋がりにません。健康診断で自分の健康状態をよく知り、日頃の生活習慣を見直すなど結果を日常生活に活かしていきましょう。なお、健康診断の結果にかかわらず気になる症状があれば、早めの受診をおすすめします。

健康管理センター新スタッフ紹介



4月より保健師として配属になりました、小原真綾と申します。以前は循環器医療センターで看護師として勤務しておりました。新しい環境の中、戸惑うことばかりですが、学校・産業保健の分野に関われることをとても嬉しく思っております。まだまだ不慣れで力不足な私ですが、学生・職員みなさんが、心と体の健康を保持・増進できるよう、お手伝いしていければと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。



TEL:019-651-5111 (代表) 内線 5022/5023 (矢巾) 3816/3818 (内丸)

《ホームページQRコード》

E-mail : kenkou@i.wate-med.ac.jp

ホームページ : <http://w3.i.wate-med.ac.jp/kenkou/index.html>

場所・スタッフはホームページ参照

発行 岩手医科大学 健康管理センター



2) 掲示

29 健管第1号
平成29年5月19日

「禁煙週間」知ってますか？

5月31日（水）～6月6日（火）です。
自分のために、大切な方のために、
禁煙してみませんか？

ニコチンは依存性薬物です。
今は禁煙補助薬(ニコチンパッチ等)を使用
して楽に禁煙できるようになりました。
禁煙補助薬は薬剤師が常駐する薬局で説明を
うけ購入できます。
相談したい方は、お気軽に健康管理センター
へお越しください。

……禁煙するといいいことありますよ……

- タバコ代が浮きますよ
- 食事が楽しく美味しくなります
- なにより“健康”になります
- 家族や大切な方に喜ばれます



健康管理センター 矢巾 (5019・5022)
内丸 (3816・3818)

29 健管第2号
平成29年12月15日

インフルエンザ発生！

学内でインフルエンザが発生しています。
予防対策を実施しましょう。

 感染しない・感染させない予防対策

- 予防接種を受ける
- 人混みを避ける
- マスクを着用
- 咳エチケットや手指消毒の実施
- 手洗い・うがいの実施
- バランスの良い食事

インフルエンザと診断されたら

学生

- ①発症後5日間かつ解熱後2日間は登校できません。
- ②各教務課に電話で報告する。
(教務課へ欠席願い・追試験願いを提出する場合は診断書が必要です)

職員

感染対策の観点から解熱後3日以上かつ発症後5日以上経過から就業可。

健康管理センター 内丸 (3816・3818) 矢巾 (5019・5022)

29 健管第3号
平成30年1月17日

インフルエンザ 注意報発令

インフルエンザが流行しています。下記に留意してください。

マスク



手洗い・うがい



人混みを
避ける



インフルエンザと診断されたら…

学生

- ・各教務課に電話で報告する。
(教務課へ欠席・追試験願いを提出する場合は診断書が必要)
- ・発症後5日間かつ解熱後2日間は登校不可 【学校保健安全法】

職員

- ・感染対策の観点から解熱後3日以上、
かつ発症後5日以上経過から就業可

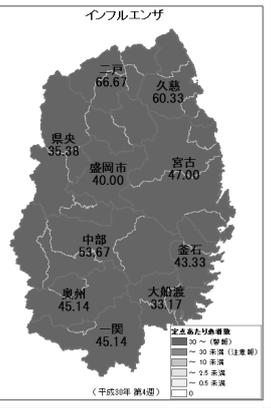
岩手医科大学 健康管理センター 内丸 (3816・3818) 矢巾 (5019・5022)

29 健管第4号 平成30年2月1日

インフルエンザ警報!!

県内全域、警報（大きな流行）になりました。
厳重に予防策を行いましょう。

インフルエンザ



(平成30年 第1週)

マスク

てあらい

ひとごみ
をさける

インフルエンザと診断されたら…

学生

- ・各教務課に電話で報告する。
(教務課へ欠席・追試験願いを提出する場合は診断書が必要)
- ・発症後5日間かつ解熱後2日間は登校不可 【学校保健安全法】

職員

- ・感染対策の観点から解熱後3日以上、
かつ発症後5日以上経過から就業可。

岩手医科大学 健康管理センター 内丸 (3816・3818) 矢巾 (5019・5022)

VI 平成 29 年度学会・研修会

VI 平成 29 年度学会・研修会

1. 学会・研修会等参加状況

開催月日	件名	出席者名	会場
5/19～5/22	日本学生相談学会第 35 回大会・ ワークショップ	畠山 秀樹	中部大学 サンプレスガーデンホテル
7/1	日本消化器がん検診学会 東北地方会	名郷根 郁子 藤井 ヌイ子	盛岡市民文化ホール
11/1	両立支援を進めるためには ①両立支援制度ガイドライン ②後遺障がいと職場復帰支援	藤井 ヌイ子	盛岡 アイーナ 802 会議室
11/6	感染症集団発生予防研修会	小原 真綾	盛岡市保健所
11/18～11/20	日本心理臨床学会第 36 回秋季大会	畠山 秀樹	パシフィコ横浜
12/17～12/19	第 55 回全国学生相談研修会	赤井 純子	東京国際フォーラム
2/21	平成 29 年度（公財）岩手県対がん協会 検診担当者研修会	名郷根 郁子 小原 真綾	ホテルメトロポリタン 盛岡本館

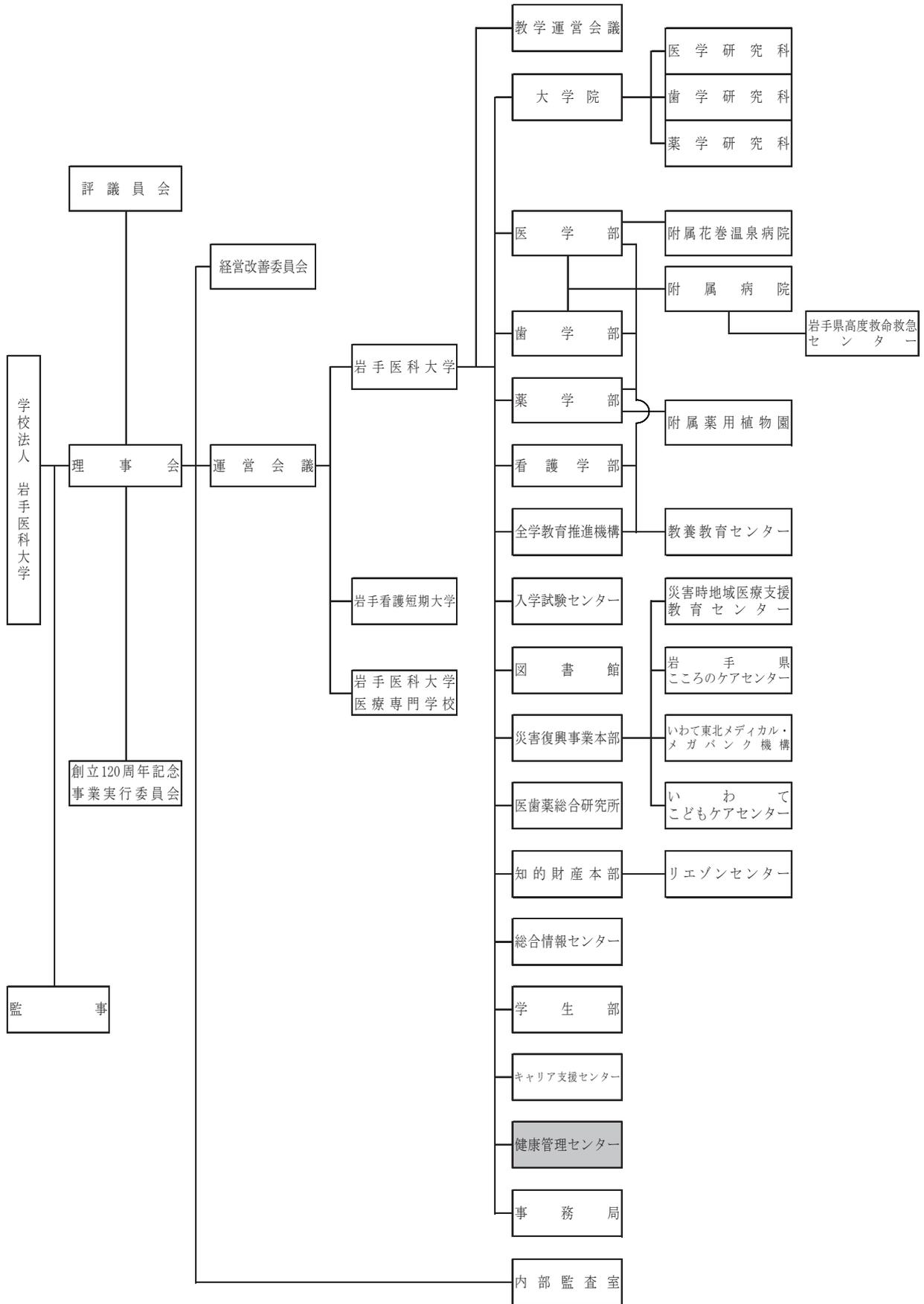
I 平成 30 年度健康管理センター 管理体制

I 平成 30 年度健康管理センター管理体制

1. 沿革

平成 17 年 4 月 1 日	健康管理センター設置 健康管理センター規程制定 鈴木一幸附属病院副院長が健康管理センター長兼務 健康管理センターが 8 号館 1 階に新設
平成 18 年 6 月 1 日	神経精神科学講座酒井明夫教授がセンター長就任
平成 18 年 7 月 25 日	健康管理センターだより創刊号発行
平成 19 年 4 月 1 日	矢巾キャンパス竣工 薬学部・共通教育センター開設に伴い、矢巾キャンパスに健康管理センター設置 産業医規程、学校医規程、学生健康診断規程制定
平成 19 年 10 月 29 日	健康管理センターが現場所 2 号館 2 階に移転
平成 20 年 6 月 1 日	整形外科科学講座嶋村正教授がセンター長就任
平成 22 年 4 月 1 日	健康管理センター事務室設置
平成 23 年 12 月 19 日	外来診療棟 3 階に健康管理室（休養室）新設
平成 24 年 4 月 1 日	事務局組織機構図の一部改正に伴い、総務部健康管理センター事務室に改正
平成 25 年 4 月 1 日	眼科学講座黒坂大次郎教授がセンター長就任
平成 26 年 7 月 22 日	休養室が東病棟 1 階に移転
平成 28 年 4 月 1 日	内科学講座糖尿病・代謝内科分野石垣泰教授がセンター長就任

2. 組織図



3. 規程

1) 岩手医科大学組織規程（抜粋）

第8章健康管理センター

（健康管理センター）

第39条 本学に健康管理センターをおく。

- 2 健康管理センターにセンター長を置く。センター長は医学部臨床系教授の兼務とする。
- 3 必要により健康管理センターに副センター長を置くことができる。副センター長は医師の兼務とする。
- 4 センター長、副センター長は、学長が人事委員会に諮って選考し、理事会の議を経て理事長が任命する。その任期は3年とし再任を妨げない。
- 5 センター長は所属する職員を指導監督し、健康管理センターの管理運営にあたる。
- 6 副センター長はセンター長を補佐し、センター長に事故あるときはその職務を代理する。
- 7 健康管理センターに師長を置くことができる。
- 8 師長はセンター長、副センター長の指揮の下に所属職員を指導監督し、センターの円滑な管理運営にあたる。
- 9 必要により主任を置くことができる。
- 10 主任はセンター長、副センター長又は師長の命を受け、部下の職員の指導監督にあたる。
- 11 師長及び主任は、看護師、保健師又は臨床心理士の中から学長が人事委員会の意見を聞いて任命する。
- 12 健康管理センターの管理運営については、別に定める。

（センターの事務）

第39条の2 健康管理センターに健康管理センター事務室を設け、事務員をおくことができる。

- 2 健康管理センター事務室の事務分掌及び業務の処理については別に定める。

2) 岩手医科大学健康管理センター規程

第1条 この規程は岩手医科大学組織規程第39条第12項に基づき、健康管理センターの管理運営について定める。

第2条 岩手医科大学等の学生、職員等の健康管理を一元的に行うため、健康管理センター（以下「センター」という。）を置く。

第3条 センターは、次の各号に掲げる業務を行う。

- (1) 定期・臨時の健康診断に関すること。
- (2) 健康診断後の必要な指導に関すること。
- (3) 健康相談に関すること。
- (4) 精神衛生に関すること。
- (5) 環境衛生及び感染症の予防に関すること。
- (6) 学内保健計画の立案に関すること。
- (7) 急患に関する応急処置に関すること。
- (8) その他健康管理に関すること。

第4条 センターにセンター長（副センター長又は師長を置く場合には、それらを含む）の他に次の各号に掲げる職員を置く。ただし、兼務によることを妨げない。

- (1) 医師
- (2) 看護師
- (3) 保健師
- (4) 臨床心理士

第4条 センターの業務を円滑に実施するため、関連部署との連携に留意するものとし、特に感染症予防については感染症対策室と密接に連携を図るものとする。

第5条 センターに健康管理センター運営委員会（以下「委員会」という。）を置く。

第6条 委員会は、センター長を委員長とし、次の各号に掲げる者をもって構成する。

- (1) 学生部長
- (2) 学生副部長
- (3) 病院長
- (4) 産業医
- (5) 学校医
- (6) 事務局長
- (7) 学務部長
- (8) 病院事務部長
- (9) 看護部長
- (10) 総務部長
- (11) 人事職員課長
- (12) 学事総務課長
- (13) 副センター長（但し、副センター長を置く場合に限る）
- (14) 健康管理センター師長（但し、師長を置く場合に限る）
- (15) その他委員会が必要と認める者

第7条 委員会は、次の事項を審議する。

- (1) 学内保健計画に関する事項
- (2) 健康管理の維持改善に関する事項
- (3) その他センター長が必要と認めた事項

2 委員会は、必要ある場合センター長が招集しその議長となる。

第8条 委員会の事務は健康管理センターが行う。

第9条 この規程の改廃は、健康管理センター運営委員会の審議を経て健康管理センター長が行う。

附 則

この規程は、平成17年4月1日から施行する。

この規程は、平成18年2月10日から施行する。

この規程は、平成21年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成25年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成29年4月1日から施行する。

4. 健康管理センタースタッフ・運営委員会委員

センター長（兼務）

	氏名	所属・職名	期間
初代	鈴木 一幸	内科学講座消化器・肝臓内科分野・教授（副院長）	平 17. 4. 1～平 18. 5. 31
二代	酒井 明夫	神経精神科学講座・教授	平 18. 6. 1～平 21. 5. 31
三代	嶋村 正	整形外科科学講座・教授	平 21. 6. 1～平 25. 3. 31
四代	黒坂大次郎	眼科学講座・教授	平 25. 4. 1～平 28. 3. 31
五代	石垣 泰	内科学講座糖尿病・代謝・内分泌内科分野・教授	平 28. 4. 1～

副センター長

	氏名	所属・職名	期間
	西村 尚子	健康管理センター副センター長	平 17. 4. 1～平 21. 3. 31

産業医（兼務）

	氏名	所属・職名	期間
	小野田 敏行	衛生学公衆衛生学講座・准教授	平 13. 9. 1～平 26. 12. 31
	大間々 真一	救急・災害・総合医学講座救急医学分野・特任講師	平 23. 4. 1～
	近藤 ゆき子	薬理学講座情報伝達医学分野・講師	平 27. 1. 1～
	弘瀬 雅教	分子細胞薬理学講座・教授	平 27. 4. 1～

学校医（兼務）

	氏名	所属・職名	期間
	米澤 久司	内科学講座神経内科・老年科分野・講師	平 17. 4. 1～平 19. 3. 31
	石橋 靖宏	〃	
	遠藤 昌樹	内科学講座消化器・肝臓内科分野・講師	平 19. 4. 1～平 21. 3. 31
	遠藤 龍人	〃	
	蒔田 真司	内科学講座循環器・腎・内分泌内科分野・准教授	平 21. 4. 1～平 23. 3. 31
	田代 敦	〃	
	小林 仁	内科学講座呼吸器・アレルギー・膠原病内科分野・准教授	平 23. 4. 1～平 25. 3. 31
	鈴木 順	〃	
	大塚 耕太郎	神経精神科学講座・講師	平 23. 4. 1～平 24. 3. 31
	山家 健仁	神経精神科学講座・助教	平 24. 4. 1～平 27. 3. 31
	工藤 雅子	内科学講座神経内科・老年科分野・講師	平 25. 4. 1～平 27. 3. 31
	金 正門	〃	平 25. 4. 1～平 27. 3. 31
	中村 昌太郎	内科学講座消化器内科消化管分野・准教授	平 27. 4. 1～平 29. 3. 31
	宮坂 昭生	内科学講座消化器内科肝臓分野・講師	平 27. 4. 1～平 29. 3. 31
	星 克仁	神経精神科学講座・講師	平 27. 4. 1～平 29. 3. 31
	菅原 正磨	内科学講座心血管・腎・内分泌内科分野・助教	平 29. 4. 1～平 29. 9. 30
	渡邊 收司	〃	平 29. 10. 1～
	房崎 哲也	内科学講座循環器内科分野・特任准教授	平 29. 4. 1～

健康管理センター運営委員会（平成 30 年 4 月 1 日現在）

区分	氏名	所属・職名
委員長	石垣 泰	健康管理センター長（内科学講座糖尿病・代謝・内分泌内科分野・教授）
委員	増田 友之	学生部長（病理学講座機能病態学分野・教授）
〃	小原 航	学生副部長（泌尿器科学講座・教授）
〃	八重柏 隆	学生副部長（歯科保存学講座歯周療法学分野・教授）

〃	佐塚 泰之	学生副部長（医療薬科学講座創剤学分野・教授）
〃	末安 民生	学生副部長（地域包括ケア講座・教授）
〃	中島 理	学生副部長（教養教育センター化学科・教授）
〃	小笠原 邦昭	病院長（脳神経外科学講座・教授）
〃	近藤 ゆき子	産業医（薬理学講座情報伝達医学分野・講師）
〃	大間々 真一	産業医（岩手県高度救命救急センター・講師）
〃	弘瀬 雅教	産業医（病態薬理学講座分子細胞薬理学分野・教授）
〃	渡邊 収司	学校医（内科学講座腎・高血圧内科分野・助教）
〃	房崎 哲也	学校医（内科学講座循環器内科分野・特任准教授）
〃	星 克仁	学校医（神経精神科学講座・講師）
〃	吉田 達朗	事務局長
〃	赤坂 昇治	学務部長
〃	塚澤 仁敏	病院事務部長
〃	吉田 秀樹	総務部長
〃	佐藤 悦子	看護部長
〃	長岡 慶介	人事職員課長
〃	伊藤 努	学事総務課長

健康管理センタースタッフ（平成30年4月1日現在）

<内丸キャンパス>

職名	氏名	備考
センター長（兼）	石垣 泰	内科学講座糖尿病・代謝・内分泌内科分野・教授 平 28. 4. 1～
保健師	藤井 ヌイ子	平 18. 4. 1～
〃	名郷根 郁子	平 22. 3. 30～
主任臨床心理士	畠山 秀樹	平 18. 4. 1～

<矢巾キャンパス>

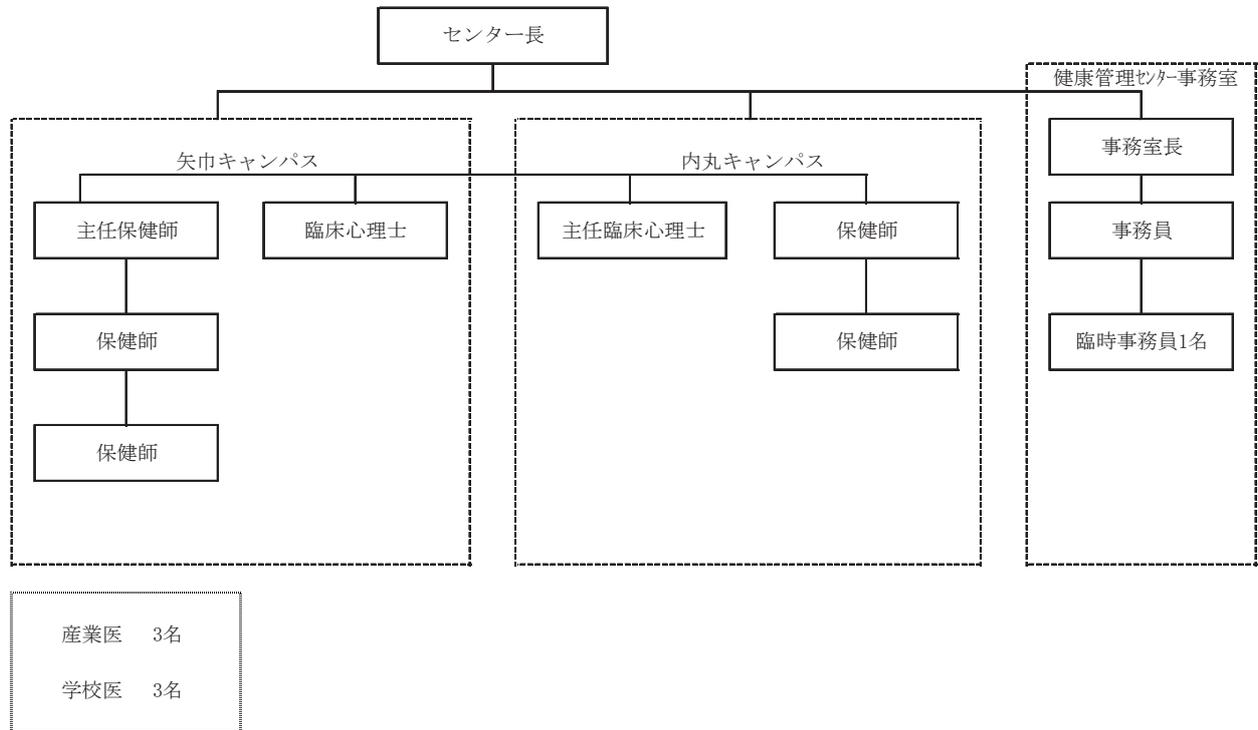
職名	氏名	備考
主任保健師	村山 美保	平 21. 11. 1～
保健師	小原 真綾	平 29. 4. 1～
〃	青木 雅美	平 30. 4. 1～
臨床心理士	氏家 真梨子	平 26. 4. 1～

<健康管理センター事務室>

職名	氏名	備考
室長	澤田 幸司	平 28. 10. 1～
事務員	渡辺 尚子	平 28. 1. 1～
臨時事務員	川畑 史江	平 28. 4. 1～

5. 健康管理センター体制

<平成30年度>



6. 各種委員会・会議開催状況

1) 健康管理センター運営委員会

第1回健康管理センター運営委員会
 日時：平成30年7月31日（火）16：30～
 場所：歯学部4階会議室（内丸）
 本部棟4階役員会議室（矢巾）
 ※TV会議

第2回健康管理センター運営委員会
 日時：平成31年3月4日（月）16：00～
 場所：記念館10階同窓会室（内丸）
 本部棟4階小会議室（矢巾）
 ※TV会議

2) 健康管理センターミーティング

日時：毎月第二水曜日 11：10～
 場所：内丸キャンパス健康管理センター

7. 健康管理センター各室
【内丸キャンパス】



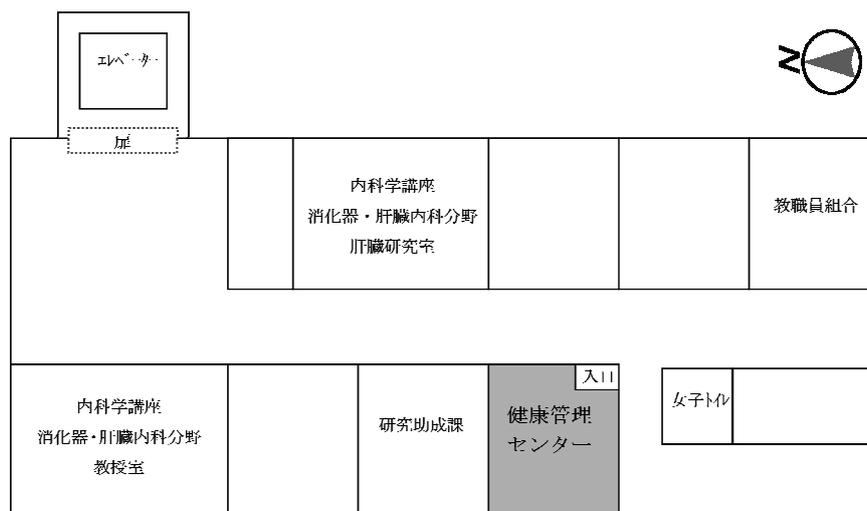
休養室



相談室



健康管理センター



医学部2号館・2階・214室

※休養室と相談室は別の場所にあります。
※休養室：東病棟1階 相談室：記念館8階

【矢巾キャンパス】



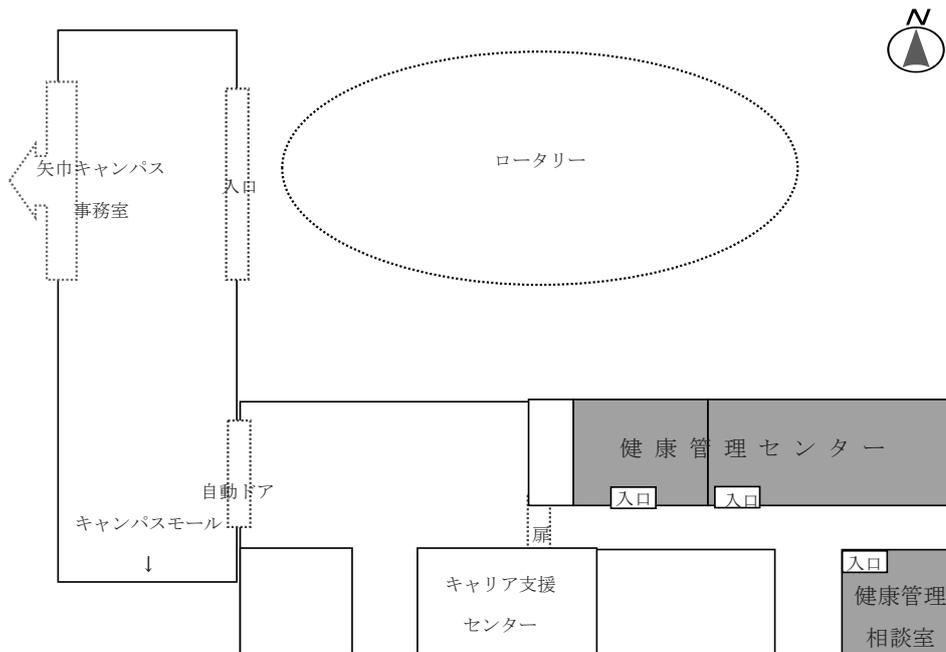
休 養 室



相 談 室



健康管理センター



東研究棟 1階 104・105・106

Ⅱ 平成 30 年度事業報告

Ⅱ 平成30年度事業報告

1. スケジュール（健康診断等及びワクチン接種日程）

	職 員	学 生
4月	23日(月)～5月1日(火) 有機溶剤・特定化学物質調査及び問診票(対象者)	23日(月)内丸キャンパス 健康診断(医歯5・6年、歯技工1・2年、歯衛生1～3年、看護短大3年、専攻科) B型肝炎ワクチン接種前検査(歯衛生・歯技工1年、専攻科) 25日(水)矢巾キャンパス 健康診断(医・歯・薬・看1年、医3年、歯4年) B型肝炎ワクチン接種前検査(看1年、医3年、歯4年) 26日(木)矢巾キャンパス 健康診断(医・薬4年、歯・看2年、薬5年) B型肝炎ワクチン接種前検査(薬4年) 27日(金)矢巾キャンパス 健康診断(医・薬2年、歯・薬3年、薬6年)
5月	15日(火)～6月1日(金) 電離放射線業務従事者問診票(対象者) 24日(木)・25日(金)花巻温泉病院 21日(月)～23日(水)、28(月)・29(火)内丸キャンパス 31日(木)・6月1日(金)矢巾キャンパス 定期健康診断 有機溶剤・特定化学物質取扱者健康診断(要検査者) 電離放射線業務従事者健康診断(要検査者) 5月21日(月)～6月1日(金)VDT健診 B型肝炎ワクチン接種前検査(希望者) C型肝炎抗体検査(希望者) 水痘・風疹・流行性耳下腺炎ワクチン接種前検査	18日(金) 心理検査(医・歯・薬・看1年)※2年生以降は健康診断時に実施 24日(木) B型肝炎ワクチン1回目接種(薬4年、歯衛生1年) 25日(金) B型肝炎ワクチン1回目接種(看1年、専攻科、医3年、歯4年、歯技工1年)
6月	14日(木)石綿健康診断(対象者) 28日(木)・29日(金) VDT健診(要検査者)	21日(木)B型肝炎ワクチン2回目接種(薬4年、歯衛生1年) 22日(金) B型肝炎ワクチン2回目接種(看1年、専攻科、医3年、歯4年、歯技工1年)
7月	24日(火)・25日(水) B型肝炎ワクチン1回目接種(対象者)	
8月	1日(水)～16日(木)ストレスチェック 21日(火)・22日(水) B型肝炎ワクチン2回目接種(対象者)	
9月	3日(月)～21日(金)内丸キャンパス 25日(火)花巻温泉病院 胃がん検診(40歳以上の希望者) 11日(火) 水痘・風疹・流行性耳下腺炎ワクチン接種(対象者)	
10月	3日(水)～11日(木) 有機溶剤・特定化学物質調査及び問診票(対象者) 30日(火)～11月16日(金) 電離放射線業務従事者問診票(対象者)	
	23日(火)～27日(土)内丸キャンパス・花巻温泉病院・インフルエンザワクチン接種(希望者) 30日(火)・31日(水)矢巾キャンパス・インフルエンザワクチン接種(希望者)	
11月	13日(火)～16日(金) 特定業務従事者健康診断(対象者) 有機溶剤・特定化学物質取扱者健康診断(要検査者) 電離放射線業務従事者健康診断(要検査者) 20日(火) 水痘・風疹・流行性耳下腺炎ワクチン接種(対象者)	8日(木) B型肝炎ワクチン3回目接種(薬4年、歯衛生1年) 9日(金) B型肝炎ワクチン3回目接種(看1年、専攻科、医3年、歯4年、歯技工1年)
12月	3日(月)～10日(月)大腸がん検診(40歳以上の希望者) 13日(木) 石綿健康診断(対象者) 18日(火) 水痘・風疹・流行性耳下腺炎ワクチン接種後採血(対象者)	6日(木) B型肝炎ワクチン接種後採血(薬4年、歯衛生1年) 7日(金) B型肝炎ワクチン接種後採血 (医3年、看1年、専攻科、歯4年、歯技工1年)
1月	8日(火)・9日(水) B型肝炎ワクチン3回目接種(対象者)	10日(木) B型肝炎ワクチン追加接種 (医3年、歯・薬4年、看1年、専攻科、歯衛生・歯技工1年)
2月	5日(火)・6日(水) B型肝炎ワクチン接種後採血(対象者) 26日(火) B型肝炎ワクチン追加接種(対象者)	7日(木) B型肝炎ワクチン追加接種後採血 (医3、歯・薬4年、看1年、専攻科、歯衛生・歯技工1年)
3月	23日(土)雇入時健康診断 26日(火)・27日(水) B型肝炎ワクチン追加接種後採血(対象者)	

2. 学生健康管理実施状況

1) 学生健康診断

(1) 学部

<健診項目>

全学共通：身長・体重・血圧測定、内科診察、視力検査、眼科診察、耳鼻科診察、胸部X線

1年生：全学共通＋尿検査、血液検査、歯科健診

4年生：全学共通＋尿検査、血液検査

※健診対象外は、休学・退学者

<実施日>

内丸ギャンパス：平成30年4月23日(月)

矢巾ギャンパス：平成30年4月25日(水)～4月27日(金)

<結果集計>

学部	学年	在籍者		健診対象外	対象者	受診者	受診率	総合判定の内訳						医療機関受診者					
		男	女					計	A 特記事項なし	B-1 要経過観察	B-2 要指導	C-1 要治療継続	C-2 要受診	要受診	医療機関受診者				
医学部	1年	91	39	130	1	129	99.2%	13	10.2%	41	32.0%	9	7.0%	11	8.6%	54	42.2%	20	37.0%
	2年	90	40	130	1	129	100.0%	49	38.0%	15	11.6%	9	7.0%	12	9.3%	44	34.1%	1	2.3%
	3年	93	38	131	1	130	100.0%	55	42.3%	11	8.5%	12	9.2%	15	11.5%	37	28.5%	4	10.8%
	4年	93	40	133	0	133	100.0%	16	12.0%	50	37.6%	12	9.0%	5	3.8%	50	37.6%	14	28.0%
	5年	75	50	125	0	125	100.0%	47	37.6%	26	20.8%	10	8.0%	9	7.2%	33	26.4%	2	6.1%
	6年	119	39	158	0	158	96.8%	67	43.8%	31	20.3%	13	8.5%	9	5.9%	33	21.5%	11	33.3%
歯学部	1年	34	20	54	1	53	98.1%	6	11.3%	18	34.0%	5	9.4%	1	1.9%	23	43.4%	9	39.1%
	2年	38	20	58	1	57	96.5%	16	29.1%	9	16.4%	1	1.8%	0	0.0%	29	52.7%	6	20.7%
	3年	35	18	53	0	53	100.0%	19	35.9%	8	15.1%	5	9.4%	8	15.1%	13	24.5%	1	7.7%
	4年	34	29	63	0	63	100.0%	6	9.5%	24	38.1%	2	3.2%	6	9.5%	25	39.7%	8	32.0%
	5年	32	18	50	0	50	100.0%	19	38.0%	10	20.0%	5	10.0%	2	4.0%	14	28.0%	0	0.0%
	6年	40	27	67	1	66	97.0%	12	18.8%	5	7.8%	2	3.1%	17	26.6%	28	43.7%	0	0.0%
薬学部	1年	40	37	77	0	77	100.0%	8	10.4%	22	28.6%	6	7.8%	2	2.6%	39	50.6%	18	46.2%
	2年	49	71	120	0	120	98.3%	41	34.7%	11	9.3%	15	12.7%	12	10.2%	39	33.1%	7	17.9%
	3年	46	80	126	0	126	99.2%	38	30.4%	13	10.4%	19	15.2%	12	9.6%	43	34.4%	7	16.3%
	4年	60	67	127	0	127	100.0%	7	5.5%	41	32.3%	7	5.5%	5	3.9%	67	52.8%	14	20.9%
	5年	65	81	146	0	146	100.0%	50	34.3%	21	14.4%	17	11.6%	12	8.2%	46	31.5%	4	8.7%
看護学部	1年	6	87	93	0	93	100.0%	7	7.5%	29	31.1%	6	6.5%	6	6.5%	45	48.4%	35	77.8%
	2年	8	87	95	0	95	100.0%	41	43.2%	8	8.4%	6	6.3%	8	8.4%	32	33.7%	7	21.9%
合計		1122	996	2118	5	2113	99.3%	563	26.8%	419	20.0%	188	9.0%	177	8.4%	752	35.8%	180	23.9%

※他医療機関受診者も受診者を含む(医学部6年生：5名、看護学部2年生：1名)

<結果>

対象：全学年

要受診判定項目の内訳

		対象者	受診者	内科	高血圧	眼科	視力	耳鼻科
医学部	1年	129	128	4	5	2	30	1
	2年	129	129	4	4	1	37	0
	3年	130	130	2	6	0	29	1
	4年	133	133	1	11	0	24	0
	5年	125	125	6	4	2	23	2
	6年	158	153	3	8	0	21	3
歯学部	1年	54	53	2	0	1	12	2
	2年	57	55	2	8	3	19	0
	3年	53	53	1	3	0	10	0
	4年	63	63	1	2	1	10	2
	5年	50	50	0	2	1	13	1
	6年	66	64	1	4	3	24	4
薬学部	1年	77	77	4	2	2	26	1
	2年	120	118	5	6	4	26	4
	3年	126	125	1	6	3	36	1
	4年	127	127	3	11	4	34	2
	5年	146	146	4	8	3	34	2
	6年	182	182	3	10	6	41	9
看護学部	1年	93	93	3	1	4	28	5
	2年	95	95	3	1	5	22	3
合計		2113	2099	53	102	45	499	43

対象：1・4年

血液検査：要受診項目

		対象者	受診者	WBC	RBC	Hb	Ht	PLT	クレアチニン	UA	AST	ALT	γ-GTP	HDL-C	LDL-C	TG	血糖	HbA1c
医学部	1年	129	128	4	0	0	0	0	0	2	6	12	1	2	0	5	0	0
	4年	133	133	2	1	0	0	1	0	1	5	11	5	1	6	3	1	1
歯学部	1年	54	53	2	0	0	0	0	0	1	1	1	1	0	0	1	0	0
	4年	63	63	3	0	0	0	0	0	1	2	4	4	1	1	1	0	0
薬学部	1年	77	77	0	0	1	0	0	0	1	0	2	0	0	0	1	0	0
	4年	127	127	1	1	1	1	1	1	5	2	11	6	0	2	2	0	0
看護学部	1年	93	93	1	0	0	0	0	0	1	1	1	2	0	1	1	0	0
合計		676	674	13	2	2	1	2	1	12	17	42	19	4	10	14	1	1

対象：1・4年

尿検査：要受診項目

		対象者	受診者	尿糖	尿蛋白
医学部	1年	129	128	1	2
	4年	133	133	0	7
歯学部	1年	54	53	0	8
	4年	63	63	1	2
薬学部	1年	77	77	0	10
	4年	127	127	0	14
看護学部	1年	93	93	0	12
合計		676	674	2	55

対象：1・4年
胸部 X 線撮影

		対象者	受診者	判定内容		
				異常なし	要経過観察	要精密検査
医学部	1年	129	128	128	0	0
	2年	129	129	129	0	0
	3年	130	130	130	0	0
	4年	133	133	132	1	0
	5年	125	125	125	0	0
	6年	158	155	154	1	0
歯学部	1年	54	53	52	0	1
	2年	57	57	57	0	0
	3年	53	53	52	0	1
	4年	63	63	62	1	0
	5年	50	50	49	1	0
	6年	66	64	64	0	0
薬学部	1年	77	77	77	0	0
	2年	120	118	118	0	0
	3年	126	125	125	0	0
	4年	127	127	127	0	0
	5年	146	146	145	1	0
	6年	182	182	182	0	0
看護学部	1年	93	93	91	1	1
	2年	95	95	95	0	0
合計		2113	2103	2094	6	3

対象：1年
歯科検診

	在籍者			対象外 健診	対象者	受診者	受診率	総合判定の内訳								医療機関 受診者	
	男	女	計					A 良好	B 要指導		C1 要精密検査		C2 要治療				
医学部	91	39	130	1	129	126	97.7%	87	69.0%	4	3.2%	1	0.8%	34	27.0%	9	25.7%
歯学部	34	20	54	0	54	53	98.1%	36	67.9%	1	1.9%	1	1.9%	15	28.3%	6	37.5%
薬学部	40	37	77	0	77	76	98.7%	50	65.8%	2	2.6%	6	7.9%	18	23.7%	11	45.8%
看護学部	6	87	93	0	93	93	100.0%	76	81.7%	0	0.0%	6	6.5%	11	11.8%	8	47.1%
合計	171	183	354	1	353	348	98.6%	249	71.6%	7	2.0%	14	4.0%	78	22.4%	34	37.0%

(2) 大学院生

<健診項目>

職員定期健康診断に準ずる

<実施日>

内丸キャンパス 平成30年5月21日(月)～23日(水)・28日(月)・29日(火)

矢巾キャンパス 平成30年5月31日(木)・6月1日(金)

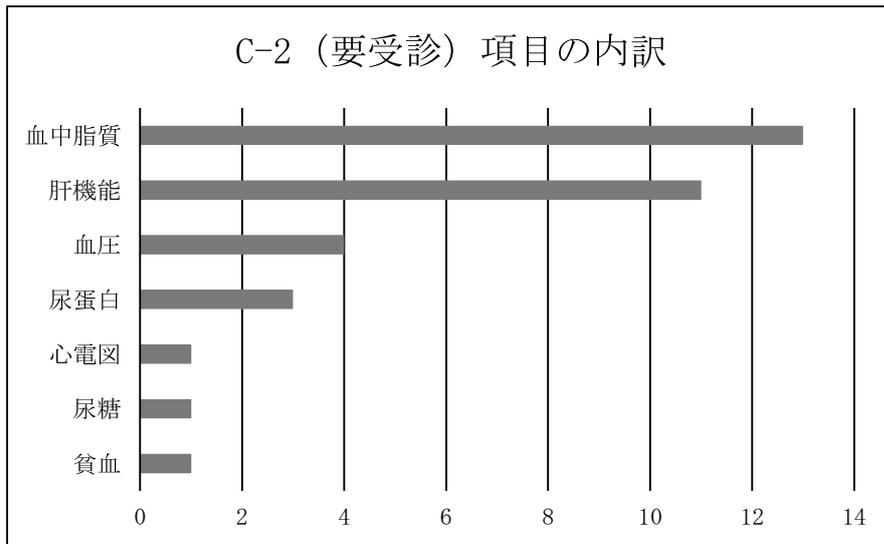
<結果集計>

	在籍者	健診 対象外	対象者	受診者	受診率	総合判定の内訳			
						A 特記事項なし	B 要経過観察	C-1 要治療継続	C-2 要受診
医学部 修士	3	1	2	2	100.0%	0 (0.0%)	1 (50.0%)	1 (50.0%)	0 (0.0%)
	8	3	5	5	100.0%	0 (0.0%)	4 (80.0%)	0 (0.0%)	1 (20.0%)
医学部 博士	33	18	15	15	100.0%	3 (20.0%)	7 (46.7%)	0 (0.0%)	5 (33.3%)
	35	22	13	13	100.0%	5 (38.5%)	3 (23.1%)	2 (15.4%)	3 (23.1%)
	32	8	24	24	100.0%	11 (45.8%)	6 (25.0%)	1 (4.2%)	6 (25.0%)
	48	10	38	38	100.0%	9 (23.7%)	19 (50.0%)	3 (7.9%)	7 (18.4%)
歯学部 博士	9	2	7	7	100.0%	1 (14.3%)	4 (57.1%)	0 (0.0%)	2 (28.6%)
	4	0	4	4	100.0%	0 (0.0%)	2 (50.0%)	0 (0.0%)	2 (50.0%)
	5	1	4	4	100.0%	1 (25.0%)	2 (50.0%)	1 (25.0%)	0 (0.0%)
	2	0	2	2	100.0%	1 (50.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (50.0%)
薬学部 博士	3	1	2	2	100.0%	1 (50.0%)	1 (50.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
	2	0	2	2	100.0%	0 (0.0%)	2 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
	2	0	2	2	100.0%	1 (50.0%)	1 (50.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
	4	1	3	3	100.0%	1 (33.3%)	1 (33.3%)	1 (33.3%)	0 (0.0%)
薬学部 修士	1	1	0						
合計	191	68	123	123	100.0%	34 (27.6%)	53 (43.1%)	9 (7.3%)	27 (22.0%)

※健診対象外：退学者、本学以外での研修者・勤務者等

※本学以外での研修者・勤務者等の健診結果53名中34名提出（提出率：64.2%）

<結果>



n = 27 (複数該当あり)

(3) 岩手看護短期大学

<健診項目>

全学共通：身長・体重・体重・血圧測定、内科診察、視力検査、眼科診察、耳鼻科診察、胸部X線
 専攻科：全学共通＋尿検査、血液検査
 ※健診対象外は、休学・退学者

<実施日>

内丸キャンパス：平成30年4月23日（月）

<結果集計>

	在籍者		健診 対象外	対象者	受診者	受診率	総合判定の内訳						医療機関 受診者					
	男	女					計	A 特記事項なし	B-1 要経過観察	B-2 要指導	C-1 要治療継続	C-2 要受診	数	率				
看護学科	3	6	57	63	63	100.0 %	21	33.3 %	6	9.5 %	4	6.4 %	9	14.3 %	23	36.5 %	23	100.0 %
地域看護学専攻		0	22	22	22	100.0 %	4	18.2 %	3	13.6 %	2	9.1 %	3	13.6 %	10	45.5 %	10	100.0 %
助産学専攻		0	15	15	15	100.0 %	2	13.3 %	8	53.4 %	2	13.3 %	2	13.3 %	1	6.7 %	1	100.0 %
合 計	6	94	100	100	100	100.0 %	27	27.0 %	17	17.0 %	8	8.0 %	14	14.0 %	34	34.0 %	34	100.0 %

<結果>

対象：全学年

要受診判定項目の内訳

		対象者	受診者	内科	高血圧	眼科	視力	耳鼻科
看護学科	3年	63	63	2	0	1	19	4
地域看護学専攻		22	22	1	0	2	7	3
助産学専攻		15	15	0	0	1	0	1
合計		100	100	3	0	4	26	8

対象：専攻科

血液検査：要受診項目

	対象者	受診者	WBC	RBC	Hb	Ht	PLT	カルシウム	UA	AST	ALT	γ-GTP	HDL-C	LDL-C	TG	血糖	HbA1c
地域看護学専攻	22	22	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
助産学専攻	15	15	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	37	37	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0

対象：専攻科

尿検査：要受診項目

	対象者	受診者	尿糖	尿蛋白
地域看護学専攻	22	22	0	0
助産学専攻	15	15	0	0
合計	37	37	0	0

対象：専攻科

胸部X線撮影

	対象者	受診者	判定内容		
			異常なし	要経過観察	要精密検査
看護学科	3年	63	63	0	0
地域看護学専攻		22	22	0	0
助産学専攻		15	15	0	0
合計		100	100	0	0

(4) 医療専門学校

<健診項目>

全学共通：身長・体重・血压測定、内科診察、視力検査、眼科診察、耳鼻科診察、胸部 X 線撮影

1 年生：全学共通＋尿検査、血液検査、歯科健診

※健診対象外は、休学・退学者

<実施日>

内丸キャンパス：平成 30 年 4 月 23 日（月）

<結果集計>

学科	学年	在籍者		対象者外	対象者	受診率	総合判定の内訳						医療機関受診者			
		男	女				計	A 特記事項なし	B-1 要経過観察	B-2 要指導	C-1 要治療継続	C-2 要受診	人数	割合		
歯科技工 学科	1 年	4	3	7	7	100.0 %	0	0.0 %	1	14.3 %	1	14.3 %	4	57.1 %	1	25.0 %
	2 年	3	5	8	8	100.0 %	1	12.5 %	1	12.5 %	0	0.0 %	6	75.0 %	3	50.0 %
歯科衛生 学科	1 年	0	32	32	32	100.0 %	3	9.4 %	9	28.1 %	0	0.0 %	2	6.2 %	11	61.1 %
	2 年	0	37	37	36	100.0 %	12	33.3 %	4	11.1 %	1	2.8 %	4	11.1 %	6	40.0 %
	3 年	1	30	31	31	100.0 %	10	32.3 %	1	3.2 %	4	12.9 %	2	6.4 %	2	14.3 %
合計		8	107	115	114	100.0 %	26	22.8 %	16	14.0 %	6	5.3 %	9	7.9 %	23	40.4 %

<結果>

対象：全学年

要受診項目の内訳

		対象者	受診者	内科	高血圧	眼科	視力	耳鼻科
技工学科	1年	7	7	1	0	1	3	2
	2年	8	8	0	0	1	3	1
衛生学科	1年	32	32	2	0	4	10	3
	2年	36	36	3	0	2	10	5
	3年	31	31	3	1	6	6	3
合計		114	114	9	1	14	32	14

対象：1年

血液検査：要受診項目

		対象者	受診者	WBC	RBC	Hb	Ht	PLT	クレアチニン	UA	AST	ALT	γ-GTP	HDL-C	LDL-C	TG	血糖	HbA1c
技工学科	1年	7	7	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0
衛生学科	1年	32	32	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	0	0
合計		39	39	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	1	2	0	0

対象：1年

尿検査：要受診項目

		対象者	受診者	尿糖	尿蛋白
技工学科	1年	7	7	0	0
衛生学科	1年	32	32	0	4
合計		39	39	0	4

対象：1年

胸部X線撮影

		対象者	受診者	判定内容		
				異常なし	要経過観察	要精密検査
技工学科	1年	7	7	7	0	0
	2年	8	8	7	0	1
衛生学科	1年	32	32	32	0	0
	2年	36	36	36	0	0
	3年	31	31	31	0	0
合計		114	114	113	0	1

対象：1年

歯科検診

	在籍者			対象者 健診 対象外	対象者	受診者	受診率	総合判定の内訳							
	男	女	計					A 良好		B 要指導		C1 要精密検査		C2 要治療	
技工学科	4	3	7	0	7	7	100.0%	7	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
衛生学科	0	32	32	0	32	32	100.0%	31	96.9%	0	0.0%	0	0.0%	1	3.1%
合計	4	35	39	0	39	39	100.0%	38	97.4%	0	0.0%	0	0.0%	1	2.6%

2) 各種ワクチン接種

(1) B型肝炎ワクチン接種

<対象者>

医学部3年、歯学部4年、薬学部4年、看護学部1年
 医療専門学校 歯科技工学科1年、歯科衛生学科1年
 岩手看護短期大学 地域看護学専攻、助産学専攻
 ※本学において、過去に接種済みの学生は対象から除く

<ワクチン接種前抗体価検査結果> 実施日：平成30年4月23日、25日、26日

対象者	ワクチン接種前抗体価検査結果		
	陽性	不十分	陰性
465	14	15	436

<ワクチン接種対象者>

451名：抗体価不十分・陰性と判定された学生

<日程>

ワクチン接種1回目	5月24日、25日
ワクチン接種2回目	6月21日、22日
ワクチン接種3回目	11月8日、9日
ワクチン3回接種後抗体価検査	12月6日、7日
ワクチン追加接種	1月10日
ワクチン追加接種後抗体価検査	2月7日

<ワクチン接種後抗体価検査結果>

ワクチン接種対象者		接種者	採血者	ワクチン接種後抗体価検査結果		
				陽性	不十分	陰性
1回接種	12	12	12	0	0	
3回接種	439	431	431	373	31	27
3回接種後追加接種	58	57	56	29	14	13

※追加接種の対象者は、ワクチン3回接種後の抗体価検査で不十分・陰性と判定された学生

(2) インフルエンザワクチン接種

<接種日>

内丸キャンパス：平成30年10月23日(火)～27日(土)、12月1日(土)：医学部5年生限定

矢巾キャンパス：平成30年10月30日(火)、31日(水)

学部	学年	対象者数	接種者数	本学での接種率 (%)		
				学部・学年	学部	
医学部	1年生	129	109	84.5%	81.8%	75.9%
	2年生	129	107	82.9%		
	3年生	130	113	86.9%		
	4年生	133	97	72.9%		
	5年生	125	94	75.2%	65.0%	
	6年生	158	90	57.0%		
歯学部	1年生	52	47	90.4%	90.4%	81.2%
	2年生	57	40	70.2%		
	3年生	53	35	66.0%		
	4年生	63	59	93.7%		
	5年生	50	40	80.0%	80.4%	
	6年生	66	56	84.8%		
薬学部	1年生	76	67	88.2%	85.3%	
	2年生	118	97	82.2%		
	3年生	126	108	85.7%		
	4年生	126	112	88.9%		
	5年生	146	131	89.7%		
	6年生	149	117	78.5%		
看護学部	1年生	93	93	100.0%	97.3%	
	2年生	95	90	94.7%		
歯科衛生学科	1年生	32	32	100.0%	100.0%	
	2年生	34	34	100.0%		
	3年生	31	31	100.0%		
歯科技工学科	1年生	7	7	100.0%	73.3%	
	2年生	8	4	50.0%		
岩手看護短期大学	3年生	63	63	100.0%	98.0%	
	専攻科(地域)	22	21	95.5%		
	専攻科(助産)	15	14	93.3%		
合計		2,286	1,908	83.5%		

※網掛けは矢巾キャンパス

※長期欠席・休学・退学(予定含み)は対象から除いた

3) 心理検査

<実施検査>

UPI (学生精神的健康調査) : 全学部 1~3 年生、薬学部 4~6 年生

<実施日等>

医学部		1 年	2 年	3 年
	在籍学生数	129	129	130
	実施者数	125	127	129
	実施日	H30年5月18日	H30年4月27日	H30年4月25日

歯学部		1 年	2 年	3 年
	在籍学生数	54	57	53
	実施者数	49	56	53
	実施日	H30年5月18日	H30年4月26日	H30年4月27日

薬学部		1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年
	在籍学生数	77	120	126	127	146	182
	実施者数	66	117	123	126	143	180
	実施日	H30年5月18日	H30年4月27日		H30年4月26日		H30年4月27日

看護学部		1 年	2 年
	在籍学生数	93	95
	実施者数	93	95
	実施日	H30年5月18日	H30年4月26日

<結果>

	実施者数	平均値	ハイスコア者数	割合
医 1	125	13.9	5	4.0%
医 2	127	8.6	5	3.9%
医 3	129	6.9	5	3.9%
歯 1	49	13.7	3	6.1%
歯 2	56	11.3	4	7.1%
歯 3	53	11.3	4	7.5%
薬 1	66	15.8	3	4.5%
薬 2	117	9.5	3	2.6%
薬 3	123	9.7	5	4.1%
薬 4	126	9.4	1	0.8%
薬 5	143	9.2	4	2.8%
薬 6	180	10.5	4	2.2%
看 1	93	14.9	6	6.5%
看 2	95	8.7	1	1.1%
全体	1482	10.5	53	3.6%

<UPI 学生精神的健康調査> 回答数が多かった上位3項目について

医学部

	1年	2年	3年
1位	なんとなく不安である	首すじや肩がこる	気疲れがする
2位	首すじ肩がこる	気疲れがする	首すじや肩がこる
3位	やる気が出てこない	気分には波がありすぎる	やる気が出てこない

歯学部

	1年	2年	3年
1位	気疲れがする	やる気が出てこない	気疲れがする
2位	体がだるい	首すじや肩がこる	なんとなく不安である
3位	他人の視線が気になる	気分には波がありすぎる	やる気が出てこない 気分には波がありすぎる 首すじや肩がこる 根気が続かない 決断力がない ものごとに自信がもてない

薬学部

	1年	2年	3年
1位	なんとなく不安である	やる気が出てこない	首すじや肩がこる
2位	将来のことを心配しすぎる	気分には波がありすぎる	気疲れがする
3位	決断力がない	決断力がない 他人の視線が気になる	やる気が出てこない

	4年	5年	6年
1位	やる気が出てこない	首すじや肩がこる	首すじや肩がこる
2位	気疲れがする	やる気が出てこない	気疲れがする
3位	記憶力が低下している	気疲れがする	記憶力が低下している ものごとに自信がもてない

看護学部

	1年	2年
1位	なんとなく不安である	首すじや肩がこる
2位	やる気が出てこない	やる気が出てこない
3位	気疲れがする 根気が続かない	気分には波がありすぎる

3. 職員健康管理実施状況

1) 職員健康診断

(1) 一般健康診断

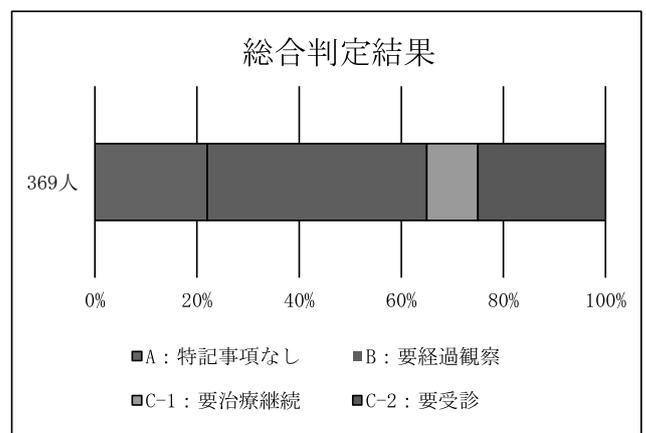
① 雇入時健康診断

< 健診項目 >

既往歴および業務歴の調査、自覚症状および他覚症状の有無、身長、体重、BMI、腹囲、視力、聴力、胸部X線撮影、血圧、尿検査、血液検査（貧血、肝機能、血中脂質、糖代謝）、心電図検査、内科診察、Tスポット検査

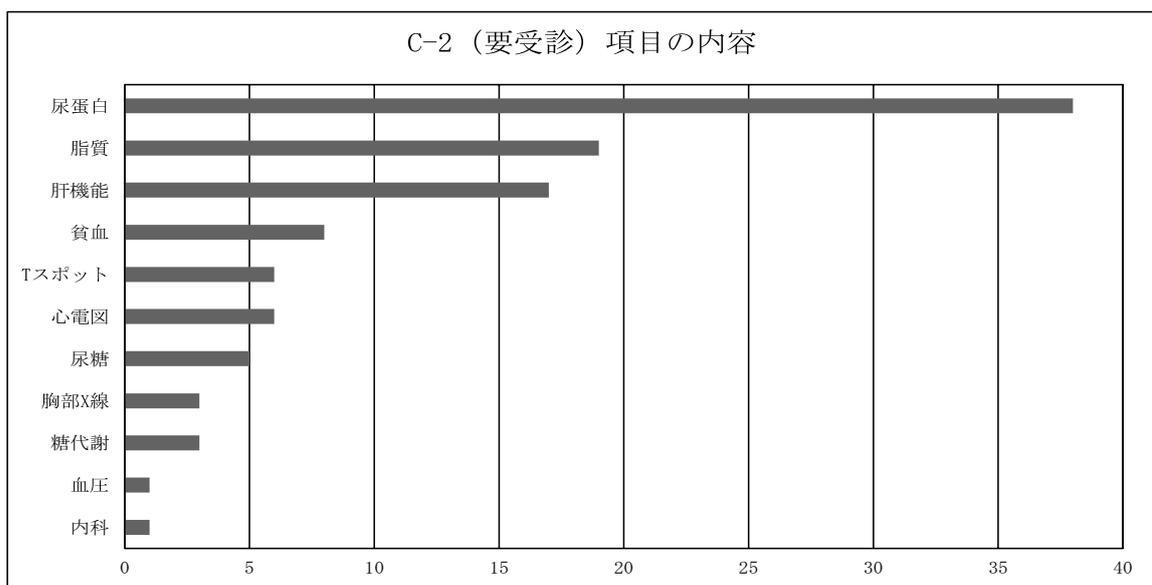
	正規職員	臨時職員	合計
対象者	303	66	369
受診者	303	66	369
未受診者	0	0	0
受診率	100.0%	100.0%	100.0%

	正規職員	臨時職員	合計
A：特記事項なし	65	18	83
B：要経過観察	135	24	159
C-1：要治療継続	24	9	33
C-2：要受診	79	15	94



C-2（要受診）報告書提出状況

	正規職員	臨時職員	合計
提出者	56	6	62
提出率	70.9%	40.0%	66.0%



n=79(複数該当あり)

② 定期健康診断

<健診項目>

既往歴の調査、自覚症状および他覚症状の有無、身長、体重、BMI、腹囲（35歳・40歳以上）、視力、聴力、胸部X線撮影、血圧、血液検査（貧血、肝機能、血中脂質、糖代謝）、尿検査、心電図検査（35歳・40歳以上）、内科診察、眼底検査（前年度の健診結果、血糖・脂質・血圧・BMIの4項目有所見者）

<実施日>

内丸キャンパス：平成30年5月21日（月）～5月23日（水）、28日（月）、29日（火）

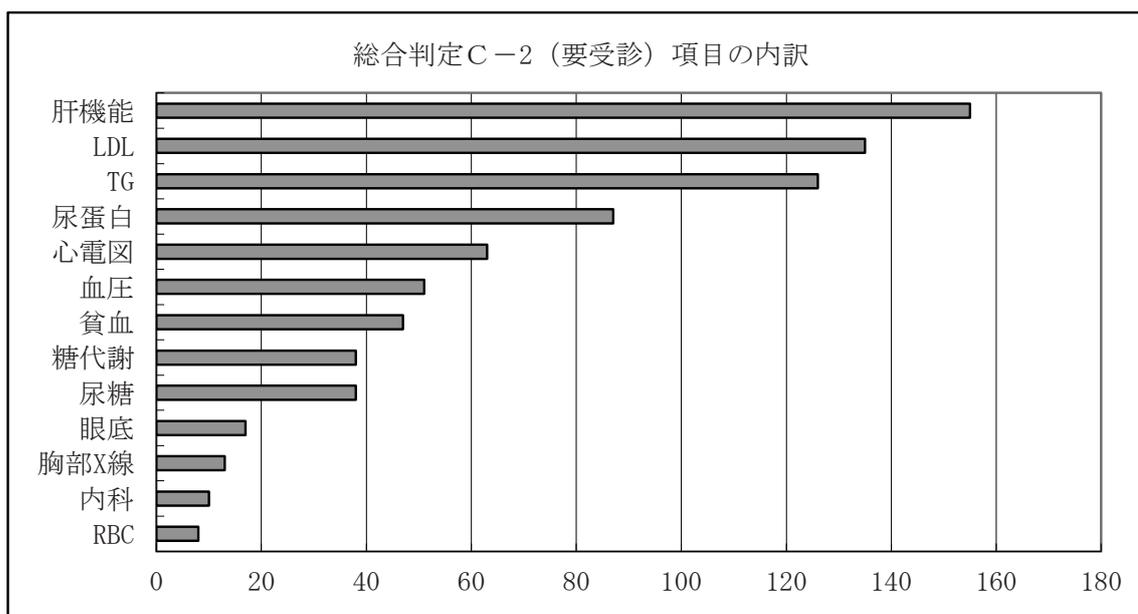
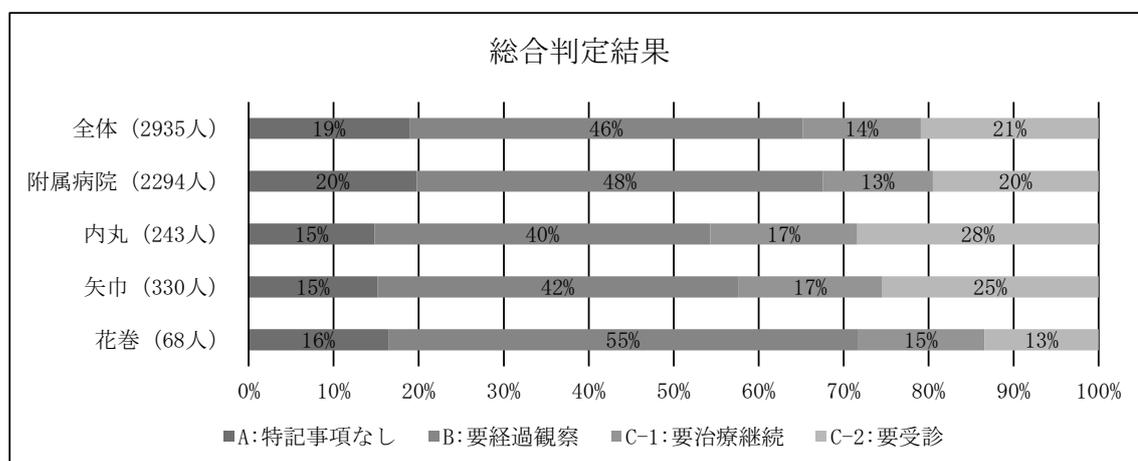
花巻温泉病院：平成30年5月24日（木）、25日（金）

矢巾キャンパス：平成30年5月31日（木）、6月1日（金）

	附属病院	内丸	矢巾	花巻	全体
対象者	2294	243	330	68	2935
受診者	2294	243	330	68	2935
未受診者	0	0	0	0	0
受診率	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%

C-2（要受診）報告書
提出状況

C-2	610
提出者	265
提出率	43.4%

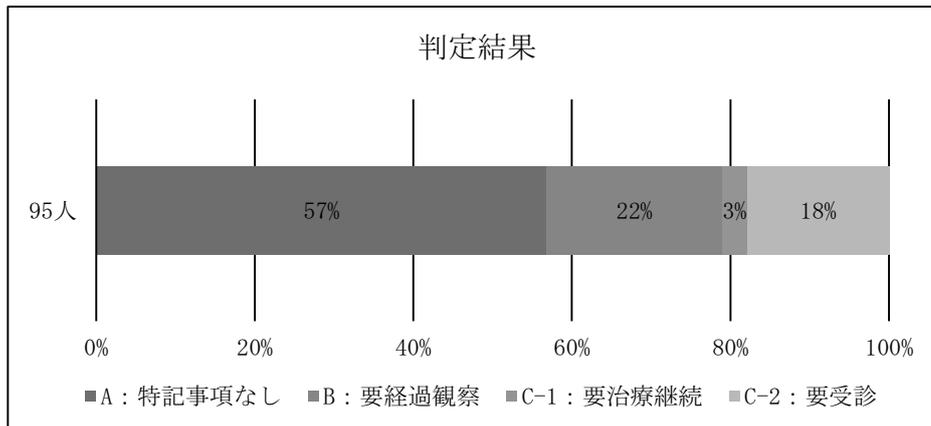


n = 610（複数該当あり）

各項目別判定結果

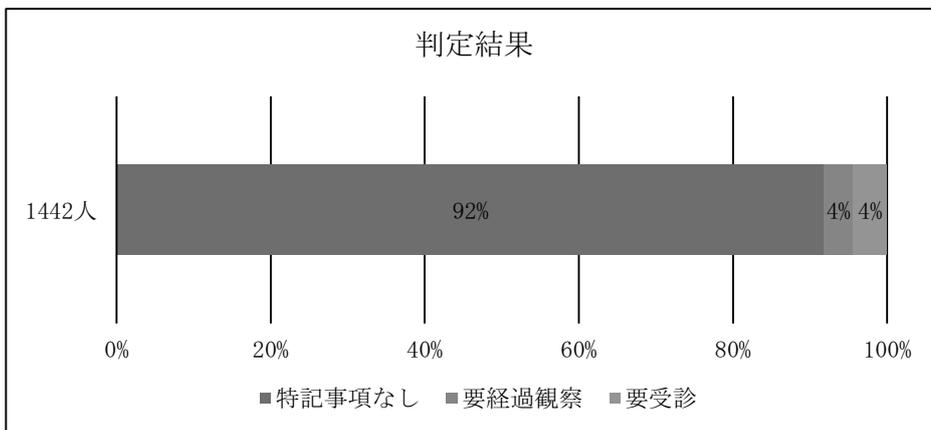
<眼底検査> 前年度の健診結果、血糖・脂質・血圧・BMI の4項目有所見者

対象者	101	⇒	A：特記事項なし	54
受診者	95		B：要経過観察	21
未受診者	6		C-1：要治療継続	3
受診率	94.1%		C-2：要受診	17



<心電図検査> 35歳・40歳以上

対象者	1442	⇒	特記事項なし	1324
受診者	1442		要経過観察	54
未受診者	0		要受診	64
受診率	100.0%			



③ 特定業務従事者健康診断（特殊健康診断等）

<健診項目>

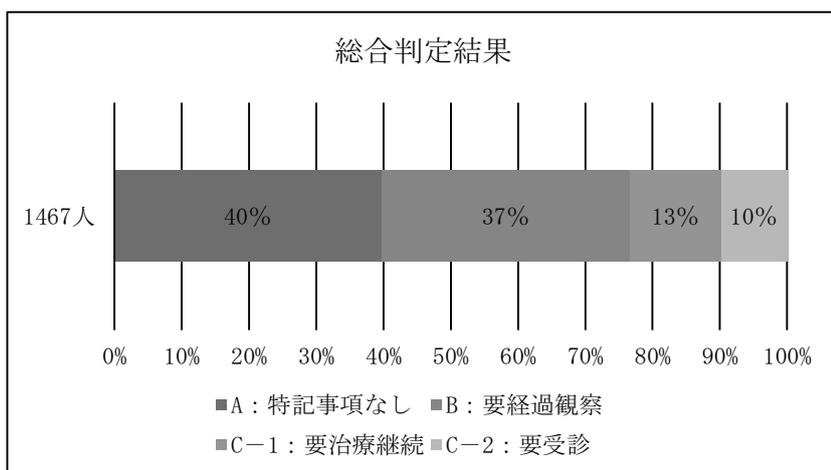
既往歴の調査、自覚症状および他覚症状の有無、身長、体重、BMI、視力、聴力、血圧、尿検査、内科診察
 ※血液検査（貧血、肝機能、血中脂質、糖代謝）、※心電図検査（35歳・40歳以上）
 ※は、産業医の判断で省略できる

<実施日>

内丸キャンパス：平成30年11月13日（火）～16日（金）

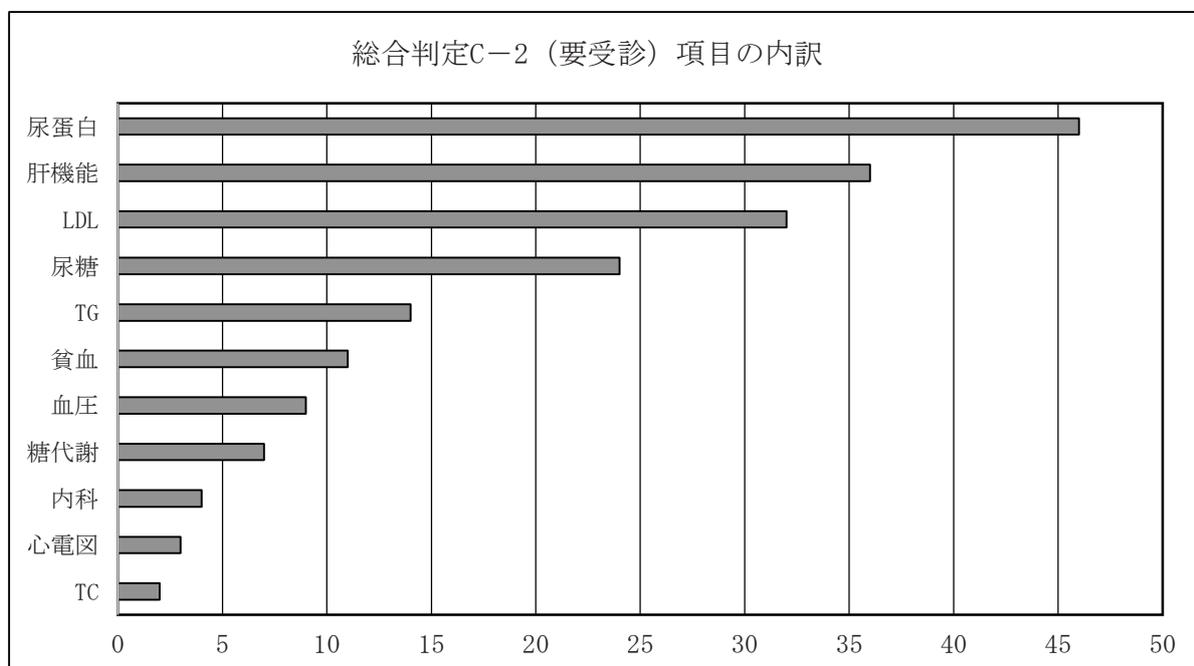
花巻温泉病院：平成30年11月13日（火）～16日（金）

対象者	1,467
受診者	1,467
未受診者	0
受診率	100.0%



C-2（要受診）報告書提出状況

C-2	144
提出者	29
提出率	20.1%



n = 144（複数該当あり）

(2) 特殊健康診断

① 有機溶剤・特定化学物質等健康診断

<実施日 (上期) >

平成30年5月21日 (月) ~23日 (水)、28日 (月)・29日 (火)・31日 (木)・6月1日 (金)

対象者	197	⇒	管理A	179
受診者	197		管理B	18
受診率	100.0%		管理C	0
			管理R	0
			管理T	0

<実施日 (下期) >

平成30年11月13日 (火) ~16日 (金)

対象者	200	⇒	管理A	181
受診者	200		管理B	19
受診率	100.0%		管理C	0
			管理R	0
			管理T	0

管理A	特殊健康診断のすべての検査項目に異常が認められない者
管理B	検査項目に異常を認めるが、産業医が精査を必要としないと判断した者 (管理Cには該当しないが、当該因子による疑いのある異常が認められる者)
管理C	当該因子による疾患に罹患している者
管理R	当該因子によらないが、曝露により増悪するおそれがある疾病・異常を認める場合
管理T	当該因子によらない疾病・異常を認める場合 (当該疾病に対する療養その他の処置を必要とする)

② 電離放射線健康診断

<実施日 (上期) >

平成30年5月21日 (月) ~6月1日 (金)

<判定結果>

対象者	527	⇒	A: 特記事項なし	524
受診者	527		B: 要経過観察	3
受診率	100%		C: 要治療・要精密検査	0
			D: 要措置 (業務配慮・業務配置転換等)	0

<実施日 (下期) >

平成30年11月13日 (火) ~16日 (金)

<判定結果>

対象者	504	⇒	A: 特記事項なし	504
受診者	504		B: 要経過観察	0
受診率	100%		C: 要治療・要精密検査	0
			D: 要措置 (業務配慮・業務配置転換等)	0

③ 石綿健康診断

<実施日（上期）>

平成30年5月21日（月）～25日（金）

対象者	28
受診者	28
受診率	100.0%



管理A	28
管理B-1	0
管理B-2	0
管理C	0
管理R	0
管理T	0

<実施日（下期）>

平成30年12月5日（水）～7日（金）

対象者	27
受診者	27
受診率	100.0%



管理A	27
管理B-1	0
管理B-2	0
管理C	0
管理R	0
管理T	0

管理A	第一次健康診断のすべての検査項目に異常が認められない者
管理B-1	第一次健康診断のある検査項目に異常を認めるが、医師が第二次健康診断を必要としないと判断した者
管理B-2	健康診断の結果、管理Cには該当しないが、当該因子によるかまたは当該因子による疑いのある異常が認められる者
管理C	第二次健康診断の結果、当該因子による疾患に罹患している者
管理R	健康診断の結果、当該因子による疾病または異常を認めないが、当該業務に就業することにより増悪するおそれのある疾病にかかっている場合または異常が認められる者
管理T	健康診断の結果、当該因子以外の原因による疾病にかかっている場合または異常が認められる者（管理Rに属するものを除く）

(3) その他

① VDT 作業員健康診断

<実施日> 平成 30 年 5 月 16 日 (水) ~6 月 1 日 (金)

VDT 作業員	3,283 名
二次検診対象者 (面接希望者)	4 名
二次検診実施者	1 名

② 胃がん検診 (40 歳以上の希望者)

<実施日> 内丸キャンパス : 平成 30 年 9 月 3 日 (月) ~21 日 (金)
花巻温泉病院 : 平成 30 年 9 月 25 日 (火)

<内丸・矢巾>

対象者	1364
受診者	362
受診率	26.5%



異常なし	290
要経過観察	68
要精密検査	4

<花巻温泉病院>

対象者	30
受診者	8
受診率	26.7%



異常なし	6
要経過観察	2
要精密検査	0

③ 大腸がん検診 (40 歳以上の希望者)

<実施日> 平成 30 年 12 月 3 日 (月) ~11 日 (火)

<内丸・矢巾>

対象者	1343
受診者	433
受診率	32.2%



異常なし	415
要精密検査	18

<花巻温泉病院>

対象者	30
受診者	10
受診率	33.3%



異常なし	10
要精密検査	0

④ 結核接触者健診

ケース	健診実施時期		対象者	健診内容等
【TB180703】 H30. 6. 22 発生	2 ヶ月後	H30. 8. 23～27	6 名	T-スポット検査・診察（問診票） 陰性 6 名 終了
【TB180803】 H30. 7. 2 発生	直後	H30. 8. 23～24	6 名	T-スポット検査・診察（問診票） 陰性：6 名
	2 ヶ月後	H30. 9. 13～20	6 名	T-スポット検査・診察（問診票） 陰性：6 名 終了
【TB180810】 H30. 8. 10 発生	直後	H30. 8. 23～30	3 名	T-スポット検査・診察（問診票） 陰性：3 名
	2 ヶ月後	H30. 10. 12～19	3 名	T-スポット検査・診察（問診票） 陰性：3 名 終了
【TB180904】 H30. 9. 4 発生	直後	H30. 9. 27～10. 1	7 名	T-スポット検査・診察（問診票） 陰性：6 名、陽性 1 名（内服既往有）
	2 か月後	H30. 11. 15～16	7 名	T-スポット検査・診察（問診票）・ 陰性：6 名、陽性 1 名（内服既往有） 胸部X線（1名）：異常なし
【TB180926】 H30. 7. 23 発生	2 ヶ月後	H30. 10. 11	2 名	T-スポット検査・診察（問診票） 陰性：2 名 終了

T-スポット検査結果の事後対応

陰性	2 年間は定期健康診断で必ず胸部X線撮影を実施する
陽性	潜在性肺結核として予防内服を推奨し、医療機関につなげる
判定保留	検査日から 4 週間後に再度 QFT または T-スポット検査を実施する 潜在性肺結核として予防内服を選択するかどうかは、本人の意思に基づき決定する 内服しない場合は、6 ヶ月毎に 2 年間の健診（胸部X線撮影と問診票）を実施する

2) 各種ワクチン接種

(1) B型肝炎ワクチン接種

<ワクチン接種前抗体価検査結果> 実施日：平成30年5月24日～6月1日

対象者 (希望者)	検査実施者	ワクチン接種前抗体価検査結果		
		陽性	不十分	陰性
1,184	1,144	753	199	192

<ワクチン接種対象者>

362名：抗体価不十分・陰性と判定された職員（事務職等29名を除く）

<日程>

ワクチン接種1回目	7月24日、25日
ワクチン1回接種後抗体価検査・ワクチン接種2回目	8月21日、22日
ワクチン接種3回目	1月8日、9日
ワクチン3回接種後抗体価検査	2月5日、6日
ワクチン追加接種	2月26日
ワクチン追加接種後抗体価検査	3月26日、27日

<ワクチン接種後抗体価検査結果>

ワクチン接種対象者		接種者	採血者	ワクチン接種後抗体価検査結果		
				陽性	不十分	陰性
1回接種	136	110	94	92	2	0
1回倍量接種	59	50	41	40	1	0
3回接種	167	73	73	64	7	2
3回接種後追加接種	9	9	8	4	3	1

※追加接種の対象者は、ワクチン3回接種後の抗体価検査で不十分・陰性と判定された職員

(2) C型肝炎抗体検査

<実施日> 平成30年5月24日（木）～6月1日（金）

<判定結果>

対象者(希望者)	1194	⇒	陰性	1152
検査実施者	1153		疑陽性（要受診）	1

(3) 水痘・風疹・流行性耳下腺炎抗体価検査およびワクチン接種

<対象者>

小児病棟新規配属職員

<受診者>

11名

<ワクチン接種前抗体価検査結果> 実施日：平成30年5月24日～6月1日

検査項目 抗体価 EIA 法 (IgG)	ワクチン接種基準	基準を 満たしている	基準を満たさず
水痘	4.0 未満	11名	0名
風疹	8.0 未満	7名	4名
流行性耳下腺炎	4.0 未満	7名	4名

※ワクチン接種基準は日本環境感染学会「医療関係者のためのワクチンガイドライン（第2版）」

<ワクチン接種対象者>

7名（1名は2項目該当）：日本環境感染学会基準値をみたさない職員

<日程>

ワクチン接種	9月11日
ワクチン接種後抗体価検査	12月18日

<ワクチン接種後抗体価検査結果>

ワクチン接種対象者		接種者	ワクチン接種 基準	基準を 満たしている	基準を 満たさず
風疹	4名	3名	8.0 未満	2名	1名
流行性耳下腺炎	4名	4名	4.0 未満	2名	2名

(4) インフルエンザワクチン接種（職員・大学院生）

<接種日>内丸キャンパス：平成30年10月23日（火）～27日（土）

矢巾キャンパス：平成30年10月30日（火）、31日（水）

花巻温泉病院：平成30年10月22日（月）～10月31日（水）

		対象者数	接種者数	対象者の接種率
附属病院	医師	495	371	74.9%
	歯科医師	122	88	72.1%
	看護職	1203	1121	93.2%
	コメディカル	443	405	91.4%
	医師以外の教員・事務・その他	150	136	90.7%
	計	2413	2121	87.9%
内丸キャンパス		255	222	87.1%
矢巾キャンパス		364	284	78.0%
花巻温泉病院	医師	7	7	100.0%
	看護職	38	37	97.4%
	コメディカル	15	14	93.3%
	事務	6	6	100.0%
	計	66	64	97.0%
合 計		3098	2691	86.9%

※その他：ボイラー技士、自動車運転手、技術員等

<インフルエンザ発生状況>

<内訳>

	インフルエンザワクチン接種			インフルエンザ発症者 (A型・B型・インフルエンザ様 症状)		
	対象者数	接種者数	未接種者数	発症者数	発症率	
職員(大学院生含む)	3,098	2,691	407	234	219	7.6%
学生	2,286	1,908	378	59	54	2.6%
その他(希望者)	447	423	24	25	17	5.6%
合計	5,831	5,022	809	318	290	5.5%

※その他：聴講生、研究員・非常勤医師・研究捕手、業務委託・派遣職員、他団体

インフルエンザA型	インフルエンザB型		インフルエンザ様症状	
	発症者数	ワクチン接種者数	発症者数	ワクチン接種者数
199	186	14	13	20
52	47	4	4	3
25	17	0		0
276	250	18	17	24

【職員・学生の詳細】

<内訳>

	インフルエンザワクチン接種			インフルエンザ発症者 (A型・B型・インフルエンザ様 症状)		
	対象者数	接種者数	未接種者数	発症者数	発症率	
内丸	2,668	2,343	325	222	208	8.3%
矢巾	364	284	80	8	7	2.2%
花巻	66	64	2	4	4	6.1%
医学部	804	610	194	26	24	3.2%
歯学部	341	277	64	13	10	3.8%
薬学部	741	632	109	6	6	0.8%
看護学部	188	183	5	5	5	2.7%
看護短大	100	98	2	3	3	3.0%
医療専門学校	112	108	4	6	6	5.4%
総数	5,384	4,599	785	293	273	5.4%

※職員に大学院生を含む。

3) 長時間労働者への産業医による面接指導

(単位：件)

対象月	対象者				面接申出書 チェックリスト 提出者	面接 希望者	産業医 面接者 (本人)	上司 面接
	6ヶ月平均で 45時間以上	2ヶ月平均で 80時間以上	1ヶ月で 100時間以上	計				
4月	26	2	2	30	30	1	2	0
5月	31	2	1	34	34	0	0	0
6月	33	3	0	36	36	0	3	1
7月	35	2	0	37	37	0	2	0
8月	36	2	0	38	38	1	2	0
9月	32	2	2	36	36	1	2	0
10月	31	3	2	36	36	1	3	0
11月	28	5	3	36	35	1	1	0
12月	34	3	0	37	36	0	1	0
1月	32	1	1	34	34	0	0	0
2月	36	2	3	41	41	0	3	0
3月	33	4	1	38	38	1	2	1
計	387	31	15	433	431	6	21	2

※産業医面接は、本人希望と産業医の判断で必要と認めた者

4) ストレスチェック

<実施期間>

平成30年8月1日(水)～8月16日(木)

<実施状況>

対象者	2930
受検者	2059
受検率	70.3%

<面接指導期間>

平成30年9月14日(金)、9月18日(火)、9月19日(水)、9月21日(金)、9月27日(木)
10月4日(木)、10月5日(金)、10月11日(木)、10月19日(金)

5) 職場巡視

<実施日>

平成 30 年 11 月 20 日 (火)

<巡視内容>

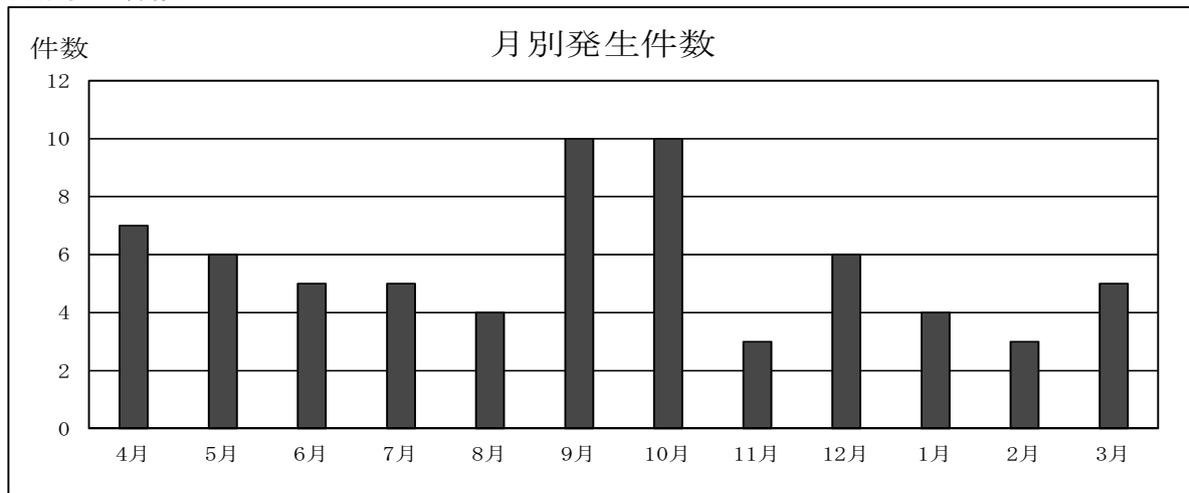
- ・温度、湿度、照度、騒音、整理整頓等について
- ・薬品の管理環境の状況について
- ・V D T 作業環境について
- ・有機溶剤・特定化学物質使用の有無及び作業状況について
- ・作業の導線など

<巡視場所>

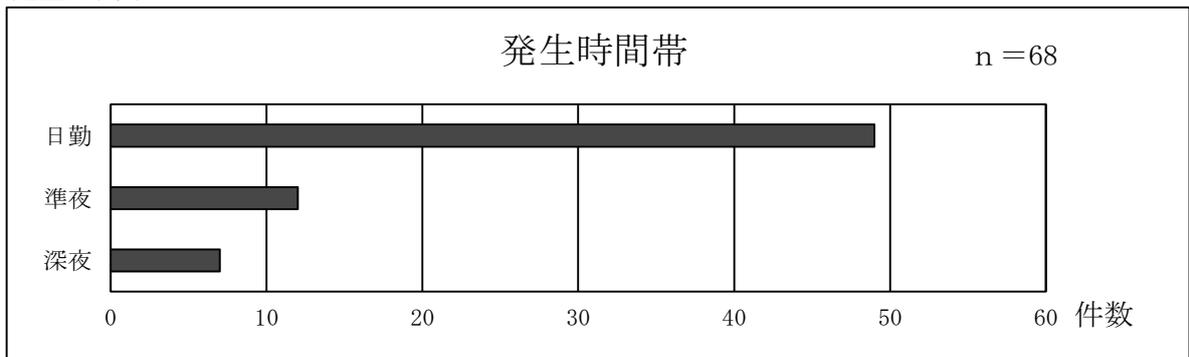
- ①附属病院：臨床研究支援センター（東病棟 地下1階）
- ②附属病院：本院 薬剤部（10号館 地下1階、1階）計4か所

6) 針刺し粘膜暴露事故対応

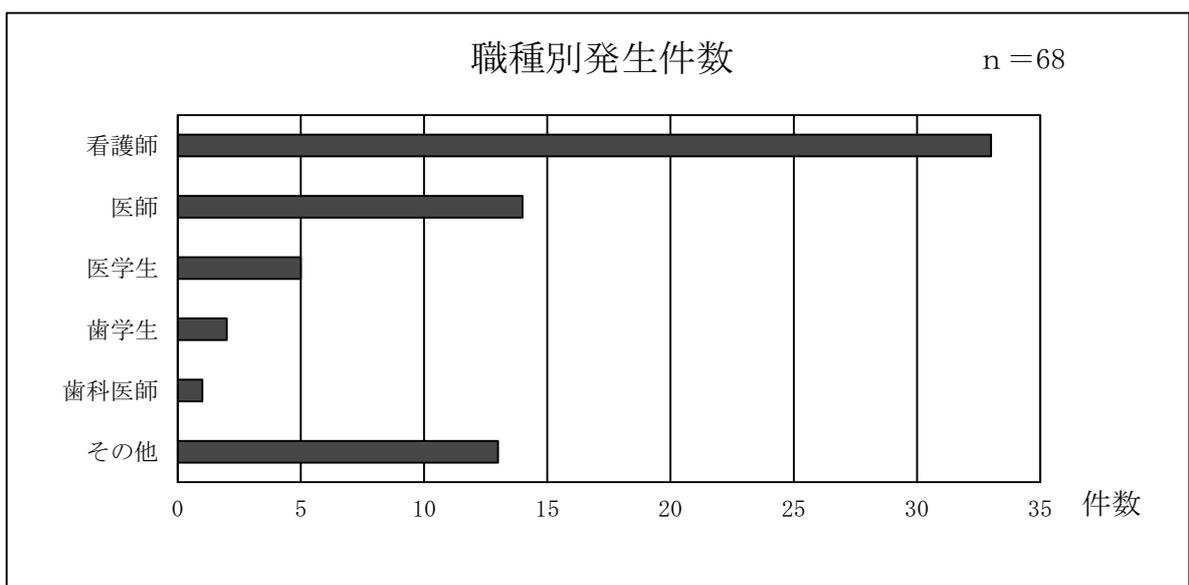
<月別発生件数>



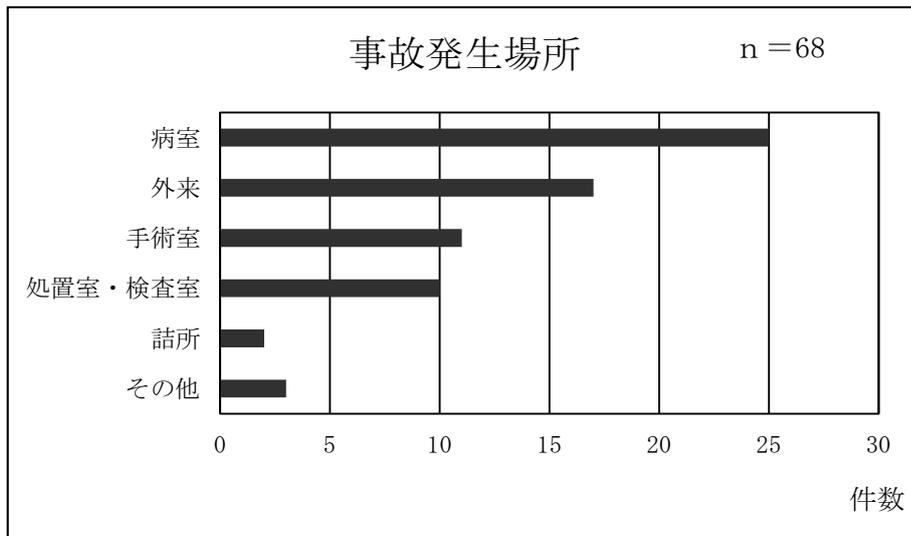
<発生時間帯>



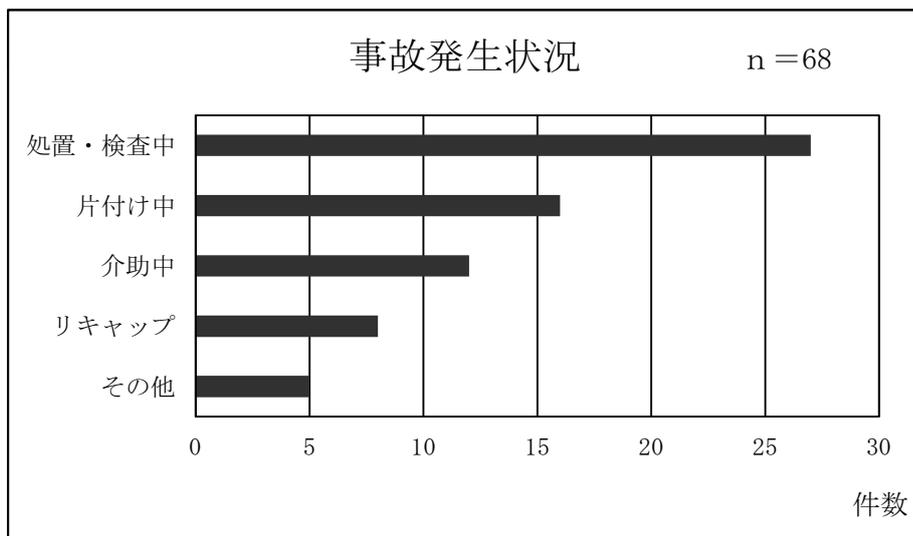
<職種別発生件数>



<事故発生場所>



<事故発生状況>



7) 定期健康診断後の健康相談

平成30年7月30日(月) 16時30分～17時30分

内丸：60周年記念館 9階 第一講義室

矢巾：東研究棟 1階 SGL 35番～37番

担当：健康管理センター 保健師

8) 禁煙支援

個人サポート 3名

禁煙外来 0名

【内容】

- ・ニコチン依存度チェック
- ・ヘビースモーカーチェック
- ・禁煙意志の確認
- ・禁煙外来医療機関の説明(一覧表配付)
- ・禁煙治療スケジュールの説明
- ・禁煙治療費用の説明
- ・離脱症状対処法の説明
- ・定期的に確認、サポート

(9) 職員喫煙アンケート

実施期間：平成30年7月2日（月）～13日（金）

※遅れて提出されたものも含め7月31日まで提出されたものを集計に加えた。

【1】あなた自身について(1)～(3)のあてはまるもの○をつけてください。

- (1)性別 1) 男 2) 女
 (2)年代 1) 10代 2) 20代 3) 30代 4) 40代 5) 50代 6) 60代～
 (3)職種 1) 臨床系医師・歯科医師 2) 基礎系医師・歯科医師 3) その他の教員 4) 看護師（看護補助含）
 5) コメデイカル 6) 病院事務系 7) 病院以外の事務系 8) その他

コメデイカル：薬剤師・臨床検査技師・臨床工学技士・放射線技師・臨床心理士・言語聴覚士・視能訓練士・栄養士・調理師
 歯科衛生士・歯科技工士・理学（作業）療法士・精神保健福祉士・難病医療コーディネーター・保健師
 治験コーディネーター・マッサージ師など
 その他：ボイラ-技士・自動車運転転手・技術員・技能士・ボストリク-・監視員・研究支援者・薬学部院生など

通知者	3148
提出数	2030
無回答等	50
有効回答数	1980
有効回答率	63%

<対象者>

職種	全体		20代		30代		40代		50代		60代～														
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	計	(率)											
1) 臨床系医師・歯科医師	528	143	671	21%	75	34	109	14%	202	71	273	28%	143	30	173	23%	86	7	93	20%	22	1	23	14%	
2)、3) 基礎系医師・歯科医師・その他の教員	183	82	265	8%	12	4	16	2%	36	15	51	5%	49	37	86	11%	56	13	69	15%	30	13	43	27%	
4) 看護師（看護補助含）	100	1162	1262	40%	38	382	420	54%	50	334	384	39%	6	287	293	38%	5	137	142	31%	1	22	23	14%	
5) コメデイカル	215	252	467	15%	58	97	155	20%	65	64	129	13%	35	52	87	11%	42	29	71	15%	15	10	25	16%	
6) 病院事務系	64	69	133	4%	9	16	25	3%	27	18	45	5%	13	17	30	4%	9	11	20	4%	6	7	13	8%	
7) 病院以外の事務系	126	139	265	8%	19	24	43	6%	49	30	79	8%	31	42	73	10%	13	33	46	10%	14	10	24	15%	
8) その他	47	38	85	3%	1	9	10	1%	18	8	26	3%	11	10	21	3%	11	9	20	4%	6	2	8	5%	
計	1263	1885	3148	100%	778	566	778	100%	447	540	987	100%	288	475	763	100%	222	239	461	100%	94	65	159	100%	
					778		25%	987		31%	763		24%	461		15%	159		5%						

<回答者>

	全体				20代				30代				40代				50代				60代～			
	男		女		男		女		男		女		男		女		男		女		男		女	
	回数	比率	回数	比率	回数	比率	回数	比率	回数	比率	回数	比率	回数	比率	回数	比率	回数	比率	回数	比率	回数	比率		
1) 臨床系医師・歯科医師	237	64	301	15%	31	15	46	8%	72	31	103	18%	66	15	81	17%	55	3	58	19%	13	0	13	16%
2)、3) 基礎系医師・歯科医師・その他の教員	90	45	135	7%	3	2	5	1%	18	8	26	5%	28	20	48	10%	28	8	36	12%	13	7	20	25%
4) 看護師(看護補助含)	47	851	898	45%	24	313	337	61%	16	235	251	44%	2	182	184	39%	4	106	110	35%	1	15	16	20%
5) コメディカル	133	166	299	15%	33	66	99	18%	40	43	83	15%	29	34	63	13%	27	20	47	15%	4	3	7	9%
6) 病院事務系	50	50	100	5%	6	9	15	3%	24	13	37	7%	11	12	23	5%	5	12	17	5%	4	4	8	10%
7) 病院以外の事務系	89	90	179	9%	14	23	37	7%	32	21	53	9%	25	27	52	11%	12	15	27	9%	6	4	10	12%
8) その他	38	30	68	3%	3	7	10	2%	11	5	16	3%	8	10	18	4%	11	6	17	5%	5	2	7	9%
計	684	1296	1980	100%	114	435	549	100%	213	356	569	100%	169	300	469	100%	142	170	312	100%	46	35	81	100%
					549		28%		569		29%		469		24%		312		16%		81		4%	

網掛の数値が相反しているのは、調査年齢は年度末年齢で記載していることによる影響と考えられる。

【2】あなたの喫煙状況についてあてはまるものに○をつけてください。

(1) 喫煙している (2) 過去に喫煙したことがあるが現在は喫煙していない (3) 喫煙したことがない

	(1)	(2)	(3)
男	142	210	332
比率	21%	31%	48%
女	64	183	1049
比率	5%	14%	81%
全体	206	393	1381
比率	10%	20%	70%

＜喫煙者の内訳＞

	全体		20代		30代		40代		50代		60代～		
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
	計	(率)	計	(率)	計	(率)	計	(率)	計	(率)	計	(率)	
1) 臨床系医師・歯科医師	45	23%	3	8%	16	27%	2	17	25%	10	34%	1	10%
2)、3) 基礎系医師・歯科医師・その他の教員	9	4%			3	5%	3	3	4%	2	7%	1	10%
4) 看護師 (看護補助含)	15	35%	10	16	26	65%	1	19	29%	8	28%	1	20%
5) コメディカル	29	15%	7	18%	8	15%	10	10	15%	3	10%	1	10%
6) 病院事務系	12	6%	1	3%	6	10%	4	4	6%	1	7%		
7) 病院以外の事務系	23	13%	2	5%	7	14%	8	2	10	3	10%	3	30%
8) その他	9	4%	1	3%	1	2%	4	4	6%	1	3%	2	20%
計	142	100%	24	19%	44	29%	23	68	33%	29	14%	10	5%

＜職種別喫煙率＞

	喫煙者		喫煙率		喫煙者		喫煙率		喫煙者		喫煙率	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
	計	(率)	計	(率)	計	(率)	計	(率)	計	(率)	計	(率)
1) 臨床系医師・歯科医師	19	16%	47	23%	2	47	23%	64	301	15%	64	301
2)、3) 基礎系医師・歯科医師・その他の教員	10	7%	9	4%	0	9	4%	45	135	7%	45	135
4) 看護師 (看護補助含)	32	8%	72	35%	57	72	35%	851	898	45%	851	898
5) コメディカル	22	10%	30	15%	1	30	15%	166	299	15%	166	299
6) 病院事務系	24	13%	13	6%	1	13	6%	50	100	5%	50	100
7) 病院以外の事務系	26	15%	26	13%	3	26	13%	89	179	9%	89	179
8) その他	24	13%	9	4%	9	9	4%	38	68	3%	38	68
計	21	10%	206	100%	64	206	100%	684	1980	100%	684	1980

【3】あなたは「受動喫煙」という言葉をご存じですか。あてはまるものに○をつけてください。

- (1) 意味も含めて知っている
 (2) 言葉は知っているが、意味はよくわからない
 (3) 知らなかった (今回の調査で初めて知った)
 (4) 無回答

	(1)	(2)	(3)	(4)
男	回答数	668	11	5
	比率	97%	2%	1%
女	回答数	1255	31	8
	比率	97%	2%	1%
全体	回答数	1923	42	13
	比率	97%	2%	1%

	(1)	(2)	(3)	(4)
喫煙者	回答数	201	3	2
	比率	98%	1%	1%
過去の喫煙者	回答数	381	10	2
	比率	97%	3%	0%
喫煙歴無者	回答数	1341	29	9
	比率	97%	2%	1%
全体	回答数	1923	42	13
	比率	97%	2%	1%

【4】「受動喫煙」とは、室内又はこれに準ずる環境において、他人のタバコの煙を吸わされることをいいます (電子タバコを含む)。あなたは、受動喫煙にあったことがありますか。(この1年間くらいの間に)

- (1) ある ⇒ 【5】、【6】へ
 (2) ない ⇒ 【7】へ
 (3) 無回答

	(1)	(2)	(3)
男	回答数	623	58
	比率	91%	9%
女	回答数	1157	138
	比率	89%	11%
全体	回答数	1780	196
	比率	90%	10%

	(1)	(2)	(3)
喫煙者	回答数	191	11
	比率	93%	5%
過去の喫煙者	回答数	356	37
	比率	91%	9%
喫煙歴無者	回答数	1233	148
	比率	89%	11%
全体	回答数	1780	196
	比率	90%	10%

【5】【4】で「ある」と答えた方にお伺いします。あなたはこれまでに受動喫煙にあったとき不快に感じましたか。

- (1) 不快に感じた
- (2) どちらかといえば不快に感じた
- (3) 不快に感じなかった
- (4) 無回答

	(1)	(2)	(3)	(4)
男	回答数	318	203	100
	比率	51%	33%	16%
女	回答数	738	333	83
	比率	64%	29%	7%
全体	回答数	1056	536	183
	比率	60%	30%	10%

	(1)	(2)	(3)	(4)
喫煙者	回答数	36	82	70
	比率	19%	43%	37%
過去の喫煙者	回答数	184	127	45
	比率	52%	36%	12%
喫煙歴無者	回答数	836	327	68
	比率	68%	27%	5%
全体	回答数	1056	536	183
	比率	59%	30%	11%

【6】【4】で「ある」と答えた方にお伺いします。あなたはこれまでに受動喫煙にあったときどのような行動をとりましたか。
最もあてはまるもの1つに○をつけてください。

- (1) 喫煙者に喫煙を控えるよう求めた
- (2) 自分が席や場所を移動した
- (3) 自分が我慢した
- (4) 気にならなかったため、何もしなかった。
- (5) 無回答
- (6) 複数回答

	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)
男	回答数	17	209	281	98	16
	比率	3%	34%	45%	16%	3%
女	回答数	51	419	550	99	21
	比率	4%	36%	48%	9%	2%
全体	回答数	68	628	831	197	37
	比率	4%	35%	47%	11%	2%

	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)
喫煙者	回答数	5	45	60	72	8
	比率	3%	24%	31%	38%	4%
過去の喫煙者	回答数	9	123	171	43	9
	比率	3%	35%	48%	12%	2%
喫煙歴無者	回答数	54	460	600	82	20
	比率	4%	37%	49%	7%	2%
全体	回答数	68	628	831	197	37
	比率	4%	35%	47%	11%	2%

【7】【4】で「ない」と答えた方にお伺いします。受動喫煙の健康への影響について、どのように思いますか。

- (1) 影響があると思う
- (2) 影響がないと思う
- (3) わかからない
- (4) 無回答

	(1)	(2)	(3)	(4)
男	回答数	44	1	12
	比率	76%	2%	20%
女	回答数	124	1	10
	比率	90%	1%	7%
全体	回答数	168	2	22
	比率	86%	1%	11%

	(1)	(2)	(3)	(4)
喫煙者	回答数	7		4
	比率	64%		36%
過去の喫煙者	回答数	28	1	7
	比率	76%	3%	19%
喫煙歴無者	回答数	133	1	11
	比率	90%	1%	7%
全体	回答数	168	2	22
	比率	86%	1%	11%

【8】あなたは本学での喫煙状況（敷地内分煙：大学に隣接した屋外に喫煙場所を設置）についてどのように思いますか。あてはまるものに○（複数回答可）をつけてください。

- (1) 大学を敷地内全面禁煙にしてほしい
- (2) 大学から離れた敷地内に喫煙所を設けて欲しい
- (3) 今の喫煙対策（大学に隣接した屋外に喫煙場所を設置）で満足である
- (4) なんととも思わない
- (5) その他

	回答者	無回答者	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
男	回答数	679	5	261	159	210	73
	比率	99%	1%	38%	23%	31%	11%
女	回答数	1275	21	584	256	324	153
	比率	98%	2%	46%	20%	25%	12%
全体	回答数	1954	26	845	415	534	226
	比率	99%	1%	43%	21%	27%	12%

	回答者	無回答者	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
喫煙者	回答数	204	2	29	61	94	26
	比率	99%	1%	13%	28%	43%	12%
過去の喫煙者	回答数	388	5	158	83	108	54
	比率	99%	1%	38%	20%	26%	13%
喫煙歴無者	回答数	1362	19	658	271	332	146
	比率	99%	1%	45%	18%	23%	10%
全体	回答数	1954	26	845	415	534	226
	比率	99%	1%	40%	20%	25%	11%

(5) その他の内容

①モラル	②設置場所・設備	③干渉・自由意思	④ルール作り	⑤防火対策・見回り	⑥禁煙推奨	⑦その他
①モラル		<p>外部で喫煙している職員の姿をみるが、その振る舞いが美しくなく、世間体も良くない。 路上で白衣姿で喫煙している様子は非常に見苦しい。 呼吸器が弱い人間もいることを医療者が多いのに考えていない 学内の要職に就かれている方が喫煙していることが問題だと思えます。 自分の所でよくても隣接した近隣に迷惑をかけているのでは・・・自分の所でなければよいというのはエゴなのでは？ 職員・学生らが近所のタバコ屋・コンビニで喫煙している姿はみつともないもので、そうなる事は避けてほしい。 図書館裏の店舗前で吸っているのを見かけたことがあるが大学職員（医療系）として好ましくないと思う。 ①仮に敷地内禁煙にしたとしても監視体制がありませんので、個室やトイレで喫煙しててる状況だ。②電子タバコも匂いが出ないので喫煙しててるようだが、喫煙後の吸い殻が一番匂います。喫煙者のマナーを師で徹底してほしいものだ。 敷地内分煙なっているはずなのに敷地内で喫煙している職員がおおり、怒りを感じる。 白衣でたばこすうのを患者がみることのないようにしてほしい。 教室と離れたところにしてほしい。（窓を開けるのに支障がないようにに） 排煙装置付きのきちんとした喫煙室を設けるべき。今の屋外の喫煙スペースはあまりにも見苦しい。本学の品格を下げている。 あまり周囲からみえない位置に喫煙場所を設置してほしい 内丸では、入院患者さんも喫煙所に行っているようなので、喫煙場所の設置は構わないが、周囲から見えないようにすることで喫煙する側とそうでない人達の意識が変わると思う。</p>				
②設置場所・設備						

<p>大学の敷地内に喫煙室があった方がいいと思う。</p>
<p>喫煙所が必要</p>
<p>学外から見えなければ良い。喫煙所（校舎の外に建物）を作った方がいいと思う。</p>
<p>道路から見えている。→見ている方は「あれでいいの？」と思ってしまう。</p>
<p>建物内にガラスばりの、入退室がカードで記録されるような喫煙室を作ってほしい。屋外で喫煙している姿は学生に対しても患者さんに対しても好ましくないので思う。←姿をみられたくないので使用せず、結果同じ部屋の人に受動喫煙が生じている可能性があるのでは？</p>
<p>大学の建物の外に喫煙場所を設置するのは構わないが、外の道路を歩いている人から見えない場所にしたいと思う。</p>
<p>来訪者の為にもっと喫煙場所を増やしてほしい。</p>
<p>敷地より離れていたり敷地内全面禁煙にすると、敷地に隣接した道路で喫煙する人が増えることを目の当たりにし、6年間の活動空しく改善することがなかった。（体制的には全面禁煙の方が良いとは思いますが）分煙の方が良いかと思えます。</p>
<p>全面禁煙にしたところで、必ず喫煙をする職員・患者がでてくると思うので、以前のように院内に（敷地内）喫煙スペースを設置するべき。</p>
<p>患者さん、院外の人から見える場所にあるのは良くないと思う。職員のために喫煙所はあっても良いと思うが場所が院内関係者のみ使用できる所にしたい方が良く思う。</p>
<p>基本的に不要だと思うが喫煙者のことを考えると屋外にちゃんとした喫煙所（建物）をつくるのが1番いい。つくらないと受動喫煙のリスクは減らない。</p>
<p>喫煙場所は屋外ではなくきちんとした場所を設けた方がいいと思う。</p>
<p>外に煙が漏れなければ敷地内に喫煙所があっても良いと思う。</p>
<p>個室のようになっているなら（3）でOK</p>
<p>分煙できる設備はあってもよいのではないかと思う</p>
<p>学内でなくすと近隣へ喫煙に必ず出る時間ができるので、その間連絡がとれなかつたり近隣から苦情が来ると思う。</p>
<p>自分あまり近くを通ることはないが近い環境にある場合は離れた場所が良いと思う。</p>
<p>場所をもうけるべき。かくれて吸っている患者も多く、危険。吸う人の人種も考える必要あり。</p>
<p>離れた敷地内であるとすれば（こっそり、ひそかに）Dr、NS、Ptともに吸う人がでるため近くに設けた方がよい。周辺で吸っているのは、見てもいやな感じがする。</p>
<p>敷地内・外にかかわらず、患者さまやご家族に見えないようにして頂きたいです。</p>
<p>他の人（患者、病院利用者など）から見えない場所に喫煙所を設けた方がいいと思う。</p>
<p>分煙にして喫煙所増やさないとむしろ集団に迷惑かけるやつが多い。</p>
<p>敷地内分煙とし、屋外の喫煙場所をやめた方が良い。</p>
<p>大学内に喫煙場所（室内）をちゃんと作ってほしい。外だと、近くを通った時結局受動喫煙してしまうから。</p>

③ 干渉・自由意思	<p>自分の意志で吸っているのだから、過度な喫煙者の隔離はすべきでないと思う。子供が近くにいたことが想定されるのなら話は別だが。大学に隣接した屋外の設置場所には近づかないようにしています。</p> <p>ルールを守った上での喫煙は個人の自由であるので、仕事に支障が出ない程度であれば全面禁煙までしなくても良いのではないかと思います。</p> <p>全面禁煙にして隠れて吸う人が出るくらいなら、現状に満足する。</p> <p>①成人の個人的な嗜好まですらばう権利はないと思います。場所をもうけてあげてあげればよいです。</p> <p>②全員に禁煙させるなら、全員に禁煙もさせましょう。甘い物も糖尿のハイリスクなので全員にやめさせましょう。つまりあまりに他人にきびしい日本は生きにくいということです。</p> <p>喫煙所がなくなつたので、大学をやめます。</p> <p>喫煙所を設けたとして、何かトラブルが生じるとダメかなと思いますが、長年吸ってきた人のことを考えると、やめるのはつらいだろうなど。職場では吸わないので。</p> <p>喫煙しないと仕事に支障がくるのであれば、他人に迷惑がかからないところで喫煙してもよい。</p> <p>いきすぎた規制には反対です。</p> <p>そもそも喫煙者を職員として採用しない</p>
④ ルール作り	<p>医科系大学にもかわかわらず、なぜ今まで敷地内全面禁煙が徹底していないのかが問題の本質であると考え</p> <p>就業時間内の喫煙は、ルール作りが必要と考えます。非喫煙者との不平等がないよう検討の上、場所の設置を議論してほしい。</p> <p>喫煙は自由だと思いが、喫煙所付近のエレベーターが臭くてなつかしてほしい。(喫煙してすぐにエレベーターにのつてほしい)</p> <p>吸いたい人はつらいのでは、でもいらない。健康増進しなければならぬ病院だから当たり前だと思ふ。吸いたい奴はどこかへ行つてほしい。</p> <p>敷地内全面禁煙にしないとは機能評価通りませんけど？</p> <p>たばこを吸いに休みに行くのはよいが、吸わない人も休みがほしい。</p> <p>本学が病院関連施設であることを考えると、内丸が全面禁煙であるし、敷地内全面禁煙にせざるを得ないと思ふ。</p> <p>患者さんには、環境配慮してあげてほしい。</p> <p>喫煙に伴う有害性(健康面)に加え、研究や業務における労働損失も考慮し、禁煙が望ましい。</p> <p>(3)の喫煙対策についても問題であると考えます。患者家族とも吸うところが設置していると判断し、入院患者さんも屋外に自由に出てしまつてい</p> <p>る現状があります。</p> <p>全面禁煙が望ましいですが、末期の患者がタバコを吸いたい時に吸いたくはないのであつてあげることができない場所が欲しいです。</p> <p>禁煙によって、付近で吸う吸いがら問題。あとは禁煙者のストレス(メンタルヘルス)の問題が新たに浮上すると思ふ。</p> <p>院内喫煙所は使用しない。患者と職員が同じ場所で喫煙するのはよくないと思ふ。</p> <p>勤務時間内禁煙にして欲しい。</p> <p>全面禁煙、喫煙所設置どちらでもよいが、現状の屋外はあまりないので、いずれかどちらかにきつちり決めた方がよい。</p> <p>厳格に取りしめるべき</p>

⑤	防火対策・見回り	防火・消防設備が万全な区画にのみ設置すべき 禁煙できない人がいる現状があり、一方的に禁煙するのではなく、防火対策からの配慮が必要。 敷地内で患者さん達が吸っているのを見かけるときがある。危険であり、定期的にみまわり注意してほしい。 大学には不特定多数の人が出入りしており、どのような対策を講じてもポイ捨て、トイレ、ゴミ箱等への投げ入れ等、火災の原因となる危険性があるため心配である。 喫煙所が無くなったために、トイレ・医局などで喫煙しているのを見かける。そのため、喫煙所を無くしたことはデメリットでしかない。火事になる。
⑥	禁煙推奨	本学のみならず、世の中を禁煙にするよう働きかけるべき。 ふだん通らない場所なのでなんとなく思わないが、勤務部が近ければ(1)か(2)と思う。 職員に関しては全面禁煙を希望するが、患者者に関しては難しいと思う。喫煙のために無断で外出する例もあるため。 大学に隣接した屋外にも喫煙所を設けないでほしい。 患者さんも吸いに行っているのであまりよろしくないと思う ①敷地内が不明で周囲（敷地外）も含め禁煙にしてほしい。②勤務時間内で喫煙しているのも問題（部署を離れる） 医療従事者として取り組む必要があると思う。 どうしても生活をかせられないPttへの対応で玄関先ですわられる状況かんがえたと全面禁煙にも悩む 20年前より全面禁煙です。 喫煙者の衣服に浸みついている臭いや、呼吸臭も不快なので、内丸図書館裏口の喫煙所や矢巾キャンパス東側の喫煙所も廃止してほしい。 見た目、景観的に良いものではないと思う。 よく分からない、場所も分からない 喫煙状況が変わった（屋外にない）為、回答しようがない。
⑦	その他	

以下の質問は【2】で(1)「喫煙している」と回答した方のみお答えください。

【9】何年吸っていますか？あてはまるものに○をつけてください。

(1) ~9年 (2) 10~19年 (3) 20~29年 (4) 30~39年 (5) 40年以上 (6) 無回答

	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)
男	回答数 27	46	45	17	7	0
	比率 19%	32%	32%	12%	5%	
女	回答数 20	22	18	1	2	1
	比率 31%	34%	28%	2%	3%	2%
全体	回答数 47	68	63	18	9	1
	比率 23%	33%	31%	9%	4%	0%

- 【10】1日あたり何本ぐらいタバコを吸っていますか？あてはまるものに○をつけてください。
 (1) ～5本 (2) 6～10本 (3) 11～20本 (4) 21～40本 (5) 41本以上 (6) 無回答

	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)
男	41	48	46	6	1	0
比率	29%	34%	32%	4%	1%	
女	29	25	8	0	0	2
比率	45%	39%	13%			3%
全体	70	73	54	6	1	2
比率	34%	35%	26%	3%	0%	1%

- 【11】「タバコを簡単にやめれるとしたらやめたいと思いますか？」あてはまるものに○をつけてください。
 (1) やめたいと思う (2) やめたいと思わない (3) 無回答等

	(1)	(2)	(3)
男	83	58	1
比率	58%	41%	1%
女	45	15	4
比率	70%	23%	7%
全体	128	73	5
比率	62%	35%	3%

- 【12】「禁煙」について現在のあなたの状態でもあてはまるもの1つに○をつけてください。
 (1) すぐに禁煙したい (2) 6か月以内に禁煙したい (3) 時期は決めていないか
 (4) 禁煙するつもりはない (5) どちらともいえない (6) 無回答等

	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)
男	9	4	53	37	38	1
比率	6%	3%	37%	26%	27%	1%
女	8	2	29	11	12	2
比率	13%	3%	45%	17%	19%	3%
全体	17	6	82	48	50	3
比率	8%	3%	40%	23%	24%	2%

【13】まとめ

- (1) 岩手医科大学職員（平成30年4月1日付在籍の大学院生含、研究員・研究補手・非常勤医師は除く）に対し喫煙に関するアンケート調査を実施した結果、1980名（63%）より有効回答が得られた。
- (2) 本学職員の喫煙率は男性142名（21%）、女性64名（5%）合計206名（10%）でした。
職種別喫煙率は「臨床系医師・歯科医師」16%、「基礎系医師・歯科医師・その他の教員」7%、「看護師（看護補助含）」8%、「コマデイカル」10%、「病院事務系」13%、「病院以外の事務系」15%、「その他」13%でした。
- (3) 「受動喫煙」という言葉は1923名（97%）の職員に意味も含めて知られていました。
「受動喫煙にあったことがありますか」の質問に対しては、「ある」の回答者が1780名（90%）で、喫煙・非喫煙別に見ても、喫煙者191名（93%）、過去の喫煙者356名（91%）、喫煙歴無者1233名（89%）の概ね9割の職員が受動喫煙を経験していました。
- (4) 「受動喫煙で不快を感じたか」の質問には、「喫煙者」では一番多い回答が「どちらかといえば不快と感じた」が82名（43%）で続いて「不快に感じなかった」が70名（37%）であったのに対して、「喫煙歴無者」では「不快に感じた」が一番多く836名（68%）、「過去の喫煙者」においても「不快に感じた」と回答した職員が一番多く184名（52%）でした。
- (5) 「喫煙場所の設置について」は男性・女性とも一番回答が多かったのは「敷地内全面禁煙」希望で男性261名（38%）、女性584名（46%）でした。喫煙・非喫煙別には、「喫煙者」は「隣接屋外設置」94名（43%）、「大学から離れた喫煙所設置」61名（28%）、「敷地内全面禁煙」29名（13%）の順に対して、「喫煙歴無者」は「敷地内全面禁煙」658名（45%）、「隣接屋外設置」332名（23%）、「大学から離れた喫煙所設置」271名（18%）の順でした。
- (6) 喫煙者に対し、現在の最もあてはまる状況として、「すぐに禁煙したい」「6か月以内に禁煙したい」「時期は決めているが禁煙したい」を含めると喫煙者206名中合計105名（51%）は禁煙を希望していた。

Ⅲ 平成 30 年度健康管理センター 利用状況

Ⅲ 健康管理センター利用状況

1. 健康相談

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	
健康相談	内科	医学部	9	20	4	3	1	2	1	2	3	8	2	1	56
		歯学部	3	4	5	4	1	2	2	4	1	2	2	0	30
		薬学部	12	9	10	7	1	3	6	10	3	2	2	2	67
		看護学部	5	3	4	1	0	0	1	2	1	0	0	0	17
		専門学校・看護短大等	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	外科	医学部	2	1	8	1	0	3	2	1	2	0	0	1	21
		歯学部	0	2	4	0	0	1	0	1	0	2	1	0	11
		薬学部	6	2	2	0	0	0	1	0	1	0	0	0	12
		看護学部	2	1	3	0	0	0	0	1	0	0	0	0	7
		専門学校・看護短大等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
耳鼻科	医学部	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	
	歯学部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	薬学部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	看護学部	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
	専門学校・看護短大等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
皮膚科	医学部	1	1	1	0	0	0	1	1	0	1	3	0	9	
	歯学部	0	1	3	0	0	3	0	0	1	0	0	0	8	
	薬学部	1	1	1	0	0	0	1	1	0	1	0	0	6	
	看護学部	1	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	
	専門学校・看護短大等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
眼科	医学部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	歯学部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	薬学部	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
	看護学部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	専門学校・看護短大等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
産婦人科	医学部	1	0	0	0	0	0	1	1	3	1	0	0	7	
	歯学部	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	2	
	薬学部	1	0	1	1	0	3	0	2	0	1	0	0	9	
	看護学部	1	0	0	0	1	0	1	1	0	0	0	0	4	
	専門学校・看護短大等	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
歯科	医学部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	歯学部	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	
	薬学部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	看護学部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	専門学校・看護短大等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
泌尿器科	医学部	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	3	
	歯学部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	薬学部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	看護学部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	専門学校・看護短大等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
精神科	医学部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	歯学部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	薬学部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	看護学部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	専門学校・看護短大等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
相談の内容	医学部	4	2	3	0	0	0	0	0	1	1	1	0	12	
	歯学部	0	0	1	0	1	0	0	0	1	2	0	0	5	
	薬学部	1	0	1	2	0	0	2	2	0	1	0	0	9	
	看護学部	0	0	0	3	0	0	1	0	0	1	0	0	5	
	専門学校・看護短大等	3	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	4	
健康診断 ワクチン接種 関連相談	医学部	0	4	3	3	1	0	0	0	2	1	0	1	15	
	歯学部	2	3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	
	薬学部	1	3	2	1	1	0	0	1	0	3	1	4	17	
	看護学部	0	1	1	1	1	0	1	2	0	0	0	0	7	
	専門学校・看護短大等	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	4	
健康診断 事後指導	医学部	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	
	歯学部	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	
	薬学部	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	
	看護学部	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	
	専門学校・看護短大等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
学校医相談	医学部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	歯学部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	薬学部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	看護学部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	専門学校・看護短大等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
健康測定 (身長・体重・血圧・視力等)	医学部	1	47	14	10	4	0	1	0	0	0	0	0	77	
	歯学部	0	15	14	0	0	0	0	0	0	0	0	0	29	
	薬学部	0	98	41	12	2	0	0	0	0	0	0	0	153	
	看護学部	0	17	23	4	1	0	0	0	0	1	0	0	46	
	専門学校・看護短大等	0	16	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	18	
計		61	260	170	53	15	20	22	33	19	28	12	12	705	

※件数は延件数

健康診断個人票発行	学生
	415

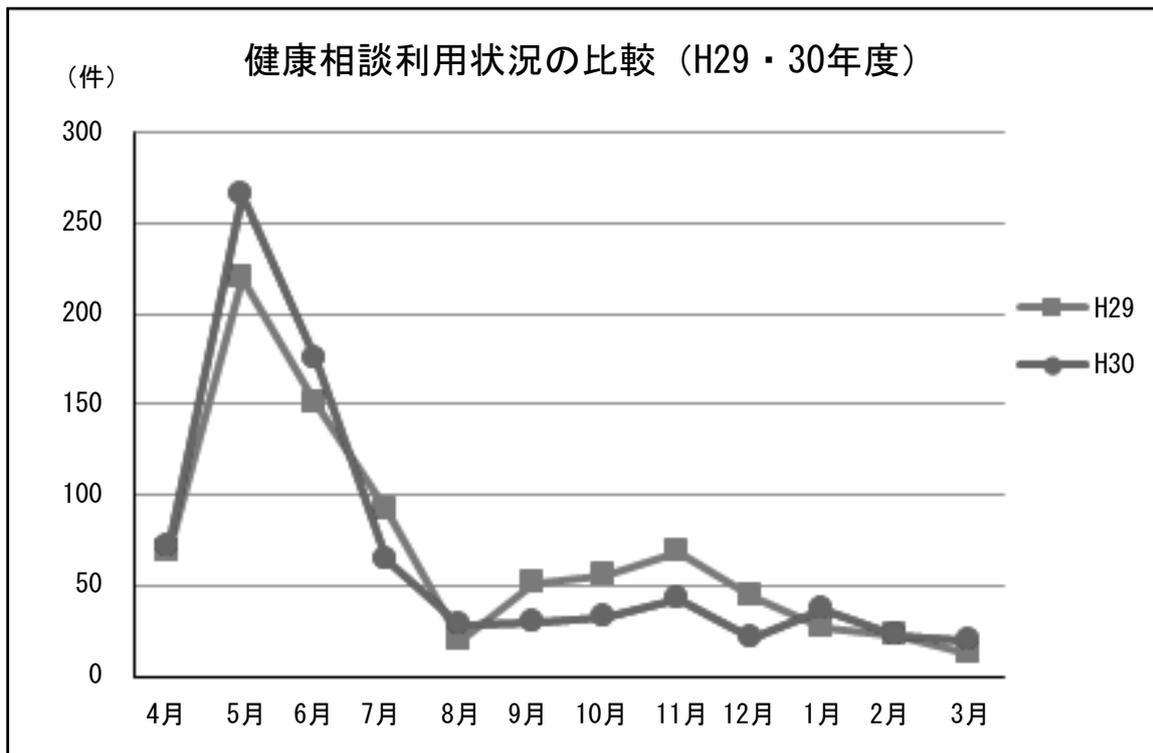
2) 職員

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	
相談項目	健康相談	内科	4	3	1	4	6	4	7	4	1	5	5	3	47
		外科	1	2	2	3	2	0	2	0	0	3	1	1	17
		耳鼻科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	2
		皮膚科	0	0	0	0	0	1	2	0	0	0	0	0	3
		眼科	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
		産婦人科	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	2
		歯科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		泌尿器科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		精神科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	相談的内容	0	0	2	1	1	3	0	3	0	0	0	0	1	11
	健康診断ワクチン接種関連相談	2	1	0	0	0	1	0	2	1	1	2	0	10	
	健康診断事後指導	2	0	0	2	2	0	0	0	0	0	0	0	6	
	産業医相談	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	
	健康測定(身長・体重・血圧・視力等)	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1	1	5	
計	10	6	5	11	13	10	11	10	2	9	11	7	105		

※件数は延件数

	職員
健康診断個人票発行	147

2. 健康相談利用状況の比較



3. 心理相談（健康管理センター相談室）

1) 学生

平成 30 年度相談室利用状況

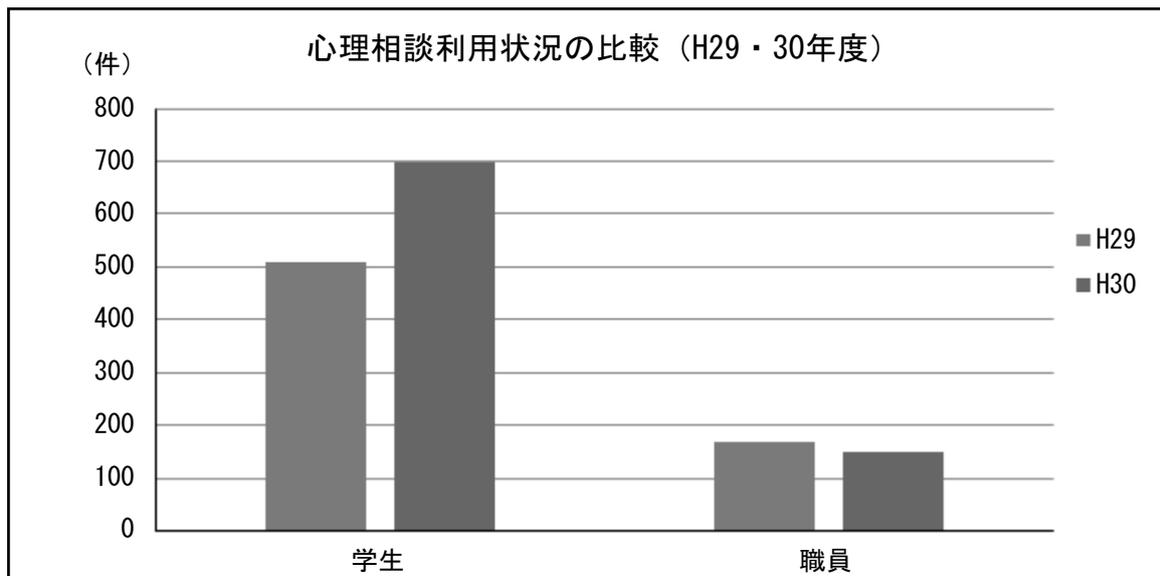
		医学部	歯学部	薬学部	看護学部	看護短大 専門学校等	計
精神保健	延相談件数	17	10	48	3	5	83
	利用者数	13	5	18	2	3	41
パーソナリティ	延相談件数	22	12	28	9	22	93
	利用者数	6	3	10	2	3	24
適応	延相談件数	23	6	13	12	7	61
	利用者数	7	4	6	7	3	27
修学	延相談件数	28	7	52	6	24	117
	利用者数	7	2	15	3	8	35
進路	延相談件数	8	0	1	0	12	21
	利用者数	1	0	1	0	3	5
学生生活	延相談件数	2	0	1	2	0	5
	利用者数	2	0	1	1	0	4
コンサルテーション 情報共有	延相談件数	86	24	86	32	41	269
	利用者数	37	9	28	10	11	95
ハラスメント	延相談件数	0	0	1	0	0	1
	利用者数	0	0	1	0	0	1
学校医相談	延相談件数	5	1	6	0	0	12
	利用者数	5	1	3	0	0	9
その他	延相談件数	11	8	12	6	0	37
	利用者数	11	8	11	6	0	36
計	延相談件数	116	44	162	38	70	699
	利用者数	52	23	66	21	20	182

2) 職員

平成 30 年度相談室利用状況

精神保健	延相談件数	31
	利用者数	17
パーソナリティ	延相談件数	26
	利用者数	6
職場不適応	延相談件数	40
	利用者数	15
家庭問題	延相談件数	14
	利用者数	7
生活相談	延相談件数	4
	利用者数	2
ハラスメント	延相談件数	1
	利用者数	1
コンサルテーション 情報共有	延相談件数	27
	利用者数	17
産業医相談	延相談件数	3
	利用者数	2
その他	延相談件数	2
	利用者数	2
計	延相談件数	148
	利用者数	67

4. 心理相談利用状況の比較



5. 心の健康問題により休業した職員の職場復帰支援

本学の職員で心の健康問題を理由に病気休暇が1ヵ月を超える者を対象に、円滑に職場復帰し、業務が継続できるよう支援を実施。

対応件数（平成30年4月～平成31年3月）

対象者	月別対応件数内訳（延件数）												計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
30名	22	45	74	48	42	28	16	29	27	18	31	47	427

対象者の支援経過（平成30年3月31日現在）

復帰（支援終了）	復帰（支援継続）	退職	病休中
10	6	7	7

IV 平成 30 年度メンタルヘルス支援

IV 平成 30 年度メンタルヘルス支援

1. セミナー

(平成 30 年度 対象：学生)

開催日	内 容	場 所	参加人数
9 月 25 日	苦手な人との上手な付き合い方とは？	矢巾キャンパス 東研究棟 1 階 SGL40・41・42 室	1 名
10 月 29 日	ストレスに強いメンタルを作るためには？	矢巾キャンパス 東研究棟 1 階 SGL45・46 室	1 名
12 月 3 日	集中力やモチベーションを高める方法とは？	矢巾キャンパス 東研究棟 1 階 SGL40・41・42 室	1 名

(平成 30 年度 対象：職員)

開催日	内 容	場 所	参加人数
9 月 25 日	ストレスチェックフォローアップセミナー① ストレスチェック徹底解説 - 自分の結果を詳しく知ろう -	内丸キャンパス 循環器センター3 階研修室	0 名
10 月 3 日	ストレスチェックフォローアップセミナー② ストレスマネジメント講座 - ストレスとの付き合い方を学ぼう -	内丸キャンパス 循環器センター3 階研修室	1 名
10 月 12 日	ストレスチェックフォローアップセミナー③ セルフケア講座 - 自分をケアするスキルを向上させよう -	内丸キャンパス 循環器センター3 階研修室	1 名
2 月 26 日	相手が話したくなる聴き方を学ぼう	内丸キャンパス 木の花会館 3 階会議室	2 名
2 月 27 日	相手が話したくなる聴き方を学ぼう	矢巾キャンパス 東研究棟 1 階 SGL40・41・42 室	4 名
3 月 5 日	自分の気持ちをきちんと「伝える」ために	内丸キャンパス 木の花会館 3 階会議室	4 名
3 月 11 日	自分の性格を知り、自分との付き合い方を知ろう	矢巾キャンパス 東研究棟 1 階 SGL40・41・42 室	7 名

2. メンタルヘルス講義 (対象：全学部1年生)

開催日	テーマ	講師	参加人数
6月19日	学生生活とメンタルヘルスについて	神経精神科学講座 三田 俊成 助教	324名
	大学生活を通して自分と向き合うこと - 自己探索のススメ -	主任臨床心理士 畠山秀樹	
	DVをしない・されないために 心理テスト結果の見方	臨床心理士 氏家真梨子	

3. 「教職員のための学生相談ハンドブック」改訂のためのアンケートの実施

平成28年3月に発刊した「教職員のための学生相談ハンドブック」に関して、令和1年度の改訂に向けて、教養教育センター中島学生副部長、藤澤講師（心理学・行動科学分野）、学事総務課の協力の下、改訂案の作成作業を進めた。

4. ラインケア研修

本学の管理職者を対象に、管理職の位置づけ・役割を理解するとともに、ラインケアに必要な知識・スキルを習得し、大学組織としての共通理解を図ることを目的に以下の内容で研修を企画・実施した。開催にあたって人事職員課と協議し、共催の形式で実施した。

開催日	テーマ	講師	参加人数
7月30日	職場のメンタルヘルス対策 ラインケアの基礎知識	岩手産業保健総合支援センター 産業保健相談員 藤井由里	15名
9月6日	職場のメンタルヘルス対策 ラインケア こんなときどうする？ ～事例を通して対応のしかたを考える～		32名
11月2日			58名

5. 研究

学生の臨床実習にかかるストレスとサポートに関して、以下の研究に携わった。なお、論文は岩手医科大学教養教育研究年報（2018-12 発行. 53 号. pp30-50）に掲載されており、岩手医科大学リポジトリから閲覧可能である。

タイトル：看護系学部の臨床実習における学生のストレス
藤澤美穂、氏家真梨子、畠山秀樹、高橋智幸、松浦誠

岩手医科大学リポジトリ（URL）

https://iwatemed.repo.nii.ac.jp/?action=pages_view_main&active_action=repository_view_main_item_detail&item_id=9947&item_no=1&page_id=119&block_id=139

6. 震災支援

東日本大震災に伴う対応

当センター臨床心理士が所属する岩手県臨床心理士会の震災支援活動への関与について、昨年度同様に大学からの出張として認められ、参加した。以下に参加した支援活動を示す。

表 平成 30 年度における岩手県臨床心理士会支援活動への関与（出張分）

支援活動名	担当者	活動のべ日数
釜石市支援活動	畠山	3 日
宮古市支援活動	氏家	3 日

V 平成 30 年度健康教育・啓発活動

V 健康教育・啓発活動

1. 健康教育

1) 学生の健康管理について

平成30年4月4日（水） 対象者：入寮生（医・歯・薬・看）※ユニットリーダー・希望者

担当：主任保健師 村山 美保

内容：寮での共同生活、バランスのとれた食事、体調不良時の受診方法等

平成30年4月6日（金） 対象者：医療専門学校新入生

担当：保健師 藤井 ヌイ子

主任臨床心理士 畠山 秀樹

内容：健康管理センター利用案内、体調不良時の受診方法、相談室の利用案内

平成30年4月10日（火） 対象者：新入生（医・歯・薬・看）

担当：主任保健師 村山 美保

臨床心理士 氏家 真梨子

内容：健康管理センター利用案内、体調不良時の受診方法、相談室の利用案内

平成30年4月12日（木） 対象者：岩手看護短期大学学生

担当：主任臨床心理士 畠山 秀樹

内容：相談室の紹介

平成30年6月29日（金） 教養教育センターとの情報交換会

参加者：教養教育センター教員10名、教務課事務スタッフ1名、

健康管理センタースタッフ6名

内容：1年生に関する情報交換

平成30年6月29日（金） 対象者：新入生（医・歯・薬・看）

講師：衛生学公衆衛生学講座 坂田 清美 教授

担当：保健師 藤井 ヌイ子

テーマ：受動喫煙からどう自分を守るか？

平成 30 年 12 月 13 日（木） 対象者：退寮生（医・歯・薬・看）※ユニットリーダー・希望者
担当：主任保健師 村山 美保
内容：基本的な食生活の留意点

月 1 回 開催 矢巾キャンパス教務課・学事総務課との情報交換会
参加者：各課課長、健康管理センタースタッフ 3 名
内容：学生に関する情報交換

2) 職員の健康管理について

平成 30 年 4 月 4 日（水） 対象者：新入職員
研修担当：主任保健師 村山 美保
主任臨床心理士 畠山 秀樹
内容：健康管理センター利用案内、業務紹介、感染予防対策、メンタルヘルス支援

平成 30 年 10 月 2 日（火） 対象者：途中採用職員
研修担当：主任保健師 村山 美保
主任臨床心理士 畠山 秀樹
内容：健康管理センター利用案内、業務紹介、感染予防対策、メンタルヘルス支援

3) メンタルヘルス関連研修

平成 30 年 6 月 14 日（木） 対象者：新人看護師・歯科衛生士
研修担当：主任臨床心理士 畠山 秀樹
テーマ：新人看護師のメンタルヘルスケア

平成 30 年 6 月 29 日（金） 対象者：学生支援に携わる教職員
研修担当：臨床心理士 氏家 真梨子
テーマ：「あれ？」「大丈夫？」と心配になる独特な学生の理解と対応

平成 30 年 8 月 30 日（木） 対象者：看護部・教育担当者
研修担当：主任臨床心理士 畠山 秀樹
テーマ：教育担当者としてのストレスマネジメント - ストレスへの気づきと対処行動の実践 -

平成 30 年 10 月 4 日（木） 対象者：ケアセンター南昌（外部）スタッフ

研修担当：主任臨床心理士 畠山 秀樹

テーマ：ストレスと上手に付き合うためのセルフケア - ストレスマネジメントの実践 -

平成 31 年 2 月 20 日（水） 対象者：中央臨床検査部スタッフ

研修担当：主任臨床心理士 畠山 秀樹

テーマ：職場のトラブル「ハラスメント」を考えよう!!

2. 啓発活動

1) 健康管理センターだより



受動喫煙による健康影響について



坂田 清美
衛生学公衆衛生学講座 教授

受動喫煙という言葉聞いたことがあるだろうか？受動喫煙とは能動喫煙に対する言葉である。能動喫煙は喫煙者本人がフィルターを通して煙を吸うことで、受動喫煙とは本人がたばこを吸わないのに、周りのたばこを吸う者から出た煙を吸うことを指す。「たばこ対策の健康影響および経済影響の包括的評価に関する研究」（研究代表者 片野田耕太）および「受動喫煙防止等のたばこ対策の推進に関する研究」（研究代表者 中村正和）によると、受動喫煙により科学的根拠が因果関係を推定するのに十分な疾病として脳卒中、肺がん、虚血性心疾患、乳幼児突然死症候群（SIDS）、小児の喘息の既往、臭気・鼻への刺激感が挙げられている。何れも重篤な疾患が多数含まれ受動喫煙対策は極めて重要であることを示している。国立がん研究センターの片野田耕太氏によると図に示すように受動喫煙による年間死亡推計値は1万5千人とされている。

特に影響の大きい疾患は脳卒中で、8,014人が無くなっている。次に多いのは虚血性心疾患で4,459人、肺がんは2,484人となっている。交通事故による死者が4千人を切ったことを考えると決して無視できない影響があるといえる。特に岩手県は脳卒中の死亡率が全国で最も高い県の一つであり、喫煙対策とともに受動喫煙対策も重要といえる。

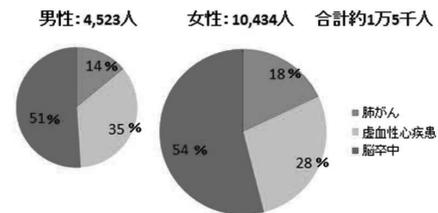
それでは何故受動喫煙によりこれほどの健康影響がでるのであろうか。まず、タバコ1本当たりの発がん性物質の含有量が副流煙と主流煙を比べると副流煙の方がベンゾ(a)ピレンで3~4倍、シメチルニトロソアミンで19~129倍、メチルエチルニトロソアミンで5~25倍、ジエチルニトロソアミンで2~56倍多く含まれていることが挙げられる。国立がん研究センターが実施している多目的コホート研究（JPHC）によると、タバコを吸わない女性について、夫が吸わない人に比べ吸う人では2.03倍、肺腺がんに罹患するリスクが高かった。このことは、受動喫煙が明らかな他者危害性のある現象であることを示している。他者危害性があるということは、傷害罪にも匹敵する放置できない極めて重要な問題であることを意味する。



このことから、2003年5月にWHO総会でたばこ規制枠組条約が採択され2005年2月に発効したものである。わが国もたばこ規制枠組条約を批准しているが、その実行状況は極めて遅れている。Tobacco Control(2006:15:247-253)によると日本は100点満点の21点であった。一方たばこ対策が進んでいるイギリスが77点、フランスは55点、ギリシアでも32点であった。いかに日本のたばこ対策が遅れているかを如実に示している。特に情報キャンペーンが15点満点中0点、健康警告が10点満点中0点であった。広告の禁止が13点中1点、公共施設における禁煙が22点中4点、治療が10点中3点であった。たばこ価格についても30点中13点で4か国の中では最低であった。

このような健康被害が明らかであるにも拘わらず対策が進まないのは何故だろうか。それは他の先進国ではありえないことであるが、財務省がJT株の3分の1を保有し税収を得、一部の政治家と役人がたばこ利権をしているからに他ならない。この後進性から脱却することがわが国の健康増進に不可欠であることはいうまでもない。

図 受動喫煙による年間死亡推計値



肺がん2,484人、虚血性心疾患4,459人、脳卒中8,014人、乳幼児突然死症候群73人
国立がん研究センター 片野田耕太氏による、2016



大学生の時期(青年期)は悩みが付きにくいもの

他の年代と比べて、青年期は自分の容姿など自分自身への関心が高まり、自分が周囲からどのように見られているか非常に気になる時期です。当然、友達関係や恋愛関係、家族関係、今後の進路、人生について悩むだけではなく、今まであまり感じなかった「私は一体何者なのか」「何で自分はここに存在しているのか」と自分という存在や価値に対して、疑念や違和感が生じてくる人もいます。



さらに

4-5月は悩みが多くて大変な時期

(相談例)

- クラスで自分に合う友達がない
 - 周りの人とうまく話せない
 - 一人暮らしが不安で夜眠れない
 - 入学したけど続けられるかどうか
 - 持病があり、大学生活で支障がないか心配
- など
新しい生活環境、人間関係に適應するための
悩みやストレスはかなり大きいもの

相反する気持ちで揺れながら選択する

【例】友達との距離がうまくつかめない

友達関係において、自分にとって「適度な距離」をつかめずに悩み、相談室にくる学生も多くいます。自分の中で相反する気持ちで葛藤するのはむしろ自然なことで、それを繰り返し、自分にとって心地よい、そして無理がない距離感をつかみ、自分自身の本当のあり方を発見していくのです。

一人で行ける力=「自立」と 他人と一緒に生きていく力=「社会性」
両方を身につけて欲しいなと願っています。

1人でいたくない
仲間が欲しい

深入りされたくない
1人がラク

自分でどうしたらいいか分からなくなったら

自分にとって「安心(信頼)できる人」に話を聞いてもらおう

自分の気持ちを誰かに話すことは、辛い体験を再度思い出すこととなり、場合によっては余計に辛くなることもあります。頭だけで考えていたものを人に話を聞いてもらい言葉にすることで、辛い(大変な)感情の荷卸しができ、自分の気持ちの整理にも繋がります。

自分だけで悩みを抱え、自力で乗り越えていく力も必要ですが、本当に大変なときは、他人の力を借りる勇気、ヘルプを求める力も自分を守るために持っていたいものです。

もし相談を受けたときの 傾聴ポイント(基本) 姿勢・うなづき・あいづち

⇒相手が安心して話しやすい雰囲気を作る

自分の話をしない

⇒なるべく自分からの助言・意見は言わない

相手の感情を繰り返す(ミラーリング)

⇒相手が言った言葉(特に感情)をそのまま「辛かったね」「大変だったんだね」と繰り返して応答

こんな人は相談室の利用をおすすめ

- 身近な人は心配かけたくないのに、相談しにくい
- 安心して話せる相談相手が身近にいない
- どこに相談したらよいかわからない
- 友人に相談されたけど、自分では解決策がわからない
- 様子が心配な人が身近にいるけどどうしたらいいか

相談室の予約について

下記にある連絡先を参考に、

電話・相談室専用メール・直接来室で
予約してください。

※相談室専用メールは、担当臨床心理士しか見られません。
@j.iwate-med.ac.jp をメール受信できるように設定をお願いします

TEL:019-651-5111(代表) 内線 5022/5023(矢巾) 3816/3818(内丸)

E-mail: kenkou@j.iwate-med.ac.jp(健康管理センター代表) shinrisoudan@j.iwate-med.ac.jp (相談室専用)

ホームページ: <http://w3j.iwate-med.ac.jp/kenkou/index.html>

発行: 岩手医科大学 健康管理センター





健康管理センターだより

26号 2018年4月1日発行

受動喫煙による健康影響について



坂田 清美

衛生学公衆衛生学講座 教授

「たばこ対策の健康影響および経済影響の包括的評価に関する研究」(研究代表者 片野田耕太)および「受動喫煙防止等のたばこ対策の推進に関する研究」(研究代表者 中村正和)によると、受動喫煙により科学的根拠が因果関係を推定するのに十分な疾病として脳卒中、肺がん、虚血性心疾患、乳幼児突然死症候群(SIDS)、小児の喘息の既往、臭気・鼻への刺激感が挙げられている。また、因果関係を示唆しているが十分ではない疾病としては鼻腔・副鼻腔がん、乳がん、低出生体重・胎児発育遅延、急性の呼吸機能の低下、慢性閉塞性肺疾患(COPD)などが挙げられている。何れも重篤な疾患が多数含まれ受動喫煙対策は極めて重要であることを示している。国立がん研究センターの片野田耕太氏によると図に示すように受動喫煙による年間死亡推計値は1万5千人とされている。特に影響の大きい疾患は脳卒中で8,014人が無くなっている。次に多いのは虚血性心疾患で4,459人、肺がんは2,484人

となっている。交通事故による死者が4千人を切ったことを考えると決して無視できない影響があるといえる。

それでは何故受動喫煙によりこれほどの健康影響がでるのであろうか。まず、タバコ1本当たりの発がん性物質の含有量が副流煙と主流煙を比べると副流煙の方がベンゾ(a)ピレンで3~4倍、ジメチルニトロソアミンで19~129倍、メチルエチルニトロソアミンで5~25倍、ジエチルニトロソアミンで2~56倍多く含まれていることが挙げられる。国立がん研究センターが実施している多目的コホート研究(JPHC)によると、タバコを吸わない女性について、夫が吸わない人に比べ吸う人では2.03倍、肺腺

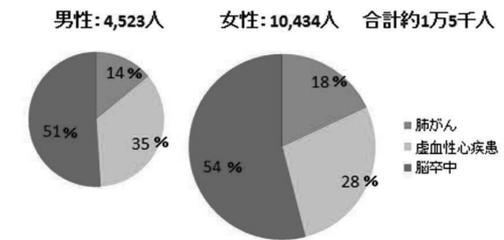


がん罹患するリスクが高かった。職場における受動喫煙も同様に夫からも職場からも受動喫煙がない者に比べ、職場の受動喫煙がある者では1.21倍肺腺がん罹患するリスクが上昇していた。このことは、受動喫煙が明らかな他者危害性のある現象であることを示している。他者危害性があるということは、傷害罪にも匹敵する放置できない極めて重要な問題であることを意味する。このことから、2003年5月にWHO総会でたばこ規制枠組条約が採択され2005年2月に発効したものである。わが国もたばこ規制枠組条約を批准しているが、その実行状況

は極めて遅れている。Tobacco Control(2006;15:247-253)によると日本は100点満点の21点であった。一方たばこ対策が進んでいるイギリスが77点、フランスは55点、ギリシアでも32点であった。以下に日本のたばこ対策が遅れているかを如実に示している。特に情報キャンペーンが15点満点中0点、健康警告が10点満点中0点であった。広告の禁止が13点中1点、公共施設における禁煙が22点中4点、治療が10点中3点であった。たばこ価格についても30点中13点で4か国の中では最低であった。

このような健康被害が明らかであるにも拘わらず対策が進まないのは何故だろうか。それは他の先進国ではありえないことであるが、財務省がJT株の3分の1を保有し税収を得、一部の政治家と役人がたばこ利権を利用しているからに他ならない。この後進性から脱却することがわが国の健康増進に不可欠であることはいままでもない。

図 受動喫煙による年間死亡推計値



肺がん2,484人、虚血性心疾患4,459人、脳卒中8,014人、乳幼児突然死症候群73人
国立がん研究センター 片野田耕太氏による、2016



年度の始まりはストレスに要注意!! 困ったときには早めの対処を



新年度が始まり、仕事のみならず私生活を含めて様々な変化が生じる時期です。仕事上では、「新社会人としての生活が始まった」、「異動になり新たな環境で働くこととなった」、「昇格して業務上の責任が重くなった」、「新しい業務を担当することになった」、「組織体制が変わった」、といったような変化が見られ、程度は違えど大なり小なり変化に伴うストレスを感じるかと思います。それに加えて私生活で、「一人暮らしを始めた、引っ越して生活環境が変わった」、「家族の転勤や自立によって家庭生活に変化があった」、ということを経験する方もいるかもしれません。

このように、年度の始まりは様々な変化が積み重なってストレスを抱えやすい時期で、変化に対して適応していくことが私たちの課題となります。ただし、変化に伴う仕事上のストレスは、自分だけではなく職場の他の人へも影響を及ぼして、職場全体がストレスを抱えやすい状況になっているため、個人と職場の双方が変化に適応していくには少し時間を要します。そういった状況下でストレスに対処しながら、徐々に適応していければいいのですが、なかなかうまくいかずにストレスからの影響が強くなり、不調に至ることもあります。

健康管理センター相談室では、職員の方々からの悩みごと、困りごとの相談に臨床心理士（カウンセラー）が対応していますが、上で挙げたように年度の始まりの4～6月にかけて相談が多い傾向にあります。

この時期に多い相談内容として、

- ・新しい職場で人間関係が築けず、なじめない
- ・新たな業務や役割にギャップを感じ、ついていけずに辛い
- ・仕事に行きたくない気持ちが強くなり、仕事を辞めようかと悩んでいる
- ・仕事のことが不安で頭から離れず、眠れなくなってきた

などがあります。また、相談にいらっしゃる方々からは「こんなことに悩んでいるのは自分だけかと思っていた」、「こんなことを相談していいのかためらいがあった」という言葉をよく耳にします。新年度の始まりに同じようなことでうまくいかないと感じる時には、自分だけと思わずに健康管理センター相談室をご活用ください。



【健康管理センター相談室の利用にあたってよくある質問Q&A】

Q①：相談したら相談に行ったことや相談内容を職場の上司や関係者に報告しますか？

A①：担当している臨床心理士は守秘義務を負っているため、相談者の了解なく報告することはしません。相談者の了解の下で報告する場合も、誰にどういった内容を伝えるか予め相談した上で伝えます。

Q②：相談の予約をする場合は、上司を通さなきゃいけないのでしょうか？

A②：その必要はありません。

Q③：予約の際に送ったメールは誰が見ることができるんですか？

A③：予約専用アドレス（shinrisoudan@j.iwate-med.ac.jp）に送られてきたメールは、担当の臨床心理士しか見ることができないものです。

Q④：対応する臨床心理士の希望はできますか？

A④：できます。予約の際にその旨お伝えください。

TEL：019-651-5111（代表）

【内丸キャンパス】内線 3816・3818

【矢巾キャンパス】内線 5022・5019

E-mail：kenkou@j.iwate-med.ac.jp

ホームページ：<http://w3j.iwate-med.ac.jp/kenkou/index.html>

場所・スタッフはホームページ参照

発行 岩手医科大学 健康管理センター

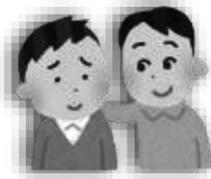
《ホームページ QR コード》



あなたは、承認欲求とどう付き合っていますか？

人間は他者から認められたいもの

私たちは、他者から認められることや必要とされることを通して、自己肯定感や自尊心を育てていきます。自分以外の他者から自分を認められたい、評価されたい気持ち、つまり「承認欲求」は人間にとって、とても自然で大事なものです。



たとえば、普段どうやって自分の承認欲求を満たしている？



- * 親しい家族や友人等に、自分の悩みや辛さ、頑張りや努力を聞いてもらう
- * 他者から自分を必要とされる、好意を持ってもらう
- * LINE や Twitter、Facebook、Instagram などの SNS を媒体に、自分の日常を写真や動画で投稿し、周囲から「いいね」と反応してもらう



▶ SNS の発展により、対面でなくとも他者を褒めるのも、他者から褒められるのも手軽にはなりましたが、つい認められたいあまり、自分への反応を四六時中気にして、スマホ依存、SNS 疲れになっていませんか？
果たして、あなたは自分のどんなところを他者に承認されたいですか？

大学生活では、承認欲求に振り回されることが・・・

岩手医大においては、進級するためのレポートや試験による成績評価によって、常に自分を評価されることを意識せざるをえません。いい成績であれば、承認欲求も満たされる場合がありますが、成績が良くないと、承認欲求が満たされず、自己肯定感や自尊心を傷つけられることもあります。



またクラスや部活、恋人同士等の人間関係においても、他者に認められる、あるいは受け入れてもらうために、本当の自分を隠し、別の「キャラ」を作って窮屈な思いをしている人、あるいは他者に嫌われないように、自分の意思よりも他者優先で動きすぎて、疲れてしまう人もいるのではないのでしょうか？

ほどよい承認欲求を持つためには？

なかには突飛な才能や運に恵まれ、有名人となり不特定多数から承認される人もいますが、それはごく少数です。他者に承認を期待しても、自分が期待するようには認めてもらえず、失望することも結構あります。他者への承認を期待する前に、まずは自分自身の承認欲求のあり方を変えてみませんか？以下の表を参考に、自身の承認欲求について考えてみましょう。

《携帯用 QR コード》



困ったことがある、承認欲求のあり方に悩んでいる場合は、相談室もぜひご利用ください。

＜相談申込み連絡先＞ shinrisoudan@j.iwate-med.ac.jp

承認欲求が低い人	ほどよい承認欲求がある人	承認欲求が高い人
○他者との関わりを避けて生きる ○自分が褒められることに慣れず、そういう状況を避ける、否定する、不快に感じる	○(自分が認められたい気持ちもちつつ)自分が心を寄せる他者が良い状態なら、自分も喜びを感じる ○誰かに褒めてもらったなら、同じくらい相手にも“お返し”をする	○自分の期待通りに認められないと怒り、無反応、不安になる ○褒められても常に満足しにくい ○自分の承認欲求だけを求め、満たそうとする(ナルシストになる)

＜参考図書＞・熊代亨（2017）. 認められたい、ヴィレッジブックス / ・斎藤環（2016）. 承認をめぐる病. ちくま書房

平成 30 年度 学生健康診断受診状況

H30.9.5 現在

	受診率 (%)	未受診者 (名)
医学部	99.3	6
歯学部	98.5	5
薬学部	99.6	3
看護学部	100	0
看護短期大学	100	0
医療専門学校	100	0
合計	99.3	14

学生健康診断の未受診者は 14 名でした。学生健康診断は、学校保健安全法、本学の規定により受診が義務付けられています。疾病の予防・早期発見、集団生活を送る上で大切なことです。また、実習先から学生健康診断の結果の提出を求められる場合もありますので健診は必ず受けましょう。

未受診の方は所定の書式を用いて、自費で医療機関受診となります。今年度まだ未提出の方は速やかに健康管理センターへ提出してください。



感染症の流行について

春には麻疹、夏には風疹の発生報告数が増加しニュースになっていましたが、今後も様々な感染症が流行する可能性があります。日本環境感染学会の「医療関係者のためのワクチンガイドライン」には「医療関係者（学生も含まれます）は自分自身が感染症から身を守るとともに、自分自身が院内感染の運び屋になってしまてはいけませんので、一般の人々よりもさらに感染予防に積極的である必要があります・・・」とあります。感染症予防のため本学では入学時に「麻疹・風疹・流行性耳下腺炎・水痘抗体検査及びワクチン接種」「結核検査」報告書の提出を求めています。これは、集団生活を送る上ではもちろん、実習先へ提出する重要な書類となります。

抗体価検査を行い、基準値に満たない場合はワクチン接種をしてもらっています。今後のために自分でも抗体価を把握しておくといいでしょう。自身の抗体価について確認したい場合は健康管理センターまでお願いします。未提出の学生は忘れずに健康管理センターへ提出しましょう。



健康管理センター新スタッフ紹介



4 月から保健師として配属になりました、青木雅美と申します。

以前は循環器医療センターで看護師として勤務していました。新しい職場で学生・職員の皆様と業務を通して関わられることをとてもうれしく思っています。看護職としてもまだまだ未熟で力不足の私ですが、少しでも学生・職員の心と体の健康をサポートしていけるよう、最大限努力していきたいと思っています。

どうぞよろしくお願いいたします。



TEL: 019-651-5111 (代表) 内線 5022/5023 (矢巾) 3816/3818 (内丸)

E-mail: kenkou@j.iwate-med.ac.jp (健康管理センター代表) shinrisoudan@j.iwate-med.ac.jp (相談室専用)

hokenshisoudan@j.iwate-med.ac.jp (保健師専用)

ホームページ: <http://w3j.iwate-med.ac.jp/kenkou/index.html>

発行: 岩手医科大学 健康管理センター

喫煙に関するアンケート調査結果について



アンケート回答状況

7月2日(月)～13日(金)にかけて、職員及び大学院生(平成30年4月1日付在籍)に対して喫煙に関するアンケート調査を実施しました。3,148名に通知し、2,030名が提出、そのうち無回答50名により、有効回答1,980名(63%)でした。

喫煙状況(大学全体)



本学の喫煙者は全体で206名(10%)、男性142名(21%)、女性64名(5%)でした。(図1参照)

平成28年度国民健康・栄養調査結果の喫煙率(全体18.3%、男性30.2%、女性8.2%)に比較すると本学の喫煙率は若干低値でした。

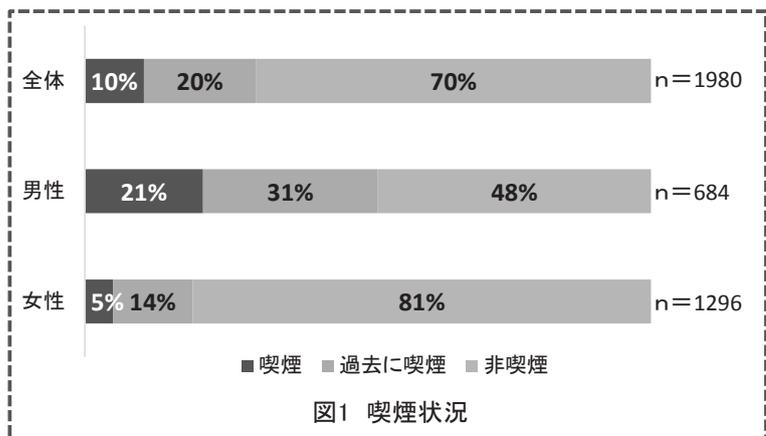


図1 喫煙状況

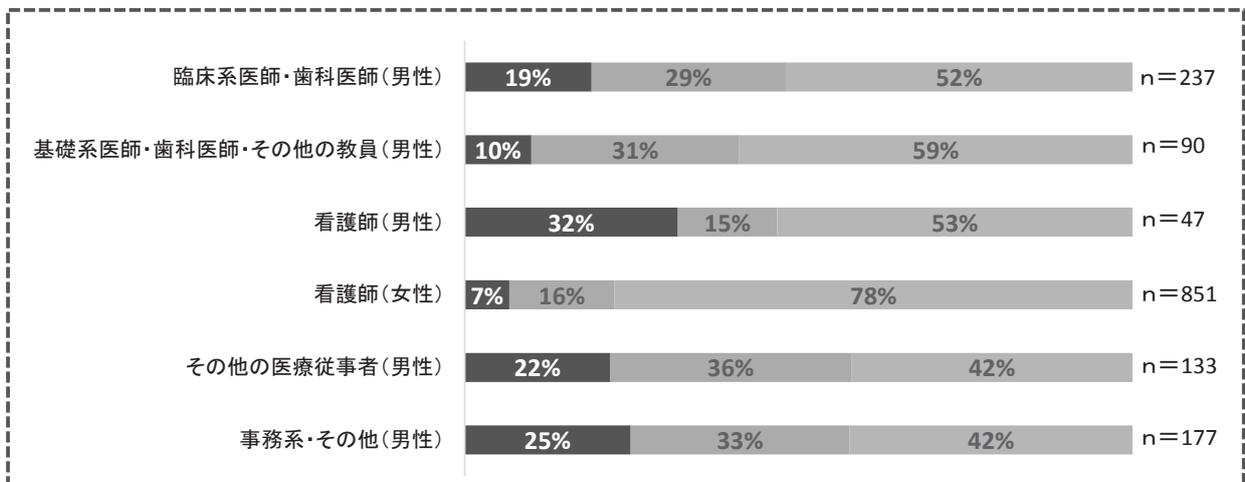
職種別喫煙状況



職種別喫煙率では、看護師(男性)32%が最高で、続いて、事務系・その他(男性)25%、その他の医療従事者(男性)22%、臨床系医師・歯科医師(男性)19%の順でした。(図2参照)

少数のため非掲載ですが、臨床系医師・歯科医師(女性)の喫煙率は3%でした。臨床系医師・歯科医師は、「平成26年度日本医師会喫煙意識調査報告」の男性10.9%、女性2.4%、及び「日本歯周病学会会員の喫煙に関する質問票調査」(2015)の歯科医師8.4%に比較すると、男女とも喫煙率は高値でした。

看護職の喫煙率は、「2013年看護職のたばこ実態調査」の男性29.5%、女性7.2%に比較すると、男性は高値、女性はほぼ同じでした。



※女性で喫煙少数の職種は非掲載

図2 職種別(性別)喫煙状況

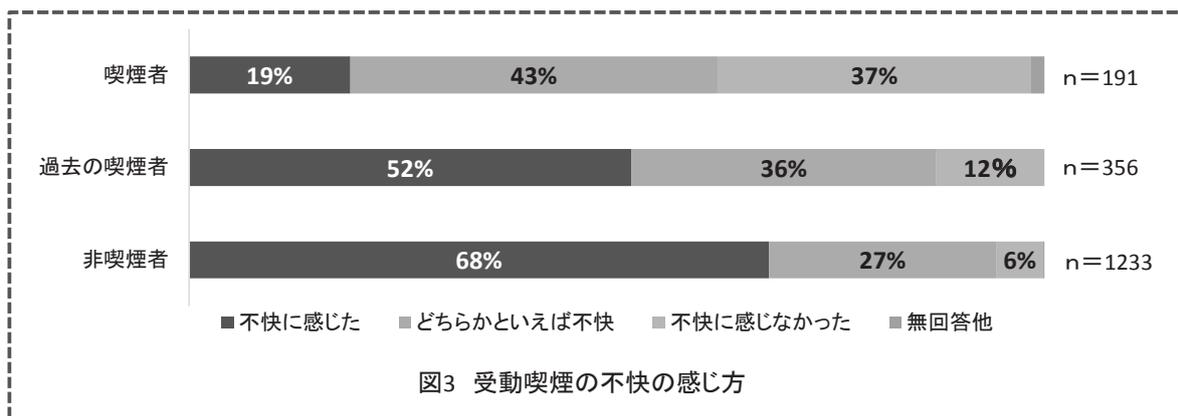
受動喫煙



受動喫煙に関しては、概ね9割の職員が経験していました。受動喫煙の不快の感じ方については、「喫煙者」は不快に感じる事が少なかったですが、「過去の喫煙者」「非喫煙者」は不快に感じている人が半数を超える結果となりました。(図3参照)

たばこ1本を喫煙後の呼気(吐いた息)には、有害物質(ニコチン、一酸化炭素など)が含まれており、喫煙前の呼気に戻るのに45分かかるとい調査結果があります。このことから、喫煙後45分以内の人と接することで受動喫煙になります。

内丸キャンパス図書館裏の喫煙スペースが撤去され、矢巾キャンパス中庭の喫煙所も今年度で閉鎖となります。今後、喫煙者にマナーをしっかりといただくことで、受動喫煙にさらされることは少なくなりそうです。



禁煙に向けて



禁煙希望に関する質問に対しては、「すぐに禁煙したい」「6か月以内に禁煙したい」「時期は決めていないが禁煙したい」を含めると、喫煙者206名中105名(51%)は禁煙を希望していました。今年度から禁煙支援を行っていますので、健康管理センターのご利用をお勧めいたします。病院移転に向けて、禁煙にチャレンジしてみませんか? あなたの一步をお待ちしております。



保健師専用メールアドレス hokenshisoudan@j.iwate-med.ac.jp

健康管理センター新スタッフ紹介



4月から保健師として配属になりました、青木雅美と申します。
以前は循環器医療センターで看護師として勤務していました。新しい職場で学生・職員の皆様と業務を通して関われることをとてもうれしく思っています。看護職としてもまだまだ未熟で力不足の私ですが、少しでも学生・職員の心と体の健康をサポートしていけるよう、最大限努力していきたいと思っています。
どうぞよろしくお願いいたします。



TEL: 019-651-5111(代表) 内線 5022/5023(矢巾) 3816/3818(内丸)
E-mail: kenkou@j.iwate-med.ac.jp(健康管理センター代表) shinrisoudan@j.iwate-med.ac.jp (相談室専用)
hokenshisoudan@j.iwate-med.ac.jp (保健師専用)
ホームページ: <http://w3j.iwate-med.ac.jp/kenkou/index.html>

発行: 岩手医科大学 健康管理センター

2) 掲示

30 健管第1号
平成30年5月1日

今こそ **「禁煙」**
はじめてみませんか？

楽に禁煙できるお手伝いをします！
＝健康管理センターに相談してください＝
保健師専用メールアドレス
hokenshisoudan@j.iwate-med.ac.jp
来室・メールどちらでも相談OK！

- ◆スモーカーライザーであなたの呼気中のCO測定ができ喫煙状況が判定できます。
- ◆ニコチン依存度チェックができます。
禁煙外来受診が必要か、自己禁煙(パッチ等で)が可能かフローシートでチェックできます。
- ◆薬剤師がいる薬局でパッチ等は購入できます。

※禁煙外来・薬局一覧表は健康管理センターに設置しています。

……嬉しいこと いっぱい……

- お金が貯まりま～す
- 若返り、そして病気のリスクが下がります
- なにより周囲の人が喜び、自分も嬉しい

健康管理センター 内丸 (3816・3818)
矢巾 (5019・5022)

30健管第2号
平成30年4月26日

麻しんが流行しています

現在、沖縄県内で麻しん患者の発生が続いています。愛知県では沖縄旅行帰りの人が麻しんと診断され、その後、感染が広がっています。GWを控え各地で麻しん患者の増加が懸念されています。

- 麻しん(はしか)は感染力が非常に強く、時に肺炎や脳炎などの深刻な合併症を起こし、死亡する場合があります
- 感染経路は空気感染、飛沫感染、接触感染です
- 潜伏期は約10日
- 症状は発熱、咳、鼻水など風邪症状が現れ、2～3日熱が続いた後、39℃以上の高熱と発疹が出現します



★症状出現時は早めに受診してください！

★有効な予防法はワクチン接種です

★今までに2回接種していない方は接種することをお勧めします



内丸健康管理センター (3816・3818)
矢巾健康管理センター (5022・5019)

30 健管第3号
平成30年8月3日

受動喫煙を防止しよう



こんなことしてませんか？

目やのどの痛み・・・
健康に影響

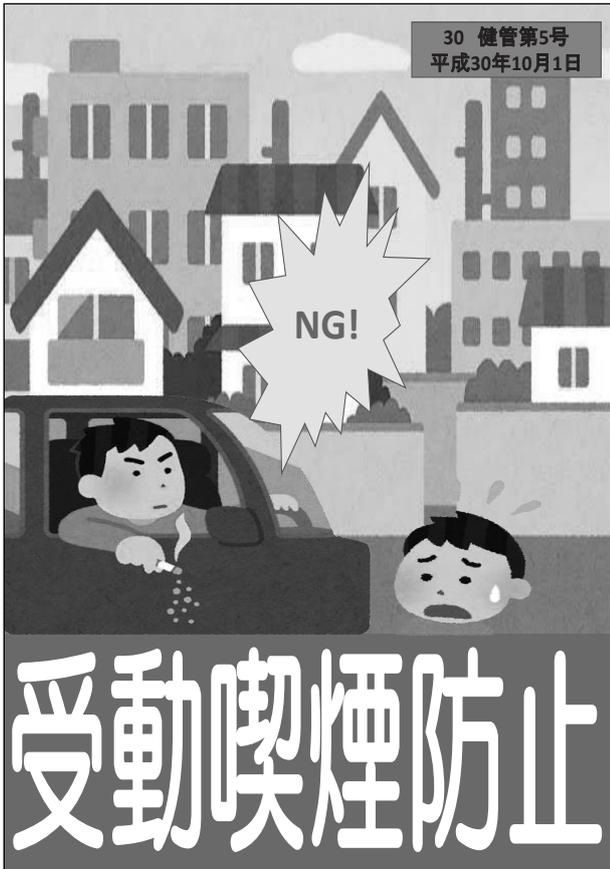
30 健管第4号
平成30年9月1日



疲れたなー 一服しよう

嫌だなー、これから講義始めるのに迷惑だなー

受動喫煙を防止しよう！



30 健管第9号
平成31年2月1日

受動喫煙防止

隣で吸わせないで!

30 健管第10号
平成31年3月1日

Subtitle

受動喫煙を 防止しよう

みんなで予防 インフルエンザ

マメな手洗いと咳エチケットで「かからない」、「うつさない」。

咳エチケット
マスク、ティッシュ・ハンカチ、などで鼻と口をおおきましょう。
マソクくん

手洗い
指先、指の間、親指、手首は特に注意して手洗いをしましょう。
コマちゃん

厚生労働省
Ministry of Health, Labour and Welfare

インフルエンザに関する情報 今冬 インフルエンザ

QRコードを読み取り専用機またはスマートフォンでご利用いただけます。

30 健管第12号 平成31年1月7日

インフルエンザ発生!!

学内でインフルエンザが発生しています。咳エチケットを守りましょう。

咳エチケット

- ▶ 咳やくしゃみが出るときはマスクを着用
- ▶ マスクが無い場合はティッシュや腕の内側などで、口と鼻を押さえ、他の人から顔をそむけて1m離れる。
- ▶ 使用したティッシュはすぐゴミ箱に捨て、手のひらや咳やくしゃみを受け止めた時はすぐに手を洗う。

インフルエンザと診断されたら...

学生

- ・各教務課に電話で報告する。
(教務課へ欠席・通院届を出す場合は診断書が必要)
- ・発症後5日間かつ解熱後2日間は登校不可
【学校保健安全法】

職員

- ・感染対策の観点から解熱後3日以上、かつ発症後5日以上経過から就業可。

岩手医科大学 健康管理センター 内丸 (3816・3818) 矢巾 (5019・5022)

VI 平成 30 年度学会・研修会

VI 平成 30 年度学会・研修会

1. 学会・研修会等参加状況

開催月日	件名	出席者名	会場
5/19～5/21	日本学生相談学会第 36 回大会・ ワークショップ	氏家 真梨子	関東学院大学
6/30～7/1	日本産業精神保健学会第 25 回大会	畠山 秀樹	北里大学白金キャンパス
12/9～12/11	第 56 回全国学生相談研修会	小原 真綾	東京国際フォーラム
2/20	平成 30 年度（公財）岩手県対がん協会 検診担当者研修会	小原 真綾 青木 雅美	ホテルメトロポリタン 盛岡本館

岩手医科大学健康管理センター年報

第4号

令和2年3月1日発行

発行編集者／岩手医科大学健康管理センター

〒028-3694

岩手県紫波郡矢巾町医大通一丁目1番1号

TEL (019) 651-5111

印刷／河北印刷

醫藥